RICOH

IPSiO NX71

使用説明書
〈取り扱い編〉

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

IPSiO NX71 使用説明書〈取り扱い編〉

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

商標

- EPSON，ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk，Macintosh，TrueTypeは、米国Apple Computer,Inc.の各国での登録商標または商標です。
- IBM，DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Lotus1-2-3は、Lotus Development Corporationの登録商標です。
- Microsoft，Windows，WindowsNT，MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWareは、米国Novell,Inc.の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ，PC-9800シリーズ，PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201Hシリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- PostScriptは、AdobeSystems,Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating sysytemです。
* Windows® 95の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating sysytemです。
* Windows® 2000の正式名称は以下のとおりです
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の正式名称は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
* WindowsNT® 3.51の正式名称は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 3.51
  Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 3.51

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。

（左図の場合は、“分解禁止”を表します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

（左図の場合は、“アースを接続してください”を表します）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーカートリッジは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

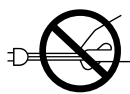
本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

- 機械は約12Kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

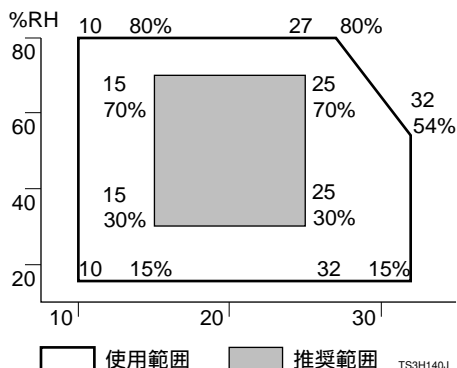
- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから約1時間待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

使用上のお願い

- 温度や湿度が次の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たる所
  - ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 高温、高湿、低温、低湿になる所
  - 加湿器の近く
  - 石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器（ジアゾコピー機など）の近く
- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- 結露が生じた状態のままで印刷を続けていると、排紙口から水蒸気が発生することがありますが、異常ではありません。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 前カバーは転写ローラーカバーと連動していますので、静かに閉めてください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- 印刷中に前カバーやマルチトレイを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は、月間印刷ページ数が10,000ページ以下（A4）、１日の通電時間の合計が８時間程度の条件で、使用年数を5年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が10,000ページを超えていたり、１日に合計８時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が300,000ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

エナジースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに揚げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

- 低電力機能
  - 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費が低くなります。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
  - 省エネモードの設定時間は、システム条件で変更します。システム条件の変更のしかたは、P.131 「システム条件を設定する」を参照してください。
  - 機能の仕様

省エネモード	消費電力	20W以下
	省エネモードへの移行時間	60分

- 再生紙
  印刷用紙は再生紙の使用をお勧めします。販売担当者にご相談ください。

電波障害自主規制、高調波ガイドラインについて

電波障害自主規制について

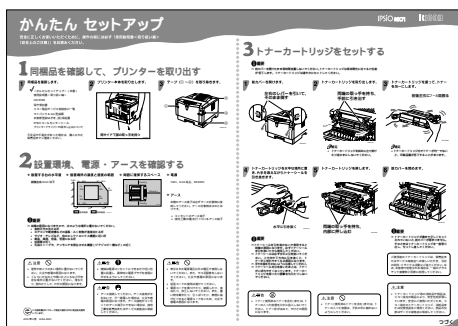
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

使用説明書について

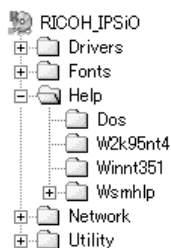
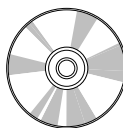
同梱されている使用説明書

本機に同梱されている使用説明書と内容は以下のとおりです。

❖ 設置手順書＜かんたんセットアップ＞

プリンターを箱から取り出し、パソコンと接続するまでの手順を説明しています。
オプションを購入された方は、本書の P.17「オプションを取り付ける」もあわせてお読みください。

❖ 使用説明書＜取り扱い編＞

プリンターとパソコンの接続が終わったあとに、WindowsやDOSの環境から実際に印刷するまでの基本的な操作方法を説明しています。＜かんたんセットアップ＞に続いてお読みください。
また、印刷がはじまらないときや思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置や、用紙に関する情報など、本機を使用する上で重要な情報がまとめてあります。すぐに利用できるよう、いつも手元に置いてご活用ください。

❖ ヘルプファイル

付属のCD-ROMにWindowsのヘルプファイル形式で収録されています。
オンラインヘルプにはプリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについて詳しく記載されています。本機の機能を十分に活用するための情報がまとめられています。
オンラインヘルプはプリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。またCD-ROMの「HELP」フォルダにも収録されています。
一歩進んだ印刷方法を試したいとき、どの項目を設定すればいいのか迷ったときに参考にしてください。

使用説明書の読み方

ご使用のOSによって、使用説明書の読む個所が異なります。以下の表を参考にしてください。

○：必ずお読みください。
△：必要に応じてお読みください。

	Windows 95/98 Windows 2000 Windows NT4.0で使用する	Windows NT3.51で使用する	DOSで使用する
かんたんセットアップ			
プリンターを設置してからパソコンと接続するまでの手順	○	○	○
取り扱い編			
1. はじめに 本体各部の説明、操作パネルやキーの名称とそのはたらき	○	○	○
2. オプションを取り付ける 拡張エミュレーションや拡張ボードなどの取り付け方法	△	△	△
3. 印刷するための準備をする 印刷のために必要なパネルでの操作とソフトウェアのインストール手順			
ネットワーク環境の設定をする	△	△	―
ソフトウェアをインストールする	○	○	―
CD-ROM収録ソフトウェアについて	△	△	△
4. プリンターのプロパティの表示と印刷の中止 プリンタードライバーの設定画面を表示する方法、印刷を中止する方法	△	△	△
5. 用紙について 使用できる用紙の種類と注意、用紙のセット方法	○	○	○
6. こんなときには エラーメッセージが表示されたときや思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりが起きたときの対処方法	△	△	△
7. 付録 システム条件、DOSでの印刷方法、保守･運用方法、消耗品一覧、仕様、用語解説など	△	△	○
ヘルプファイル			
Windows 95/98,2000,NT4.0編	△		
Windows NT3.51編		△	
DOS編			△

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部のキーの名称を示します。

目次

1. はじめに

2. オプションを取り付ける

3. 印刷するための準備をする

4. プリンターのプロパティの表示と印刷の中止

5. 用紙について

6. こんなときには

7. 付録

IPSiO NX71の特長

ハイコストパフォーマンスの本格A4ビジネスプリンター

16ppm、ファーストプリント8.5秒

10 万円以下の A4 機では最高の 16ppm を達成しました。また最も使用頻度の高い 1 部だけの印刷もファーストプリント8.5秒というスタートダッシュでスムーズに高速印刷できます。

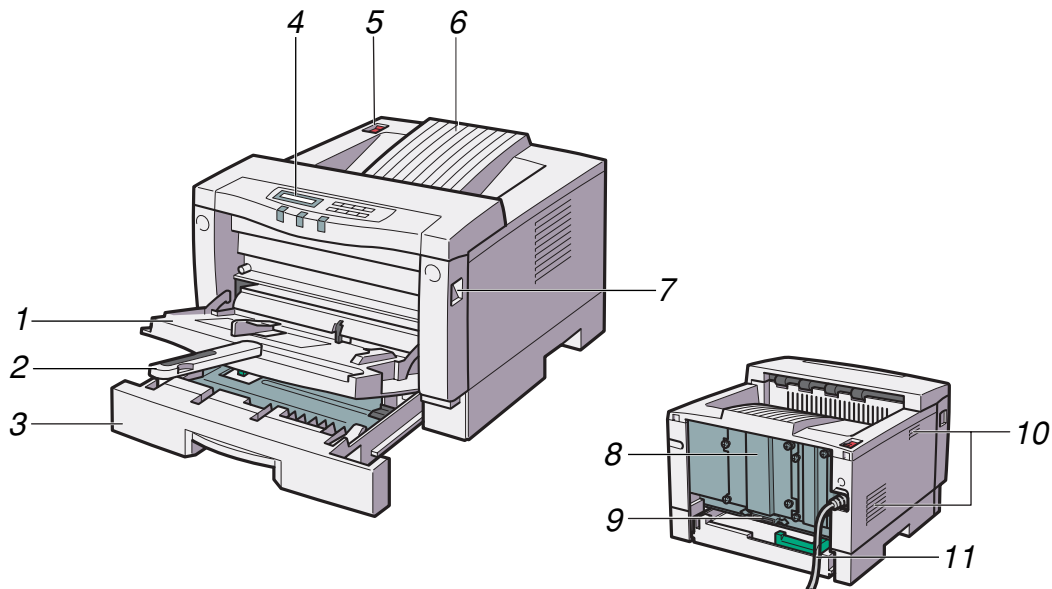
リアル1,200dpi＆2,400dpi相当×600dpiの高画質

リアル 1,200dpi の高画質に対応しています。600dpi 時もウルトラスムージングを行うことによって2,400dpi相当×600dpi相当の表現が可能です。

30万枚の高耐久性

コンパクトなボディーでありながら、耐久力もデスクトッププリンターとしては最高レベル。長く長く、その性能を維持します。

各部の名称とはたらき

全体

***1.* マルチトレイ**

普通紙のほかに、官製はがき、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するとき使用します。普通紙は最大100枚までセットできます。

⇒ P.94「マルチトレイに用紙をセットする」

***2.* 用紙支持板**

B5▯ より長い用紙をマルチトレイにセットするときに延ばします。

***3.* 給紙トレイ（標準）**

用紙をセットします。普通紙で最大250枚までセットできます。

⇒ P.93「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」

***4.* 操作パネル**

プリンターを操作したり、動作状態を確認できます。

***5.* 電源スイッチ**

プリンターの電源を入れたり切ったりします。

***6.* 排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷された面を下向きに排紙されます。

***7.* 前カバーオープンレバー**

前カバーを開けるときに、両側面のレバーを引きます。

***8.* 拡張ボードプレート**

各種のオプションを取り付けるときに取り外します。

***9.* インターフェースコネクター**

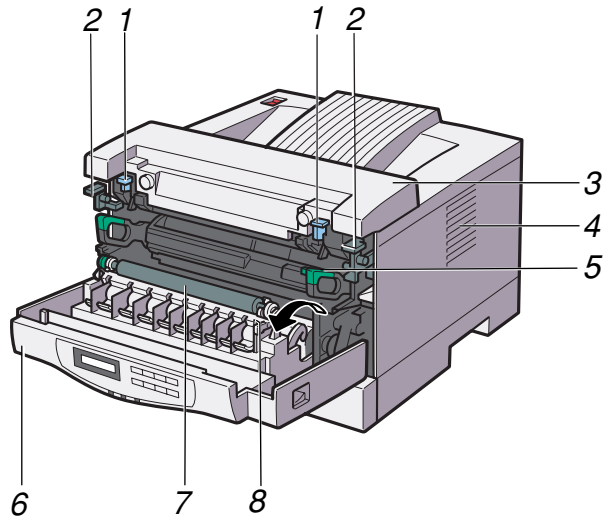
プリンターとパソコンを接続するインターフェースケーブルを差し込みます。

***10.* 給気口**

機械内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして給気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

***11.* 電源ケーブル**

電源プラグをコンセントに差し込みます。

内部

***1.* 圧解除レバー**

つまった用紙を取り除くときに、左右のレバーを下げます。

***2.* 定着ユニット固定レバー**

定着ユニットを交換するときに、左右のレバーを下げます。

***3.* 定着ユニット**

トナーを用紙に定着させるユニットです。「メンテキットコウカン」というメッセージが出たときに交換します。

⇒ P.120 「定着ユニットを取り付ける」

***4.* 排気口**

機械内部の温度上昇を防ぐため空気が排出されます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

***5.* トナーカートリッジ**

トナーと感光体が一体化されています。

⇒ P.118 「トナーカートリッジを交換する」

***6.* 前カバー**

トナーカートリッジやメンテナンス部品の交換、紙づまりのときに開けます。

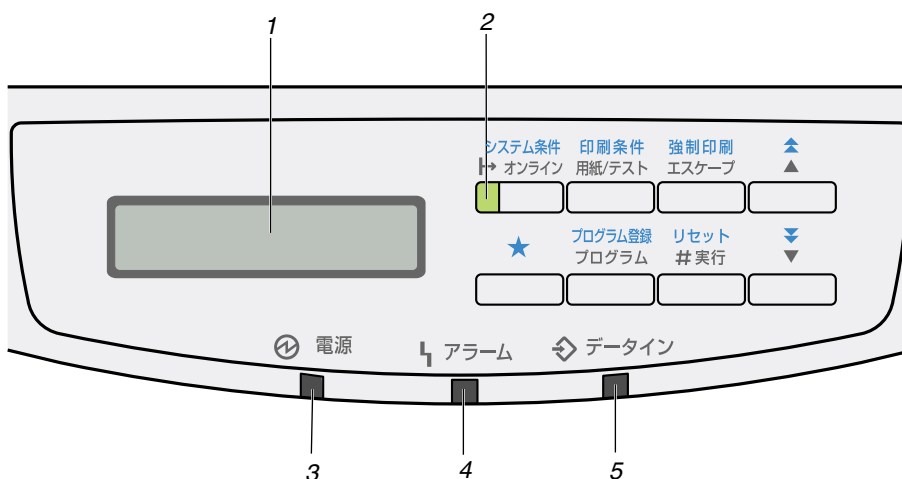
***7.* 転写ローラー**

「メンテキットコウカン」というメッセージが出たときに交換します。

***8.* 転写ローラーカバー**

転写ローラーを交換するときに開けます。

操作パネル

1

1. ディスプレイ

プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

⇒ P.101 「メッセージが表示されたとき」

2. オンラインランプ

プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示します。「オンライン状態」はパソコンからデータを受信できる状態でランプは点灯します。「オフライン状態」はパソコンからデータを受信できない状態でランプは消灯します。

3. 電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。ただし、省エネモード時、予熱モード時は消灯します。

4. アラームランプ

エラーが発生したときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

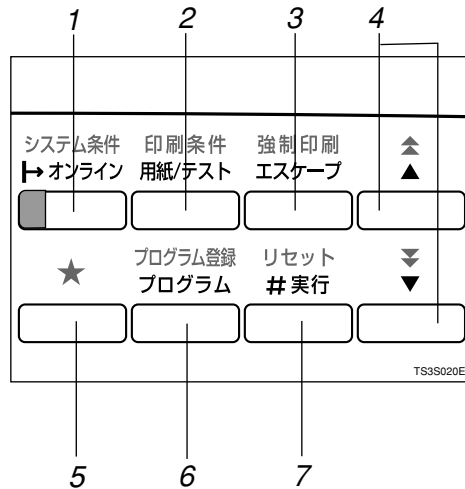
⇒ P.101 「メッセージが表示されたとき」

5. データインランプ

パソコンからデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

キーのはたらき

重要

❒ 印刷時、データインランプが点滅または点灯しているときは、キー操作を行わないでください。

1. **【オンライン】キー**

オンライン、オフラインを切り替えるときに使用します。オンラインのとき、パソコンからデータを受信できます。

【システム条件】キー（**【★】**キーを押しながら）

システム条件の設定を行うときに使用します。

⇒ P.131 「システム条件を設定する」

2. **【用紙/テスト】キー**

給紙トレイや用紙サイズの選択、テスト印刷などを行うときに使用します。

⇒ P.151 「**【用紙/テスト】**キーの使いかた」

【印刷条件】キー（**【★】**キーを押しながら）

現在設定されているエミュレーションの印刷条件を変更するときに使用します。このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

3. **【エスケープ】キー**

設定をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。用紙サイズエラーを解除するときにも使用します。

【強制印刷】キー（**【★】**キーを押しながら）

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。オンライン状態のときは無効です。

4. **【▲】【▼】キー**

表示画面をスクロールするとき、設定値を増減するときに使用します。

【⇞】【⇟】キー（**【★】**キーを押しながら）

数値を入力するときなどに、10単位で増減します。

5. **【★】キー**

キーの上側（青色部分）の機能を使用するときは、**【★】**キーを押しながらそれぞれのキーを押します。

6. **【プログラム】キー**

エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

【プログラム登録】キー（**【★】**キーを押しながら）

印刷条件をプログラムとして登録、削除したり、内容を印刷するときに使用します。このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

7. **【実行】キー**

設定値を確定します。表示は次の表示に進むか、最初の表示に戻ります。

【リセット】キー（**【★】**キーを押しながら）

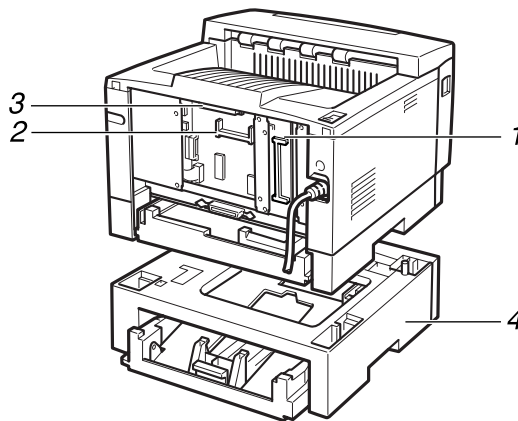
オフライン状態のときは電源を入れ直した状態になります。オンライン状態のときは印刷中のデータが取り消されます。

2. オプションを取り付ける

⚠注意

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプションを取り付けるとプリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。オプションの種類についてはP.160 「関連商品一覧」を参照してください。

オプションを取り付ける位置は次の図のとおりです。

1. **SDRAMモジュール**

32Mバイト、または64Mバイトを１枚取り付けることができます。

⇒ P.18 「SDRAMモジュールを取り付ける」

2. **拡張エミュレーション**

R55モジュールを取り付けることができます。

⇒ P.19 「拡張エミュレーションを取り付ける」

3. **拡張ボード**

100Mイーサネットボードか拡張パラレルインターフェースボードを取り付けることができます。

⇒ P.20 「拡張ボードを取り付ける」

4. **500枚増設トレイユニット**

500枚増設トレイユニットを1段取り付けることができます。用紙のセット方法は、P.98「500枚増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。

補足

❒ オプションを取り付ける時に外す拡張ボードプレートのネジは、コインを使って取り外すことががができます。

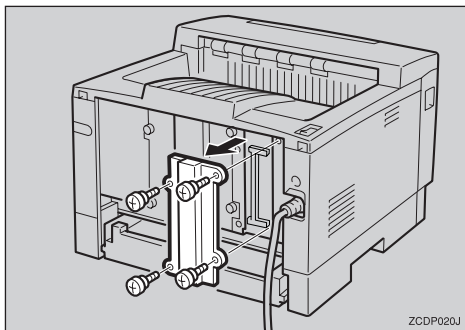
SDRAMモジュールを取り付ける

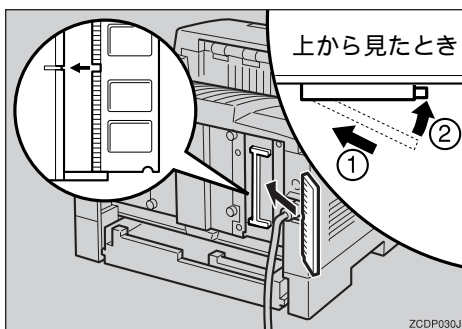
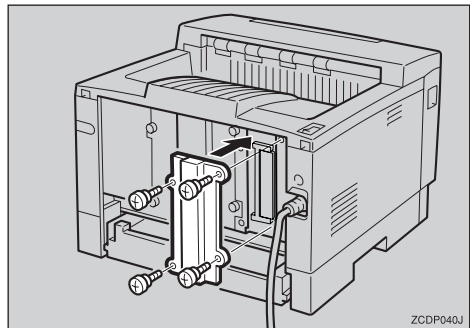
重要

- ❒ SDRAMモジュールに触れる前に、金属製の物に触れて身体の静電気を取り除いてください。

1 本機の電源を切ります。

2 背面右側の拡張ボードプレートを取り外します。

補足

- ❒ ネジはコインを使って取り外すことができます。

3 SDRAMモジュールの切り欠きと差し込み口の切り欠きの位置を合わせます。斜めに差し込んだあと(①)、カチッと音がするまで本体側に倒します(②)。

4 拡張ボードプレートを取り付けます。

5 本機の電源を入れます。

6 ステータスシートを印刷して、SDRAMモジュールが正しく取り付けられたか確認します。

参照

ステータスシートの印刷方法は、P.139「ステータスシートを印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかはステータスシートの「メモリ」の欄で確認します。標準で装備されているメモリー容量は「16,384KB」です。合計の容量が「トータル」に記載されているか確認してください。

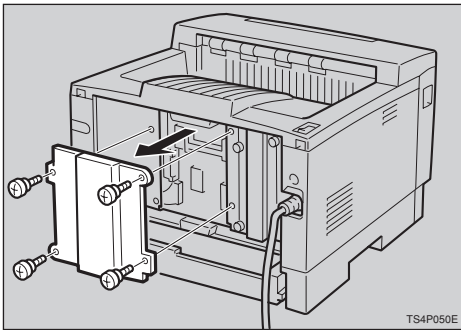
拡張エミュレーションを取り付ける

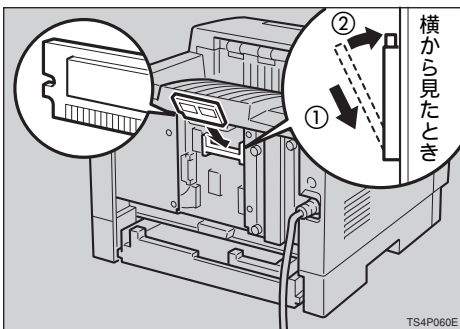
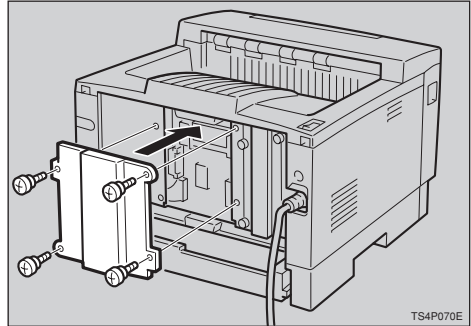
重要

- ❒ 拡張エミュレーションに触れる前に、金属製の物に触れて身体の静電気を取り除いてください。

1 **本機の電源を切ります。**

2 **背面左側の拡張ボードプレートを取り外します。**

補足

- ❒ ネジはコインを使って取り外すことができます。

3 **拡張エミュレーションを切り欠きがある方を左側にして、差し込み口に向けて斜めに差し込んだあと（①）、カチッと音がするまで本体側に倒します（②）。**

4 **拡張ボードプレートを取り付けます。**

5 **本機の電源を入れます。**

6 **操作パネルのキーを使用して、拡張エミュレーションが正しく取り付けられたか確認します。**

補足

- ❒ **【プログラム】**キーを押したあと、**【▲】【▼】**キーを押して「オプション＃１ Ｒ５５」が表示されれば、正しく取り付けられています。

拡張ボードを取り付ける

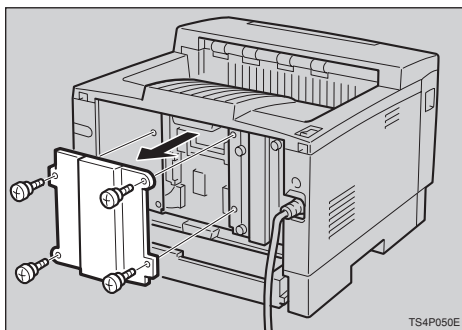
本機に取り付けられる拡張ボードは以下のとおりです。

- 100Mイーサネットボード スロット2
- 拡張パラレルインターフェースボード タイプ90

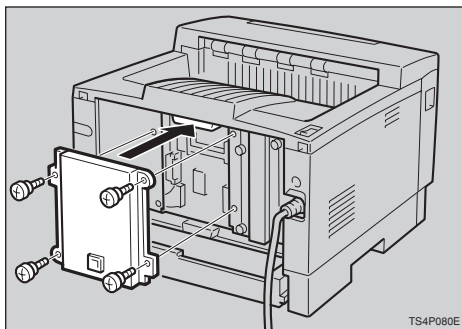
1 本機の電源を切ります。

2 背面左側の拡張ボードプレートを取り外します。

TS4P050E

補足

❒ ネジはコインを使って取り外すことができます。

3 プリンター本体と拡張ボードのネジ穴を合わせるようにしながらコネクターを奥まで差し込み、拡張ボードをネジで固定します。

TS4P080E

4 本機の電源を入れます。

5 ステータスシートを印刷して、拡張ボードが正しく取り付けられたか確認します。

参照

ステータスシートの印刷方法は、P.139「ステータスシートを印刷する」を参照してください。

補足

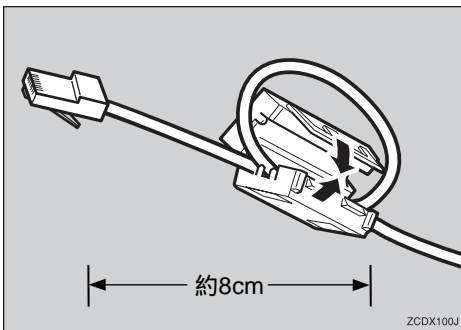
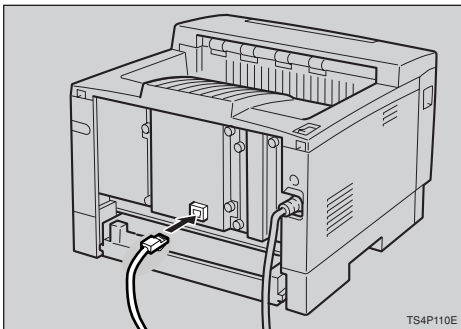
❒ ステータスシートを印刷後、以下のことを確認してください。

- イーサネットボードを取り付けたときは、「ネットワーク」という項目があるかどうか確認してください。
- パラレルインターフェースボードを取り付けたときは、「システムメモリスイッチ」という項目中の「2.パラレル2制御」の設定値を確認してください。濃いアミがかかっていなければ、正しく取り付けられています。

拡張ボードにケーブルを接続する

イーサネットボード

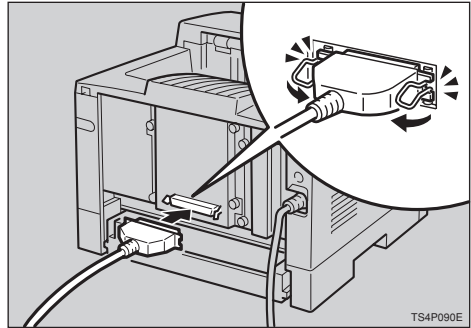
1 本機の電源を切ります。

2 ケーブルをひねりコネクターから約 8cm の所に１重のリングを１つ作り、コアを取り付けます。

3 イーサネットボードのコネクターにケーブルを接続します。

4 もう一方をネットワークのHUB（ハブ）に接続します。

5 本機の電源を入れます。

パラレルインターフェースボード

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 パラレルインターフェースボードのコネクターにケーブルを接続したあと、両側の金具で固定します。

3 もう一方をパソコンのインターフェースコネクターに接続します。

4 本機の電源を入れます。

5 パソコンの電源を入れます。

3. 印刷するための準備をする

ここではネットワークに接続されたプリンターを印刷できるように設定したり、ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

ネットワーク環境でご使用の場合はP.24「ネットワーク環境の設定をする」の内容にしたがって設定してからP.28 「ソフトウェアをインストールする」の操作を行ってください。

パソコンをパラレル接続してご使用の場合は、P.28「ソフトウェアをインストールする」の操作を行ってください。

パラレル接続でご使用の場合

1 ソフトウェアをインストールする

CD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

⇒ P.28 「ソフトウェアをインストールする」

ネットワーク環境でご使用の場合

1 ネットワーク環境の設定をする

プリンターの操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

⇒ P.24 「ネットワーク環境の設定をする」

2 ソフトウェアをインストールする

CD-ROMからプリンタードライバーや各種のユーティリティをインストールします。

⇒ P.28 「ソフトウェアをインストールする」

補足

- ネットワーク環境でご使用になる場合は、オプションのイーサネットボードが必要です。

ネットワーク環境の設定をする

プリンターの操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

TCP/IPをご利用できる環境でIPアドレスに関する設定をする場合は、「Ridoc Manager for Admin」も使用できます。

3

操作パネルを使った設定

使用するネットワーク環境に応じて必要な項目を設定します。

設定できる項目と工場出荷時の値は以下のとおりです。

項目名	工場出荷時
35.IPアドレス	011.022.033.044
36.サブネットマスク	000.000.000.000
37.デフォルトゲートウェイアドレス	000.000.000.000
38.アクセスコントロールアドレス	000.000.000.000
39.アクセスコントロールマスク	000.000.000.000
40.ネットワークブート	NONE
41.フレームタイプ (NetWare)	ジドウセンタク
42.有効プロトコル	TCP&NW&NB
43.通信速度 [*1]	自動設定

[*1] **必要に応じて設定してください。詳しくは** P.131「システム条件を設定する」を参照してください。

1 【★】キーを押しながらシステム条件キーを押します。

2 使用するプロトコルの組み合わせを選択します。

選択できる組み合わせは以下のとおりです。

	有効なプロトコル [*1]			
	TCP	NW	AT	NB
ALL ACTIVE	○	○	○	○
NO ACTIVE				
TCP/IP ONLY	○			
NetWare ONLY		○		
TCP&NetWare	○	○		
ATalk ONLY			○	
TCP&ATalk	○		○	
NetW&ATalk		○	○	
TCP&NW&ATK	○	○	○	
NetBEUI ONLY				○
TCP&NetBEUI	○			○
NetW&NetBEUI		○		○
TCP&NW&NB (工場出荷時)	○	○		○
ATalk&NetBEUI			○	○
TCP&ATK&NB	○		○	○
NW&ATK&NB		○	○	○

[*1] **有効なプロトコルは、左から順に**TCP/IP, NetWare, AppleTalk, NetBEUI**です**

補足

- ❒ 本機ではAppleTalkは使用できません。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。
- ❒ NetWare5J のピュア IP 環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを有効にしてください。

❶「42.ユウコウプロトコル」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>  ▲
 42.ﾕｳｺｳﾌﾟﾛﾄｺﾙ ▼
```

❷【実行】キーを押します。

現在の設定が表示されます。

```
<42.ﾕｳｺｳﾌﾟﾛﾄｺﾙ>▲
*TCP & NW & NB ▼
```

❸【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するプロトコルの組み合わせを表示させます。

❹【実行】キーを押します。

3 TCP/IP プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。

補足

- ❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ TCP/IPプロトコルを使用する場合、IPアドレスは必ず設定してください。

❶「35.IPアドレス」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>  ▲
 35.IPｱﾄﾞﾚｽ    ▼
```

❷【実行】キーを押します。

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

```
 011.022.033.044
             ___
```

❸【▲】キーまたは【▼】キーを押して、値を変更するフィールドにカーソル（ーーー）を移動します。

❹【実行】キーを押します。

```
 011.022.033.044
 011
```

❺【▲】キーまたは【▼】キーを押して、2行目の数字を設定する値に合わせます。

```
 011.022.033.044
 092
```

補足

- ❒【★】キーを押しながら押すと、値が10ずつ変わります。

❻【実行】キーを押します。

フィールドに値が入力されます。

```
 192.022.033.044
 ___
```

❼ 手順 ❸ 〜 ❻ を繰り返してすべてのフィールドに値を入力します。

```
 192.168.015.016
             ___
```

❽【エスケープ】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>  ▲
 35.IPｱﾄﾞﾚｽ    ▼
```

4 TCP/IP プロトコルを使用するときは、同様の手順で「36.サブネットマスク」〜「39.アクセスコントロールマスク」までの項目を設定します。

3

3

5 TCP/IPプロトコルを使用するときは、ネットワークブートの設定をします。

コンピュータ側からアドレスを設定する方式を次の中から選択します。

表示	有効な方式 [*1]			
	AR	RA	BO	DH
ARP+PING	○			
ARP&RARP	○	○		
ARP&BOOTP	○		○	
ARP&RARP&BOOT	○	○	○	
NONE (工場出荷値)				
RARP+TFTP		○		
BOOTP			○	
RARP&BOOTP		○	○	
DHCP				○

*1 有効な方式は、左から順にARP+PING,RARP+TFTP, BOOTP, DHCPです。

補足

❒ 操作パネルからアドレスを設定するときは、「NONE」を選択してご使用ください。

❒ RARP+TFTP、BOOTP、DHCPを使用するときはサーバの設定が必要です。

参照

DHCP　を使用するときはイーサネットボードの使用説明書の「DHCP を使用する場合」を参照してください。

❶ **【▼】キーを押して「40.ネットワークブート」を表示させます。**

```
<システム ジョウケン>  ▲
 40.ネットワークブート ▼
```

❷ **【実行】キーを押します。**

現在の設定が表示されます。

```
<40.ネットワークブート>▲
*NONE                ▼
```

❸ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用する方式を表示させます。**

❹ **【実行】キーを押します。**

6 フレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNET2
- ETHERNETSNAP

補足

❒「自動選択」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

❶ **「41. フレームタイプ NW」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。**

```
<システム ジョウケン>  ▲
 41.フレームタイプ NW  ▼
```

❷ **【実行】キーを押します。**

現在の設定が表示されます。

```
<41.フレームタイプ NW>▲
*ジドウセンタク       ▼
```

❸ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させます。**

❹ **【実行】キーを押します。**

7 【エスケープ】キーを押します。

```
RPDL          トレイ1
              A4 □
```

8 【オンライン】キーを押します。

オンラインランプが消えて、プリンターがオフライン状態になります。

9 【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

電源を入れ直した状態となり、設定した項目が有効になります。

10 ステータスシートを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

ステータスシートの印刷方法については、P.139 「ステータスシートを印刷する」を参照してください。

アドレスについて

❖ **サブネットマスク**

IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ **デフォルトゲートウェイアドレス**

別のネットワークのワークステーションとのやり取り（印刷や情報の取得）を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルータのアドレスです。

補足

❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

アクセスコントロールについて

アクセスコントロールアドレスとアクセスコントロールマスクは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。

補足

❒ アクセスコントロールアドレスをマスクした結果と、印刷しようとしているワークステーションのアドレスをマスクした結果が一致した場合にアクセスを許可します。

❒ たとえばアクセスコントロールアドレスを192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なワークステーションのアドレスはマスク値によって次のようになります（xxxはどんな数値でもかまいません）。

アクセス コントロールマスク	アクセス可能な アドレス
0. 0. 0. 0	XXX. XXX. XXX. XXX
255. 0. 0. 0	192. XXX. XXX. XXX
255. 255. 0. 0	192. 168. XXX. XXX
255. 255. 255. 0	192. 168. 15. XXX
255. 255. 255. 255	192. 168. 15. 16

ソフトウェアをインストールする

本書はWindowsの機能と操作方法について十分ご理解いただいていることを前提に説明しています。Windowsの機能および操作方法の詳細については、Windowsの説明書を参照してください。

オートランプログラムについて

Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0上でCD-ROMをパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタードライバーやユーティリティなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します。

補足

❒ OSの設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「INSTTOOL.EXE」をダブルクリックして起動してください。

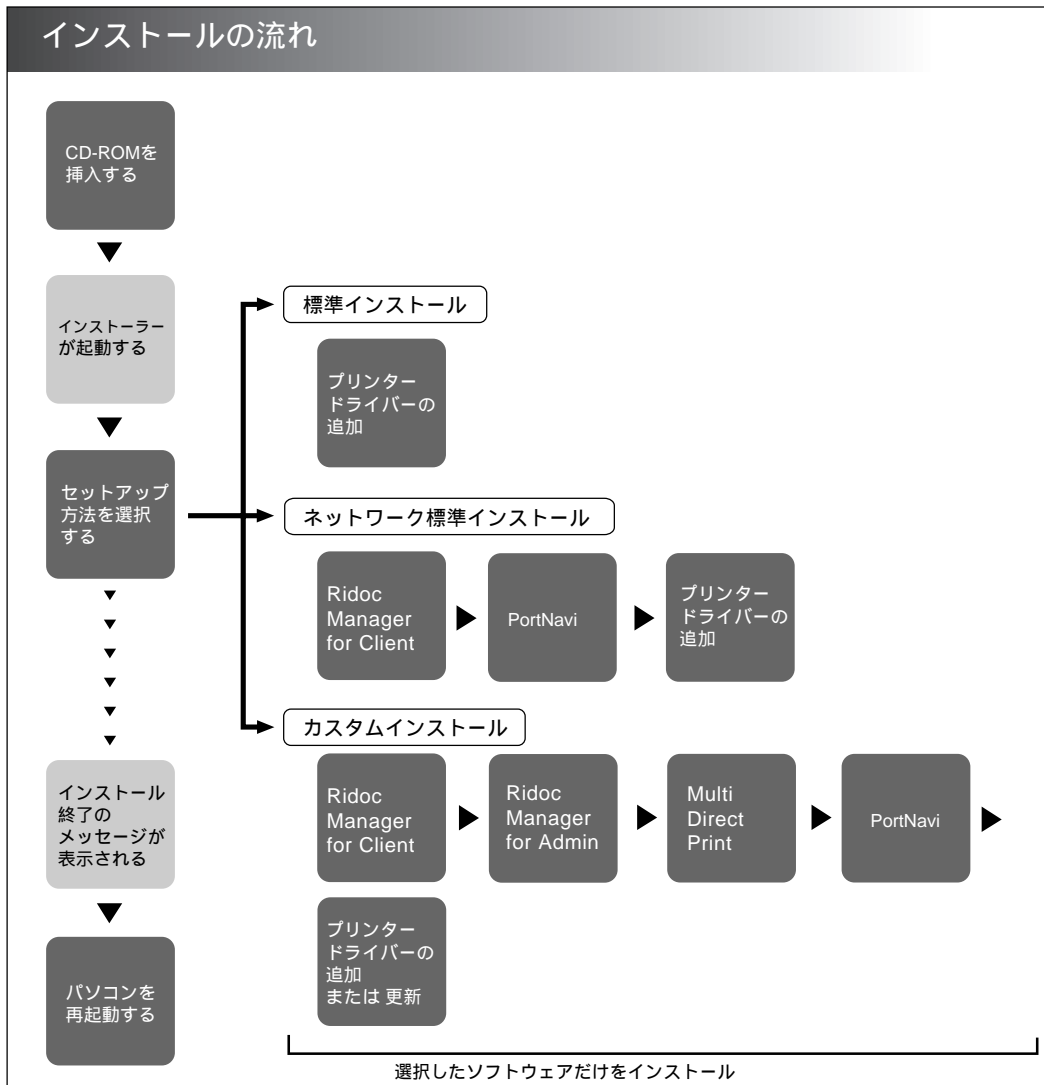
❒ オートランを無効にしたいときは、**Shift**キーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで**Shift**キーを押したままにします。

❒ インストールの途中で［キャンセル］を押すと、以降のすべてのソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。

制限

❒ Windows2000、WindowsNT4.0でインストーラーを使用するときはAdministratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

❒ WindowsNT3.51では、オートランプログラムでのインストールはできません。WindowsNT3.51へのインストールの詳細はP.49「WindowsNT3.51へのインストール」を参照してください。

オートランプログラムでのインストールの流れは以下のとおりです。

参照

標準インストール⇒ P.32

ネットワーク標準インストール⇒ P.34

カスタムインストール⇒ P.38

パラレルで接続する方は標準インストールを、TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷する方はネットワーク標準インストールを選択します。NetBEUIプロトコルやIPPを使ってネットワーク接続する方や管理者の方は、カスタムインストールを選択します。

オートランプログラムでインストールできるソフトウェアは以下のとおりです。

❖ プリンタードライバー

Windows から印刷する場合に必要なソフトウェアです。印刷を始める前に必ずインストールしてください。はじめてプリンタードライバーをインストールするときはプリンタードライバーの追加を行います。プリンタードライバーの更新はプリンタードライバーをバージョンアップするときに選択します。

重要

- ❒ 市販のアプリケーションで個別の指定が必要な場合があります。また、プリンタードライバーの設定と異なる設定になることがあります。それぞれのアプリケーションの説明書を参照してください。

参照

プリンタードライバーの動作環境については、P.52「プリンタードライバー」を参照してください。

❖ Ridoc Manager for Client

ネットワークプリンターとしてお使いになるときに便利なユーティリティです。詳しくは P.53「Ridoc Manager」、またはRidoc Managerのヘルプを参照してください。

❖ Ridoc Manager for Admin

管理者の方が使用するネットワークユーティリティです。詳しくはP.53 「Ridoc Manager」、またはRidoc Managerのヘルプを参照してください。

❖ PortNavi

TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するためのユーティリティです。詳しくはイーサネットボードの使用説明書、またはPortNaviのヘルプを参照してください。

❖ Multi Direct Print

NetBEUIプロトコルやIPP（Internet Printing Protocol）を使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するためのユーティリティです。詳しくはイーサネットボードの使用説明書およびMulti Direct Printの「README」ファイルを参照してください。

Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0へのインストール

Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0へのインストールは、オートランプログラムを使用して行います。ここでは、Windows98　の画面例を使用して説明しています。Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0でも基本的な操作は同じです。

CD-ROMに「README」ファイルが入っています。「README」ファイルにはプリンタードライバーの情報や、いろいろなアプリケーションに対する注意事項などが記載されています。インストールの前に内容を確認してください。「README」ファイルは次のディレクトリに格納されています。

- Windows95/98
  DRIVERS\WIN95\DISK1
- Windows2000/WindowsNT4.0
  DRIVERS\WINNT40\DISK1

制限

- ❒ すべてのアプリケーションを終了させてからインストールを始めてください。

重要

- ❒ バージョンの異なるプリンタードライバーを混在させることはできません。これまでリコーのプリンターをご使用の場合、インストールの途中で、「更新されます」というメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、表示されているプリンタードライバーがバージョンアップされますので「はい」を選択してください。
- ❒ 本機とパソコンをパラレルインターフェースで接続している場合、プラグアンドプレイ機能が働いていると、Windows95/98の場合は、起動時に［新しいソフトウェア］または、［デバイスドライバウィザード］が表示されます。表示される画面は、Windows95/98のシステムのバージョンによって異なります。Windows2000の場合は、［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。これらの画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックしてウィザードを中止し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、オートランでインストールしてください。

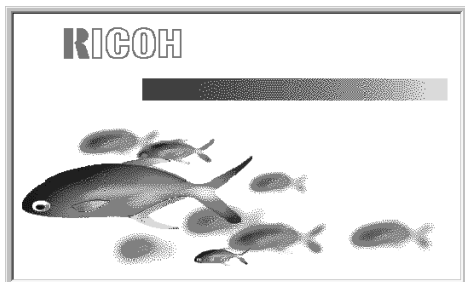
❖ 印刷ログコード

プリンタードライバーに印刷ログコードと呼ばれる最大８桁の番号を設定することができます。印刷ログコードを設定しておくと、コードごとの印刷枚数をプリンターが記録し、確認することができます。
印刷ログコードを使って、印刷枚数を管理するときは、管理者の方がパソコンごとに設定する印刷ログコードをあらかじめ決めておき、プリンタードライバーをインストールする前に各ユーザーに通知しておいてください。

標準インストール

［標準インストール］では、RPDLプリンタードライバーがインストールされます。

1 **Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

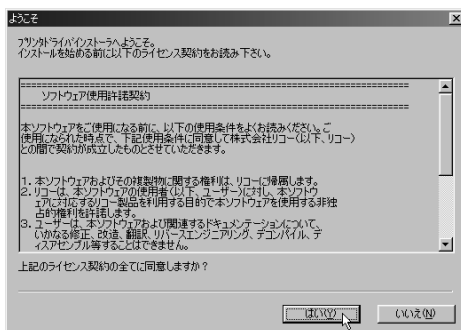
インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 **［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。**

3 **［標準インストール］を選択し、［次へ］をクリックします。**

参照

［ネットワーク標準インストール］を選択した場合の操作方法については、P.34「ネットワーク標準インストール」を参照してください。

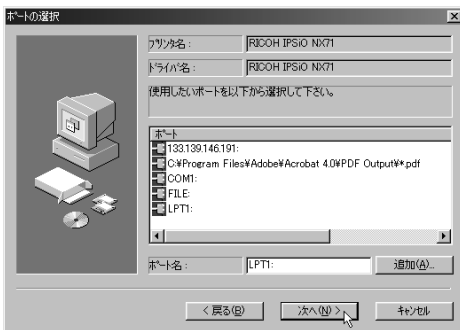
［カスタムインストール］を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択できます。操作方法についてはP.38「カスタムインストール」を参照してください。

4 **ライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。**

5 **印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンター名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。**

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.44「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」
  - 「CD-ROM　にドライバが存在しません。」
- ❒ WindowsNT4.0をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.45「WindowsNT4.0へプリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「このバージョンのOSでは実行できません。」

6 使用するポート名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。

補足

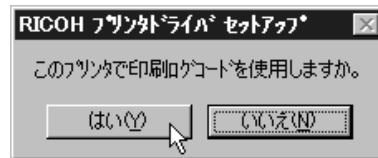
- ❒ ネットワーク環境でご使用の場合は、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。プリンタードライバーをインストールした後、ご使用の環境に合わせてポートを変更してください。その他の環境で印刷する場合は、イーサネットボードの使用説明書を参照してください。

7 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

補足

- ❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

8 Windows95/98　をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。

Windows2000、WindowsNT4.0の方は手順9に進みます。

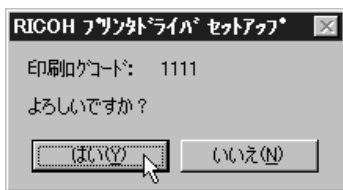
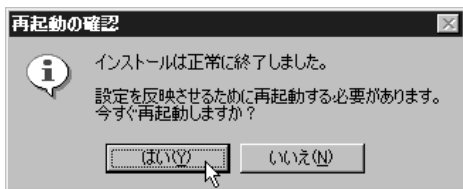
補足

- ❒ Windows2000、WindowsNT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。詳細については、Ridoc Managerのヘルプを参照してください。

❶ 印刷ログコードを入力し、［OK］をクリックします。

補足

- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❷ **確認のメッセージが表示されますので、よければ［はい］をクリックします。**

9 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

10 再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.48「双方向通信が働く条件」を参照してください。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由のTCP/IPで印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows95/98でご使用の方はP.42「Windows95/98のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows2000、WindowsNT4.0でご使用の方はP.43「Windows2000、WindowsNT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

重要

❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.47「印刷領域を拡張する」を参照してください。

ネットワーク標準インストール

操作の前に

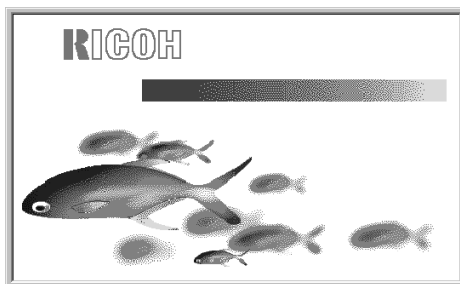
TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するときに選択します。

［ネットワーク標準インストール］では、Ridoc Manager for Client、PortNavi、RPDLプリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ Multi Direct Printで使用していた印刷ポートがある場合、PortNaviに引き継がれます。

1 Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 **［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。**

3 **［ネットワーク標準インストール］を選択し、［次へ］をクリックします。**

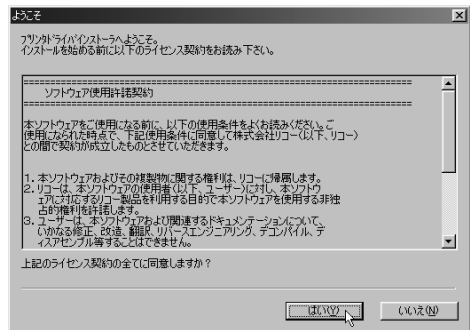
参照

［標準インストール］を選択した場合の操作方法については、P.32「標準インストール」を参照してください。

［カスタムインストール］を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択できます。操作方法についてはP.38「カスタムインストール」を参照してください。

4 Ridoc Manager for Client**のインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

5 PortNavi **のインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

6 **プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。**

7 **印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンター名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。**

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

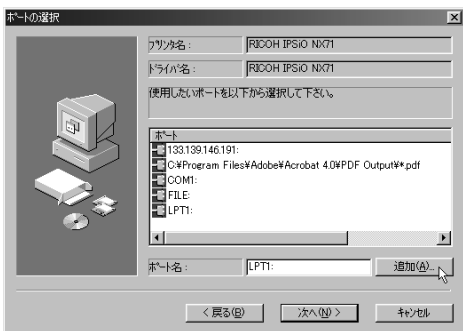
補足

- 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.44「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」
  - 「CD-ROM　にドライバが存在しません。」

3

❒ WindowsNT4.0 をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.45「WindowsNT4.0 へプリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「このバージョンの OS では実行できません。」

8 **［追加］をクリックします。**

［ポートの追加］ダイアログが表示されます。

9 **「RICOH PortNavi」を選択し、［OK］をクリックします。**

次の画面が表示され、プリンターが検索されます。

10 **ご使用のプリンターを選択し、［OK］をクリックします。**

追加したポートが［ポート名］に「IPアドレス@モデル名」の形式で表示されます。

11 **手順 10 で選択したポートが反転表示されていることを確認して、［次へ］をクリックします。**

12 **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

補足

❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

13 **Windows95/98をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。**

Windows2000、WindowsNT4.0の方は手順14に進みます。

補足

- ❒ Windows2000、WindowsNT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。詳細については、Ridoc Managerのヘルプを参照してください。

❶ 印刷ログコードを入力し、[OK] をクリックします。

補足

- ❒ 入力できるのは、半角数字最大８桁です。英字や記号はご使用になれません。

❷ 確認のメッセージが表示されますので、よければ[はい]をクリックします。

14 インストール終了のメッセージが表示されます。[はい] をクリックし、Windowsを再起動します。

15 再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.48「双方向通信が働く条件」を参照してください。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

- ❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由の TCP/IP で印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows95/98でご使用の方はP.42「Windows95/98 のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows2000、WindowsNT4.0でご使用の方はP.43「Windows2000、WindowsNT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

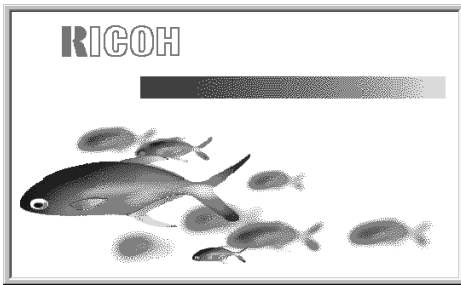
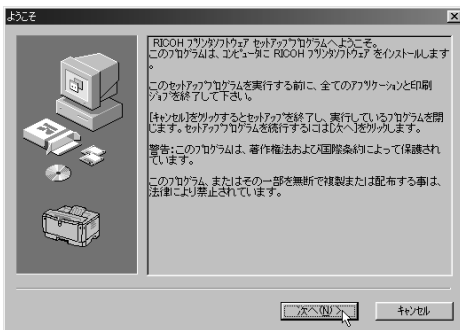
重要

- ❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.47「印刷領域を拡張する」を参照してください。

カスタムインストール

［カスタムインストール］では、インストールするソフトウェアを選択することができます。必要なソフトウェアを選択してインストールしてください。

1 **Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 **［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックし、［次へ］をクリックします。**

［ソフトウェアの選択］ダイアログが表示されます。

参照

［標準インストール］を選択した場合の操作方法は、P.32「標準インストール」を参照してください。

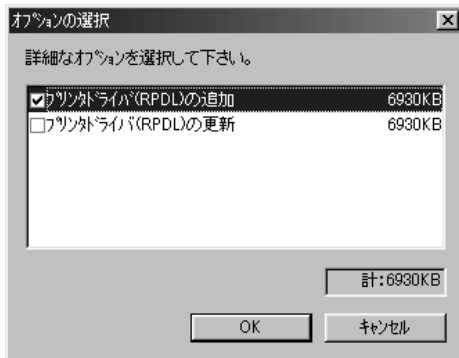
［ネットワーク標準インストール］を選択した場合の操作方法については、P.34「ネットワーク標準インストール」を参照してください。

4 **インストールするソフトウェアを選択します。**

❶ **インストールするソフトウェアをクリックして反転表示させ、［詳細］をクリックします。**

❷ **ユーティリティを選択したときは、インストールするユーティリティをクリックして反転表示させ、✓印を付けます。プリンタードライバーのインストールを選択したときは、インストール方法をクリックして反転表示させ、✓印を付けます。**

❖ **［ユーティリティ］を選択したとき**

❖ **［プリンタドライバ］を選択したとき**

はじめて本機のプリンタードライバーをインストールするときは［プリンタドライバの追加］を、これまでに、本機のプリンタードライバーを使用していたときは［プリンタドライバの更新］を選択してください。

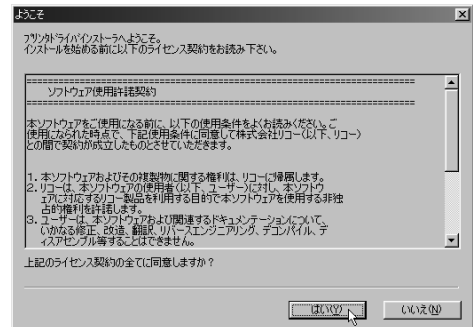
❸ **［OK］をクリックします。**

5 インストールしたいソフトウェアをすべて選択したら、［次へ］をクリックします。

6 手順 4 でユーティリティのインストールを選択したときは、選択したソフトウェアのインストーラーが順に起動します。メッセージに従って操作してください。

ユーティリティのインストールを選択しなかったときは手順7へ進みます。

7 手順 4 でプリンタードライバーのインストールを選択したときは、選択したソフトウェアのインストールがすべて終了すると、ライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールを選択しなかったときは手順11へ進みます。

8 ［プリンタドライバの追加］を選択したときは、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。

❶ **ご使用の機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンター名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。**

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.44 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「更新対象のドライバより、CD-ROM のドライバのバージョンが古いです。」
    - 「CD-ROM にドライバが存在しません。」
- ❒ WindowsNT4.0 をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.45 「WindowsNT4.0へプリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「このバージョンのOSでは実行できません。」

❷ **使用するポート名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。**

補足

- ❒ ネットワーク環境でご使用の場合は、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。プリンタードライバーをインストールした後、ご使用の環境に合わせてポートを変更してください。PortNaviを使って印刷する場合は、P.54「PortNavi」を参照してください。その他のネットワーク環境で印刷する場合は、イーサネットボードの使用説明書を参照してください。

❸ **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

9 **［プリンタドライバの更新］を選択したときは、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。**

❶ **インストールされているプリンタードライバーが表示されるので、更新するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。**

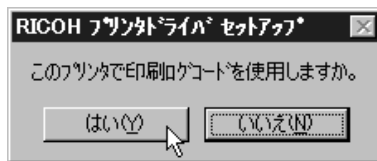
更新するプリンタードライバーと同じ種類のプリンタードライバーがインストールされているとメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、すべてのプリンタードライバーを更新してください。

❷ **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

補足

- ❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

10 **Windows95/98 をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。**

Windows2000、WindowsNT4.0の方は手順**11**へ進みます。

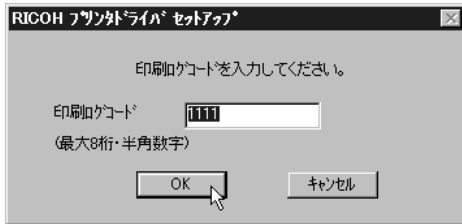
補足

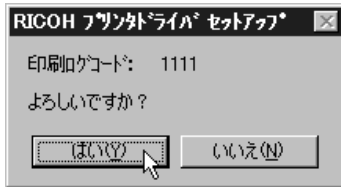
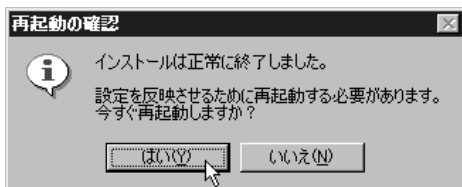
- ❒ Windows2000、WindowsNT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3

❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。詳細については、Ridoc Managerのヘルプを参照してください。

❶ **印刷ログコードを入力し、［OK］をクリックします。**

補足

❒ 入力できるのは、半角数字最大８桁です。英字、記号は使用できません。

❷ **確認のメッセージが表示されますので、よければ［はい］をクリックします。**

11 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

12 プリンタードライバーをインストールしたときは、再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.48「双方向通信が働く条件」を参照してください。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由の TCP/IP で印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows95/98でご使用の方はP.42「Windows95/98のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows2000、WindowsNT4.0でご使用の方はP.43「Windows2000、WindowsNT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

重要

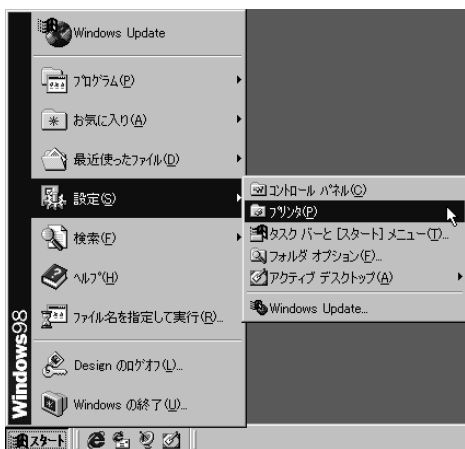
❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.47「印刷領域を拡張する」を参照してください。

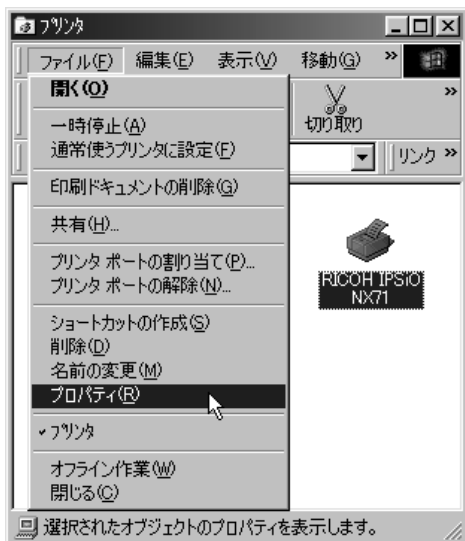
Windows95/98のオプションセットアップ

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.48「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 ［基本］タブをクリックし、［オプション構成］をクリックします。

［オプション構成］ダイアログが表示されます。

補足

❒ ［オプション構成］ダイアログが表示されないときは、双方向通信が働いています。このときオプションのセットアップ操作は必要ありません。

4 ［オプション選択］ボックスで接続したオプションをクリックして反転表示させ、［追加→］をクリックします。

5 ［給紙トレイの用紙サイズ・セット方向］でそれぞれのトレイにセットした用紙サイズ・方向を正しく設定してください。

6 ［OK］をクリックし、［オプション構成］ダイアログを閉じます。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows2000、WindowsNT4.0のオプションセットアップ

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

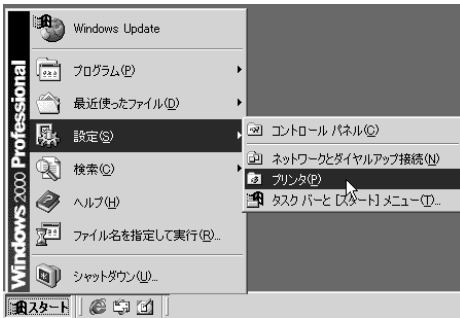
ここでは、Windows2000 の画面例を使用して説明しています。

制限

- ❒［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには､「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administratorsまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信については、P.48「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 ［オプション構成］タブをクリックします。

補足

- ❒［オプション構成］タブが表示されないときは、双方向通信が働いています。このときオプションのセットアップ操作は必要ありません。

4 **［オプション選択］ボックスで接続したオプションをクリックして反転表示させ、［追加→］をクリックします。**

5 **［給紙トレイの用紙サイズ・セット方向］でそれぞれのトレイにセットした用紙サイズ・方向を正しく設定してください。**

6 **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥WIN95、または¥DRIVERS¥WINNT40になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

WindowsNT4.0へプリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記メッセージは、WindowsNT4.0日本語版サービスパック４の環境で、オートランプログラムを使って本製品のプリンタードライバーをインストールした場合、更新対象のプリンタードライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

インストールを中止してから、すでにインストールされているプリンタードライバーのバージョンを確認し、バージョンが「V3.X.X」のプリンタードライバーをすべて削除してください。その後、必要なプリンタードライバーを［プリンタの追加］でインストールしてください。ユーティリティはCD-ROMのオートランプログラムを使って最後にインストールします。

❖ オートランプログラムを中止する

① 上記メッセージで［OK］をクリックします。

② ［プリンタの選択］ウィンドウで［キャンセル］をクリックします。

③ 「インストールは完了していません。」と表示されたら［キャンセル］をクリックします。

④ 「一部のインストールが中断されました。」と表示されたら［OK］をクリックします。

❖ プリンタードライバーのバージョンを確認する

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② プリンタードライバーのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

③ ［その他］タブの［バージョン情報］をクリックします。

④ バージョン情報を確認します。

❖ プリンタードライバーを削除する

補足

❒ WindowsNTのCD-ROMで提供されたプリンタードライバーは削除不要です。プリンターのプロパティを開いて、［全般］タブの［ドライバー］ボックス内の名称末尾に「RPDL」と表示されていれば、そのプリンタードライバーはWindowsNTのCD-ROMからインストールされたものです。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② 削除するプリンタードライバーのアイコンを反転表示させ、［ファイル］メニューの［削除］をクリックします。

③ WindowsNTを再起動します。

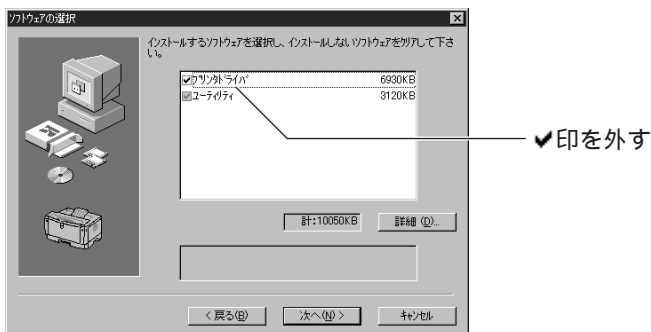
❖ プリンタードライバーをインストールする

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

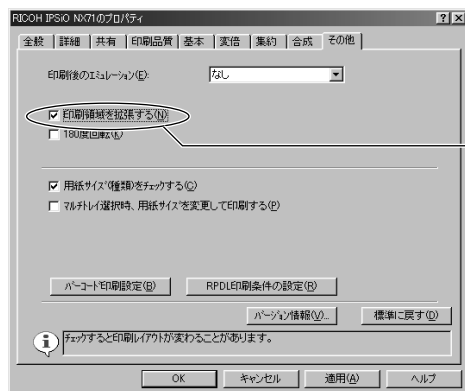
③ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS ¥WINNT40になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

❖ ユーティリティをインストールする

ユーティリティはCD-ROMのオートランプログラムでインストールします。ただし［カスタムインストール］を使い、プリンタードライバーを選択しない設定でインストールしてください。

印刷領域を拡張する

他社のプリンターで印刷すると1ページに入っていた文書が、本機で印刷すると1ページに入らないことがあります。これは印刷領域の違いに理由があります。プリンターのプロパティで［印刷領域を拡張する］に✓印を付けると、印刷領域を広げて印刷しますので、ほとんどの場合この現象を防ぐことができます。

補足

- ❒ この設定は［標準に戻す］ボタンをクリックしても変わりません。
- ❒ ✓印を付けると、行の最後の文字が次の行に送られるなど、変更前とレイアウトが異なることがあります。通常は✓印を付けない状態でお使いください。

① ［プリンタ］ウィンドウからご使用のプリンターのプロパティを表示します。
- Windows95/98の場合は、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
- Windows2000の場合は、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。
- WindowsNT4.0の場合は、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

② ［その他］タブをクリックします。

③ ［印刷領域を拡張する］をチェックして✓印を付けます。

④ 印字領域設定の確認画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

⑤ ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

3

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0で働く機能です。WindowsNT3.51では働きません。
- 双方向通信機能が働いていると、Windows95/98の場合は、プリンターのプロパティ画面の［基本］タブで［オプション構成］ボタンをクリックするとオプション構成画面が表示されずに、自動的にプリンターの状態や情報を取得します。Windows2000、WindowsNT4.0の場合は、プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されません。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ パラレルインターフェースで接続されているとき

- パソコンが双方向通信に対応している
- インターフェースケーブルが双方向通信に対応している
- プリンターの標準パラレルインターフェースとパソコンのパラレルコネクタで接続されている
- Windows 95/98の場合、［詳細］タブの［スプールの設定］で、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されている
- Windows2000、WindowsNT4.0の場合、［ポート］タブで［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない

❖ ネットワークで接続されているとき

- PortNavi、または Multi Direct Print を使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- Windows 95/98の場合、［詳細］タブの［スプールの設定］で、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されている
- Windows2000、WindowsNT4.0の場合、［ポート］タブで［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない
- 本機に同梱されているCD-ROM内のRidoc Manager for Clientがインストールされている

WindowsNT3.51へのインストール

プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

ネットワーク環境でお使いの場合はイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

CD-ROMに「README」ファイルが入っています。「README」ファイルにはプリンタードライバーの情報や、いろいろなアプリケーションに対する注意事項などが記載されています。インストールの前に内容を確認してください。「README」ファイルは次のディレクトリに格納されています。

DRIVERS\WINNT351

重要

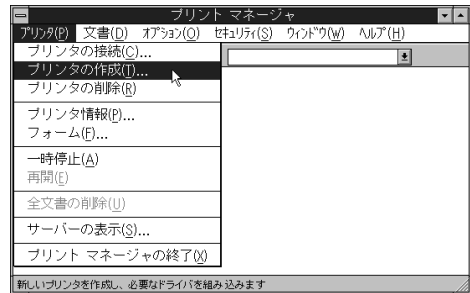
❒ バージョンの異なるプリンタードライバーを混在させることはできません。バージョンアップする場合は、古いプリンタードライバーを削除してから、新しいプリンタードライバーをインストールしてください。プリンタードライバーの削除のしかたについては、「README」ファイルを参照してください。

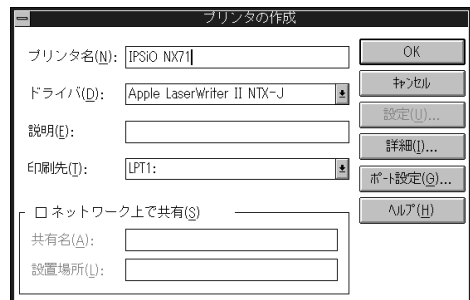
制限

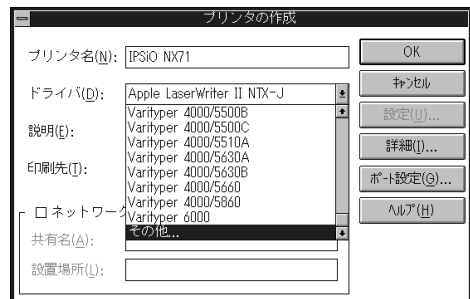
❒ プリンタードライバーをインストールするには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。インストールするときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 プログラムマネージャの［メイン］グループから［コントロールパネル］を開き、［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

プリントマネージャが起動します。

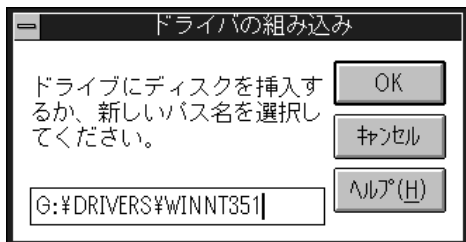
2 ［プリンタ］メニューの［プリンタの作成］をクリックします。

［プリンタの作成］ダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ名］ボックスに、プリンターの名前を入力します。

この名前はWindowsNT上で使用される名前です。

4 ［ドライバ］ボックスのドロップダウンメニューから「その他」を選択します。

5 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

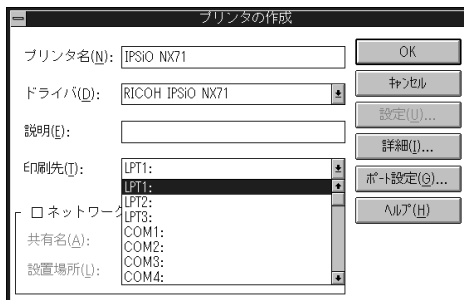
3

6 ［ドライバの組み込み］ダイアログのボックスにCD-ROMのドライブ名とコロン(:)に続けて¥DRIVERS¥WINNT351と半角で入力し、［OK］をクリックします。

CD-ROMのドライブ名がGのときは、G:¥DRIVERS¥WINNT351と入力します。

7 ［プリンタドライバ］ボックスで、印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

8 コピーが終わったら、必要に応じて［説明］ボックスにプリンターの説明を入力します。

9 ［印刷先］ボックスのドロップダウンメニューから使用するポートを選択します。

10 ［OK］をクリックします。

プリンターが作成され、プリンタードライバーを設定するダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷ログコードを使用する場合は、ここで表示される［プリンタ設定］ダイアログで設定します。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。詳細についてはRidoc Managerのヘルプを参照してください。

11 ［OK］をクリックし、ダイアログを閉じます。

これでインストールは終了です。

プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

CD-ROM収録ソフトウェアについて

ファイル一覧

<table>
<tr><td rowspan="16">CD-ROM DRIVE</td><td colspan="4">INSTTOOL.EXE
Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0で動作する、プリンタードライバーとユーティリティのインストーラーです。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DRIVERS
（⇒ P.28）</td><td>WIN95</td><td colspan="2">Windows95/98用プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td>WINNT40</td><td colspan="2">Windows2000、WindowsNT4.0用
プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td>WINNT351</td><td colspan="2">WindowsNT3.51用プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td rowspan="5">NETWORK</td><td rowspan="2">RIDOCMAN
（⇒ P.53）</td><td>ADMIN</td><td>Ridoc Manager for Admin</td></tr>
<tr><td>CLIENT</td><td>Ridoc Manager for Client</td></tr>
<tr><td>PORTNAVI
（⇒ P.54）</td><td colspan="2">PortNavi</td></tr>
<tr><td>MDP（⇒ P.55）</td><td colspan="2">Multi Direct Print</td></tr>
<tr><td>UTILITY</td><td>CODE（⇒ P.56）</td><td colspan="2">文字コード印刷ツール</td></tr>
<tr><td rowspan="2">FONTS
（⇒ P.57）</td><td>WIN31</td><td colspan="2">TrueTypeWorld Windows3.1版</td></tr>
<tr><td>WIN95NT</td><td colspan="2">TrueTypeWorld Windows95版</td></tr>
<tr><td rowspan="5">HELP
（⇒ P.61）</td><td>W2K95NT4</td><td colspan="2">Windows95/98,Windows2000,WindowsNT4.0用ヘルプ</td></tr>
<tr><td>WINNT351</td><td colspan="2">Windows NT3.51用ヘルプ</td></tr>
<tr><td>DOS</td><td colspan="2">DOSヘルプ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">WSMHLP</td><td>JA</td><td>WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプ（日）index.html</td></tr>
<tr><td>EN</td><td>WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプ（英）index.html</td></tr>
</table>

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows95/98用プリンタードライバー
  DRIVERS\WIN95

  補足

  ❒ Windows98用のプリンタードライバーは、Windows95用と共通です。

- Windows2000/WindowsNT4.0用プリンタードライバー
  DRIVERS\WINNT40

  補足

  ❒ Windows2000用のプリンタードライバーは、WindowsNT4.0用と共通です。

- WindowsNT3.51用プリンタードライバー
  DRIVERS\WINNT351

❖ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ

  制限

  ❒ WindowsNTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ(MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC)環境では動作しません。

- 対象OS
  Microsoft Windows 95 operating system 日本語版
  Microsoft Windows 98 operating system 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows 2000 サーバーグループ 日本語版
  Microsoft Windows NT Server network operating system Version4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation operating system Version4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Server network operating system Version3.51 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation operating system Version3.51 日本語版

- ディスプレイ解像度
  640×480ドット以上

ネットワーク関連ソフトウェア

Ridoc Manager

Ridoc ManagerはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。Ridoc Manager for AdminとRidoc Manager for Clientの２種類があります。

for AdminではIPアドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。for Clientは、各クライアントがWindowsの［プリンタ］フォルダに作成したプリンターの状態を監視します。

一般的にネットワーク管理者の方がfor Adminをお使いになり、印刷を行う各パソコンにfor Clientをインストールされることをお勧めします。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Admin版

  NETWORK\RIDOCMAN\ADMIN

- Client版

  NETWORK\RIDOCMAN\CLIENT

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows95/98 日本語版	Windows95/98に付属のTCP/IPプロトコル、Windows95/98に付属のIPX/SPXプロトコル、NetWare Client32 for Windows95、Intranetware Client for Windows95、Novell Client for Windows95
Microsoft Windows2000 日本語版	Windows2000に付属のTCP/IPプロトコル、Windows2000に付属のIPX/SPXトランスポート、Windows2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft WindowsNT4.0 日本語版	WindowsNT4.0に付属のTCP/IPプロトコル、WindowsNT4.0に付属のIPX/SPXトランスポート、NetWare Client for WindowsNT、Intranetware Client for WindowsNT、Novell Client for WindowsNT

❖ どんなことができるのか？

Ridoc Manager for Adminでは以下の操作ができます。

- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定を変更できます。
- プリンターで印刷したページ数を印刷ログコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- 印刷ログコードを使った各パソコンごとの印刷枚数を確認できます。

Ridoc Manager for Clientでは以下の操作ができます。

- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 複数台のプリンターを使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。

参照

Ridoc Managerの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

PortNavi

PortNaviは、TCP/IPプロトコルを使ったネットワーク環境でプリンターを効率的に活用するためのソフトウェアです。複数のネットワークプリンターを使用している環境でお使いいただくと、特に効果的です。NetBEUIプロトコルおよびIPPを使って印刷するときは、Multi Direct Printをお使いください。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\PORTNAVI

❖ どんなことができるのか？

- プリントサーバーがなくても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます(並行印刷)。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、［印刷通知］ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。

対象OS	プロトコルスタック
Windows95/98 日本語版	Windows95/98に付属のTCP/IPプロトコル
Windows2000 日本語版	Windows2000に付属のTCP/IPプロトコル
WindowsNT4.0 日本語版(Service Pack 3以上)	WindowsNT4.0に付属のTCP/IPプロトコル

制限

- ❒ PortNaviを使用するには、Ridoc Manager for Clientがインストールされている必要があります。
- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えば増設トレイなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- ❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- ❒ 試し印刷をする場合、代行印刷/並行印刷はできません。

参照

PortNaviの詳しい使い方については、イーサネットボードの使用説明書およびヘルプを参照してください。

Multi Direct Print

Multi Direct Printは、Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0からPeer-to-Peerネットワークで印刷したり、インターネットを経由して IPP に対応したネットワークプリンターに印刷するためのユーティリティです。プリントサーバーを作らなくても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\MDP

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows95/98 日本語版	Windows95/98に付属のTCP/IPプロトコル Windows95/98に付属のNetBEUIプロトコル
Microsoft Windows2000 日本語版	Windows2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows2000に付属のNetBEUIプロトコル
Microsoft WindowsNT4.0 日本語版	WindowsNTに付属のTCP/IPプロトコル WindowsNTに付属のNetBEUIプロトコル

参照

Multi Direct Printの使いかたについては、イーサネットボードに付属の使用説明書を参照してください。

文字コード印刷ツール

プリンターの内蔵フォントを印刷するソフトウェアが収録されています。

❖ **ファイル格納場所**

付属のCD-ROM内の次のディレクトリに格納されています。

`UTILITY\CODE`

以下の条件でソフトウェアを実行してください。

- パソコンとプリンターをパラレルインターフェースケーブルで接続します。
- A4の用紙をセットします。

3

印刷する

1 **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

2 **Windows上から実行するときは、MS-DOS画面に切り替えます。**

3 **CD-ROMの「¥CODE」ディレクトリに移動します。**

4 **印刷される内容に応じて、以下のようにコマンド入力します。**

`D:\UTILITY\Code> FONTMAP` コマンド

コマンド	印刷される内容	印刷枚数
RPDL	RPDL半角、RPDL JIS全角、RPDL JIS全角特殊、新旧JIS比較	25枚
R98	R16R98半角、R98R16全角特殊	4枚
R16	R16R98半角、R98R16全角特殊	4枚
SJIS	RPDL SJIS全角	19枚
KAIGAI	国別指定 半角	5枚

コマンド入力後はパソコンのディスプレイに＊印で進行状況を表します。

＊が80個になると転送が終了します。

TrueTypeWorld

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows95版
  FONTS\WIN95NT
- TrueTypeWorld Windows3.1版
  FONTS\WIN31

参照

インストール対象のOSについてはP.59「インストール対応図」を参照してください。

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

書体	見本	書体	見本
羽衣L	愛の広がる美しいフォント	創英丸ポップ体	愛の広がる美しいフォント
羽衣E	愛の広がる美しいフォント	白洲ペン楷書体	愛の広がる美しいフォント
高橋隷書体	愛の広がる美しいフォント	白洲行草書体	愛の広がる美しいフォント
江戸文字勘亭流	愛の広がる美しいフォント	白洲太楷書体	愛の広がる美しいフォント
行刻	愛の広がる美しいフォント	平成角ゴシック体™ W3	愛の広がる美しいフォント
半古印体	愛の広がる美しいフォント	平成角ゴシック体™ W9	愛の広がる美しいフォント
行書体	愛の広がる美しいフォント	平成丸ゴシック体™ W4	愛の広がる美しいフォント
祥南行書体	愛の広がる美しいフォント	平成丸ゴシック体™ W8	愛の広がる美しいフォント
正楷書体	愛の広がる美しいフォント	平成明朝体™ W3	愛の広がる美しいフォント
創英角ポップ体	愛の広がる美しいフォント	平成明朝体™ W9	愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W3	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W9	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	(財)日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows3.1版を収録しています。

基本仕様

7,602文字(MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む)

フォーマット/Microsoft Windows95日本語版準拠のTrueType Collection形式 (拡張子: ttc)

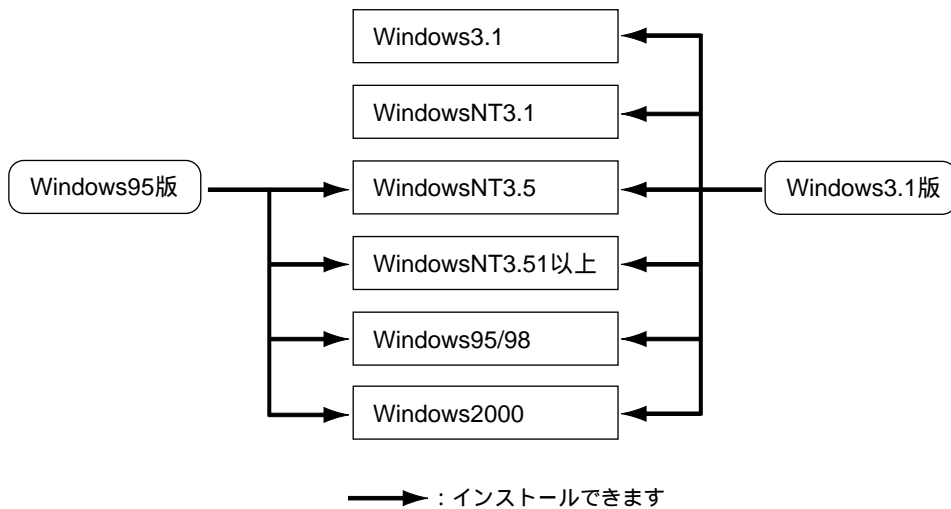
補足

- ❒ Windows95以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- ❒ フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

- ❒ 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。
- ❒ 羽衣L、羽衣E、高橋隷書体は、Windows3.1版のフォーマットで収録されています。

❖ インストール対応図

Windows95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。

Windowsへのインストール

ここでは、操作例としてWindows95/98へのインストール方法を説明しています。その他のOSへのインストール方法については、OSに付属の説明書を参照してください。

制限

- ❒ インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- ❒ リモートドライブ (ネットワーク上のドライブ) にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。
- ❒ Windows3.1版フォント(羽衣L、羽衣E、高橋隷書体)はWindows95/98での和文フォントのプロポーショナル機能はサポートしていません。

3

補足

- ❒ Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約2〜8MB(書体によって異なります)の空き容量が必要です。
- ❒ インストール後、フォント名は、Windows95版フォントでは３つの書体名「HG〜」、「HGP〜」、「HGS〜」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。**

3 **［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。**

4 **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

5 **［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。**

6 **［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。**

7 **［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。**

8 **［フォントフォルダにフォントをコピーする］に✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。**

これでインストールは終了です。

ヘルプファイル

オンラインヘルプがヘルプファイル形式で収められています。オンラインヘルプにはプリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについて詳しく記載されています。お使いの環境に応じてお読みになり、ご活用ください。

オンラインヘルプはプリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすることにより表示させることもできます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0用ヘルプファイル

  HELP\W2K95NT4

- WindowsNT3.51用ヘルプファイル

  HELP\WINNT351

- DOS用ヘルプファイル

  HELP\DOS

- WWWブラウザによるイーサネットボードの設定機能

  補足

  ❒ WWWブラウザによるイーサネットボードの設定方法がHTML形式で格納されています。

  ❒ Internet Explorer3.02以上またはNetscape Navigator3.0以上のWWWブラウザを起動し、「index.html」を開いてお読みください。

  - 日本語版

    HELP\WSMHLP\JA

  - 英語版

    HELP\WSMHLP\EN

3

4. プリンターのプロパティの表示と印刷の中止

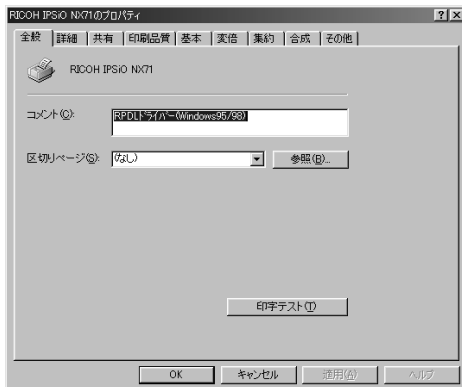
プリンターのプロパティとは、印刷するときにプリンターの機能に応じたさまざまな印刷条件を設定する、プリンタードライバーの設定画面のことです。

Windows95/98の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows95/98には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が２種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］または［情報］、［詳細］、［共有］、［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブが表示されます。

［全般］または［情報］、［詳細］、［共有］タブはWindows95/98が追加するタブで、Windows95/98の機能に関する設定を行います。

［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブが表示されます。タブの内容は［プリンタ］ウィンドウから表示させたときと同じです。

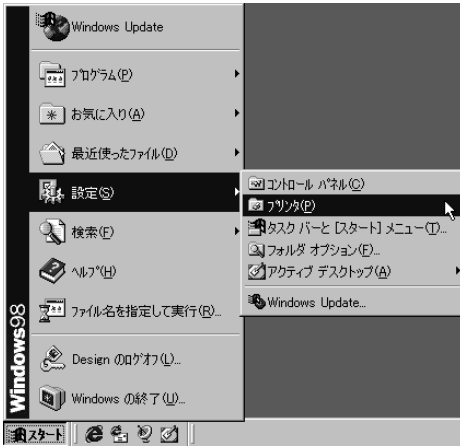
アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、［プリンタ］ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が表示されます。これは［プリンタ］ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティの設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

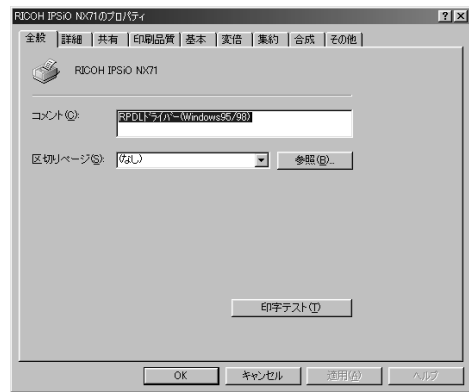
- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定するには、プリンターのプロパティを［プリンタ］ウィンドウから表示させて設定します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 **［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 **印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。**

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅•点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 **印刷を中止します。**

中止したいデータが印刷されているとき

❶ **オンラインランプが点灯していることを確認し、【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。**

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、システム条件の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

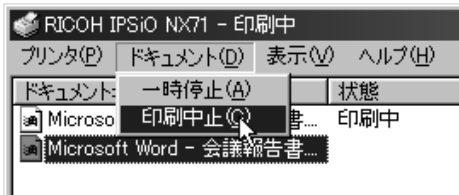
❶ **Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。**

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**

❸ **［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。**

印刷が中止されます。

補足

❒ ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows2000の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

プリンタープロパティを表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンタープロパティでは以下のタブが表示されます。

- 双方向通信しているとき

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows2000が追加するタブで、Windows2000の機能に関する設定を行います。
［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

- 双方向通信していないとき

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows2000が追加するタブで、Windows2000の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンタープロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンタープロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

参照

双方向通信についてはP.48 「双方向通信が働く条件」を参照してください。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（印刷設定）

印刷設定を表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

印刷設定では［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブが表示されます。

［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ 印刷設定の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[印刷品質]、[基本]、[変倍]、[集約]、[合成]、[その他] タブが表示されます。
アプリケーションによって、表示されるタブが異なる場合があります。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、印刷設定で設定した内容が表示されます。これは印刷設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。
アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

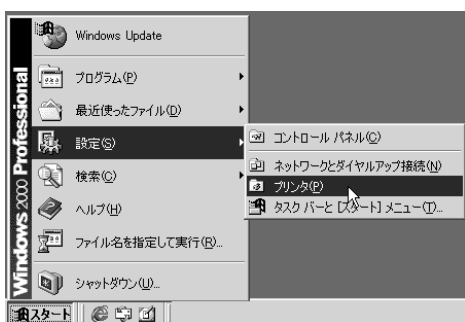
1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

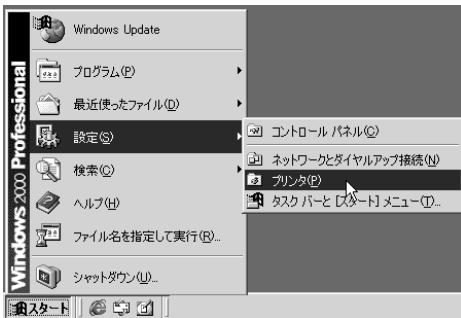
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダで印刷設定を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows2000に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

［印刷］ダイアログが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅•点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ **オンラインランプが点灯していることを確認し、【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。**

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、システム条件の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ **Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。**

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**

❸ **［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

印刷が中止されます。

補足

- ❒ ［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

WindowsNT4.0の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

WindowsNT4.0には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

プリンタープロパティを表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンタープロパティでは以下のタブが表示されます。

- 双方向通信しているとき

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブはWindowsNT4.0が追加するタブで、WindowsNT4.0の機能に関する設定を行います。

［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

- 双方向通信していないとき

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブはWindowsNT4.0が追加するタブで、WindowsNT4.0の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンタープロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンタープロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

参照

双方向通信についてはP.48 「双方向通信が働く条件」を参照してください。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（ドキュメントの既定値）

ドキュメントの既定値を表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

ドキュメントの既定値では［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブが表示されます。

［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、［印刷品質］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［その他］タブが表示されます。タブの内容は［プリンタ］ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値と同じです。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、ドキュメントの既定値で設定した内容が表示されます。これはドキュメントの既定値の設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administratorsまたは Power Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

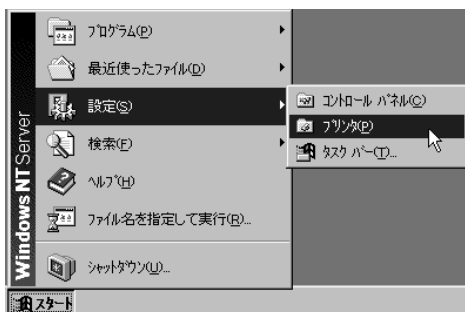
1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

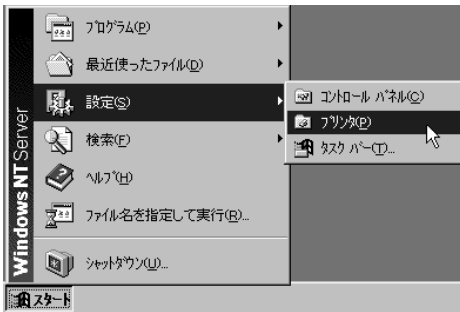
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでドキュメントの既定値を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または Power Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。**

ドキュメントの既定値が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindowsNT4.0に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 **［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 **印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。**

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅•点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 **印刷を中止します。**

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、システム条件の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［印刷ドキュメントの削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

4

WindowsNT3.51の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

WindowsNT3.51には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が２種類あります。

❖ プリントマネージャから表示させる

プリントマネージャから表示させる画面には、［プリンタ情報］、［プリンタ設定］、［プリンタ詳細］、［標準設定］、［印刷設定］ダイアログがあります。
このうち、［プリンタ情報］、［プリンタ設定］、［プリンタ詳細］ダイアログでは、プリンターの初期設定を行います。［標準設定］、［印刷設定］ダイアログでは、アプリケーションで印刷するための初期値を設定します。

制限

- ❒ プリントマネージャから表示させた画面の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから表示させるプリンターの設定画面は、プリントマネージャから表示させることができる［標準設定］ダイアログと［印刷設定］ダイアログです。この画面を表示させると、プリントマネージャで設定した内容と同じ内容で表示されます。これはプリントマネージャの設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

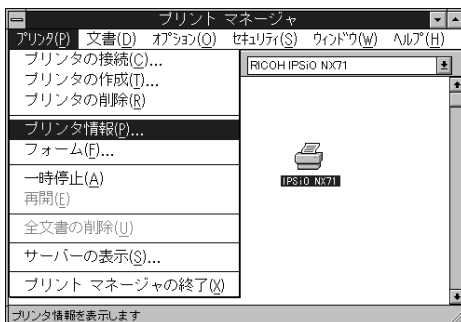
印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値は、プリントマネージャから表示させる画面で設定します。

制限

- プリントマネージャから表示させた画面の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［メイン］グループの［プリントマネージャ］をダブルクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンまたはウィンドウをクリックして反転表示させ、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。**

［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

補足

- ［設定］をクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが表示されます。
- ［詳細］をクリックすると［プリンタ詳細］ダイアログが表示されるので、そこで［標準設定］をクリックすると［標準設定］ダイアログが表示されます。さらに［標準設定］ダイアログで［高度な設定］をクリックすると、［印刷設定］ダイアログが表示されます。

参照

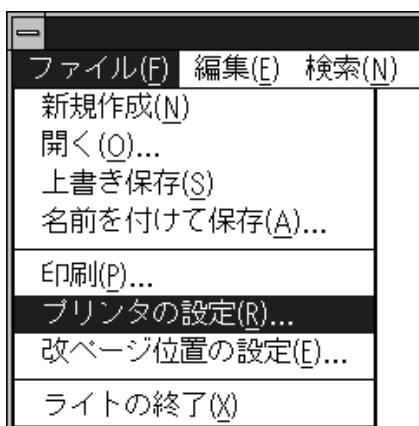
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターの設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindowsNTに付属の「ライト」を例に説明します。

補足

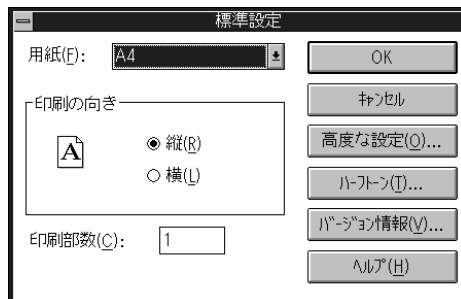
❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 ［ファイル］メニューの［プリンタの設定］をクリックします。

［プリンタの設定］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 本機が通常使うプリンターとして設定されていないときは、［プリンタ名］ボックスのドロップダウンメニューから選択します。

2 ［プロパティ］をクリックします。

［標準設定］ダイアログが表示されます。

補足

❒ ［高度な設定］をクリックすると、［印刷設定］ダイアログが表示されます。

❒ ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログで［プリンタの設定］をクリックする方法もあります。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

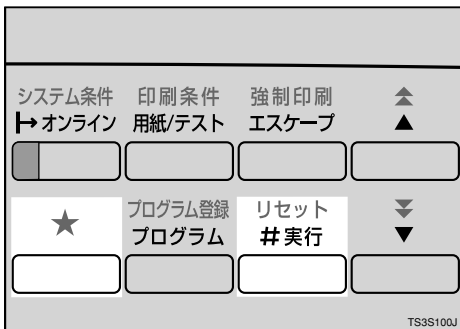
データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、システム条件の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

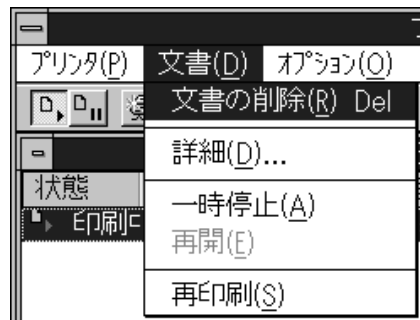
❶ ［メイン］グループの［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックします。

プリントマネージャが開きます。

❷ 印刷先のプリンターのアイコンをダブルクリックします。

印刷中と印刷待ち文書の一覧が表示されます。

❸ 印刷を中止する文書をクリックして反転表示させます。

❹ ［文書］メニューの［文書の削除］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

❒ ［プリンタ］メニューの［全文書の削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべての文書が削除されます。ただし、［全文書の削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。

❒ 手順❸で選択した文書の印刷が開始している場合は、プリントマネージャのウィンドウから文書名が消えるまで多少時間がかかります。

使用できる用紙

用紙の種類とサイズ

各トレイにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数は以下のとおりです。

補足

❒ 海外向けサイズの用紙は以下のとおりに表示されます。

本書の表記	パネルの表示	プリンタードライバーの表示
Letter($8^1/_2$×11)	LT	レター
5 $^1/_2$×8 $^1/_2$	HL	ハーフレター

❒ は縦方向に用紙をセットすることを表し、操作パネルではと表示されます。

❒ は横方向に用紙をセットすることを表し、操作パネルではと表示されます。

❖ 給紙トレイ（標準）にセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙サイズと方向	最大セット枚数
普通紙 再生紙 カラー紙	A4,B5	250枚

重要

❒ 用紙サイズを変更したときは、用紙ガイドの位置を変更し、操作パネルで用紙サイズの設定をする必要があります。⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」

❖ 500枚増設トレイユニット（オプション）にセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙サイズと方向	最大セット枚数
普通紙 再生紙 カラー紙	A4,B5,A5,Letter($8^1/_2$×11)	500枚

重要

❒ セットした用紙サイズと方向に用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。

補足

❒ 給紙トレイ（標準）、500枚増設トレイユニットにセットできる用紙の厚さは52〜78Kg紙（60〜90g/m^2）です。

❖ マルチトレイにセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙のサイズ	最大セット枚数
普通紙 再生紙 カラー紙	定型サイズ：A4,A5,A6,B5,B6,Letter($8\frac{1}{2}\times11$), $5\frac{1}{2}\times8\frac{1}{2}$ 不定形サイズ（フリー）:縦148～297mm、横100～216mmの範囲で設定できます。	100枚
OHPフィルム 第二原図用紙 ハクリ紙		1枚
官製はがき	はがき,A5（往復はがき）	40枚
封筒	封筒(洋形4号)	10枚

重要

- ❒ マルチトレイに用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙サイズの設定が必要です。⇒ P.94「マルチトレイに用紙をセットする」
- ❒ 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作パネルやプリンタードライバーで用紙サイズを入力する必要があります。⇒ P.96「不定形サイズの用紙をセットしたとき」

補足

- ❒ 装着しているメモリー容量によって印刷できる用紙サイズは異なります。⇒ P.154「メモリー容量と用紙サイズ」
- ❒ マルチトレイにセットできる用紙の厚さは52～140Kg紙（60～162g/m^2）です。

用紙を取り扱うときの注意

用紙を取り扱うときは以下の点に注意してください。

用紙をセットするとき

- 用紙はリコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙の種類とサイズはP.159「消耗品一覧」を参照してください。
- 給紙トレイ（標準）、500枚増設トレイユニットに用紙をセットするときは、トレイの上限表示を超えないようにしてください。
- マルチトレイに用紙をセットするときは、サイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- 用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

用紙を保管するとき

- 用紙は以下の点に注意して保管してください。
  - 湿気の多い所には置かない。
  - 直射日光の当たる所には置かない。
  - 立て掛けない。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

❖ 普通紙

- 78Kg紙（90g/m^2）以上の用紙に印刷するときはマルチトレイにセットしてください。マルチトレイには140Kg紙（162g/m^2）までセットできます。
- 目安として90Kg紙（105g/m^2）より厚い用紙をセットしたときは、操作パネルで「厚紙モード」に切り替えます。
- 用紙がそっていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 90Kg紙（105 g /m^2）より厚い用紙をセットする場合、用紙がそったり曲がったりしているときは、セットする方向に上向きのカールを3mm程度付けてください。

❖ OHPフィルム

- OHP フィルムはマルチトレイに 1 枚ずつセットしてください。
- OHPフィルムに印刷するときは、プリンタードライバーまたは操作パネルで「厚紙モード」に切り替えます。プリンタードライバーで設定する場合は、操作パネルでの設定は不要です。ただし、RPDL以外のプリンタードライバーを使用して印刷するときは、操作パネルで設定する必要があります。
  ⇒ P.97「厚紙、OHPフイルムをセットしたとき」
- 印刷面にできるだけ手を触れないようにしてください。印刷面が汚れたり傷がついたりすると印刷品質に影響が出ます。OHPフィルムを持つときは、できるだけ端を持ってください。
- 表裏のあるOHPフィルムに印刷するときは、印刷面を下にしてマルチトレイにセットします。
- OHP フィルムは、600dpiでの印刷を推奨します。

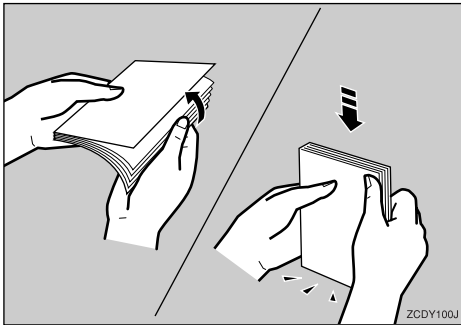
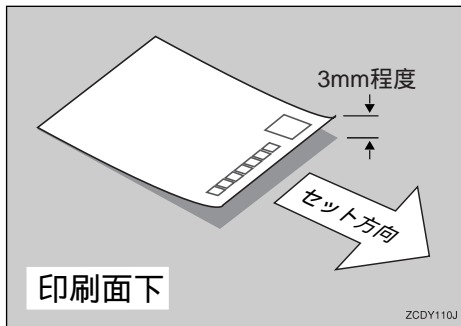
❖ 第二原図用紙

- 第二原図用紙はマルチトレイに 1 枚ずつセットしてください。

❖ ハクリ紙

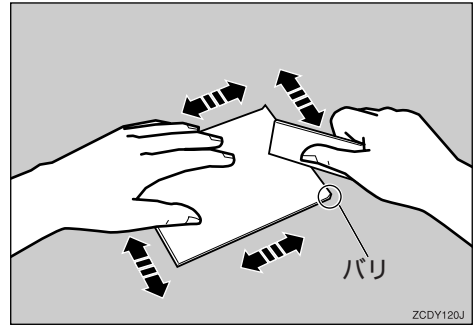
- ハクリ紙はマルチトレイに1枚ずつセットしてください。
- リコピーPPC用紙タイプSAは、縦方向にセットすることを推奨します。
- 用紙の全面が印刷できる物で、糊面がはみ出していない物を使用してください。
- ハクリ紙は、600dpiでの印刷を推奨します。

❖ 官製はがき

- 官製はがきは、さばいて端を揃えてから（図参照）、マルチトレイにセットしてください。一度に40枚までセットできます。

- はがきがそったり曲がったりしているときは、セットする方向に上向きのカールを3mm程度付けてください（図参照）。

重要

- ❒ 下方向に反りがあると、はがきの不送りの原因になります。

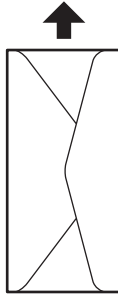
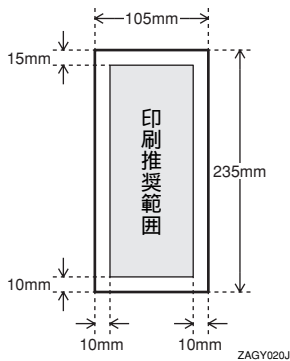
- はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、取り除いてからセットしてください。取り除く方法は以下のとおりです。

① はがきを平らなところに置き、定規などを水平に1～2回動かし、はがきの4辺のバリを取り除きます。

② バリを取り除いたときに出た紙粉を払います。

- 両面に印刷する場合、後で印刷した面の先端の10mm部分がぼやけたりすることがあります。先端に印刷部分があるほうの面を先に印刷してください。
- 両面に印刷する場合は、マルチトレイに1枚ずつセットしてください。
- 印刷する面を下にして、印刷開始方向から先に差し込みます。

- 往復はがきをセットしたときは、用紙サイズをA5に設定します。
- はがきは、600dpiでの印刷を推奨します。
- 印刷できるのは官製はがきだけです。印刷できないはがきは以下のとおりです。
  - 私製はがき
  - 絵はがきなどの厚いはがき
  - 年賀状やかもメールなど再生紙のはがき
  - 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき
  - インクジェットプリンター専用のはがき
  - 一度印刷したはがき
  - 表面加工されたはがき
  - 表面に凹凸のあるはがき

❖ 封筒

- 封筒はマルチトレイにセットしてください。一度に10枚までセットできます。
- 封筒は、ライフ(株)製のLIFE E506B(下記形状)を推奨します。推奨品以外の封筒では、正しく印刷されないことがあります。

- 封筒の表面(宛名の面)の以下の図の範囲(印刷推奨範囲)に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。特に先端のエッジ部分は、鉛筆などでしごいて膨らみをなくしてください。
- 封筒がそったり曲がったりしているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 印刷する面を下に、フラップ(ふた)を右側にして、マルチトレイにセットしてください。

- 印刷するときは、プリンタードライバーまたは操作パネルで、「厚紙モード」に切り替え、用紙サイズを指定してください。
  ⇒ P.97「厚紙、OHPフイルムをセットしたとき」
  ⇒ P.96「不定形サイズの用紙をセットしたとき」
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。
- 封筒は、600dpiでの印刷を推奨します。

使用できない用紙

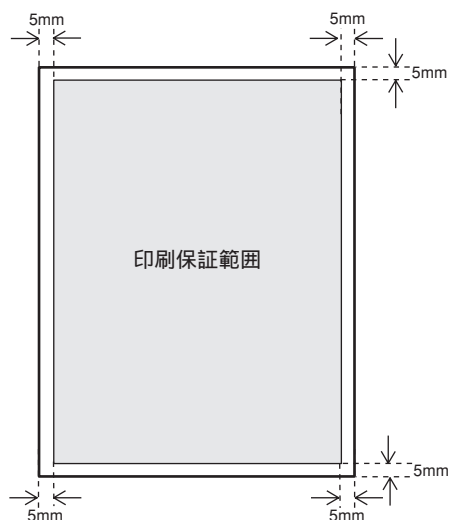
以下のような用紙は使用しないでください。

- インクジェット専用紙
- しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- カールのある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙
  特にレーザープリンター以外の機種(モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど)で印刷された物は、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙(指定用紙を除く)
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙(極端に厚い・薄い用紙)
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙

補足

❒ プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

印刷保証範囲

本機の印刷保証範囲は次の図のとおりです。

用紙をセットする

給紙トレイ（標準）に用紙をセットする

ここでは給紙トレイ（標準）に用紙をセットする方法を説明します。給紙トレイ（標準）にはA4またはB5をセットすることができます。本機ではこの他にマルチトレイや500枚増設トレイユニット（オプション）に用紙をセットすることができます。

⇒ P.94「マルチトレイに用紙をセットする」

⇒ P.98「500枚増設トレイに用紙をセットする」

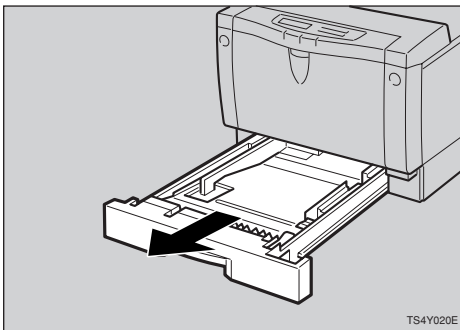
⚠注意

- 給紙トレイは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因になります。

参照

セットできる用紙についてはP.87「用紙の種類とサイズ」を参照してください。

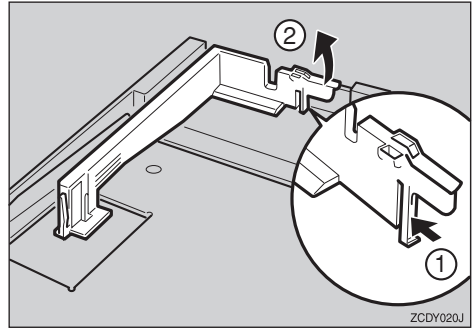
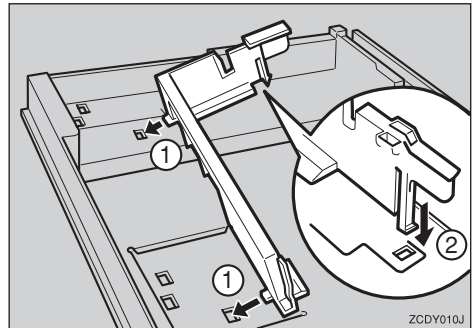
1 給紙トレイ（標準）を少し持ち上げてからゆっくり引き抜き、水平な所に置きます。

TS4Y020E

2 用紙ガイドを A4 または B5 の位置に固定します。

補足

❒ 以下の❶、❷は、A4の位置に固定されている用紙ガイドを外して B5 の位置に固定する方法です。

❶ 図の（①）の部分を押しながら、（②）の方向に引き上げて用紙ガイドをトレイから外します。

ZCDY020J

❷ 使用する用紙サイズ（図はB5サイズ）の位置に用紙ガイドを固定します。図の（①）の部分（２ヵ所）を矢印の方向に差し込み、（②）の方向にカチッと音がするまで押し込みます。

ZCDY010J

3 印刷する面を上にして用紙をセットします。

TS4Y030E

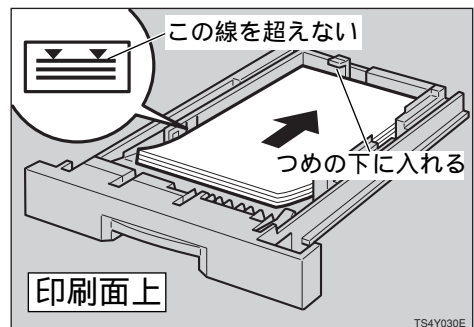
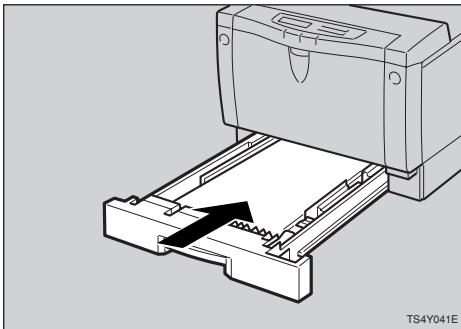
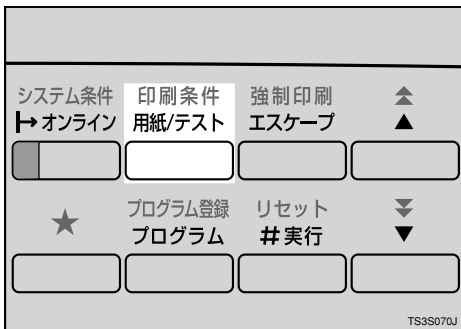
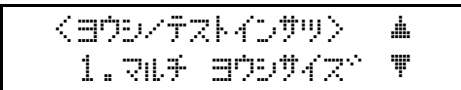
4 **給紙トレイ（標準）をゆっくり奥までセットします。**

TS4Y041E

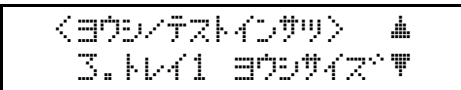
5 **【用紙/テスト】キーを押します。**

TS3S070J

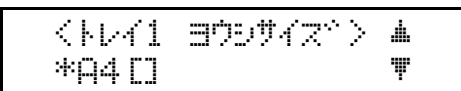
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 1.マルチ ヨウシサイズ゛ ▼
```

6 **【▲】【▼】キーを押して「トレイ1 用紙サイズ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 3.トレイ1 ヨウシサイズ゛▼
```

補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

トレイ1で使用する用紙の選択画面が表示されます。

```
<トレイ1 ヨウシサイズ゛> ▲
*A4 □                 ▼
```

7 **【▲】【▼】キーを押して、目的の用紙サイズを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<トレイ1 ヨウシサイズ゛> ▲
 B5 □                 ▼
```

【用紙/テスト】キーのメニュー画面に戻ります。

8 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL          トレイ1
              B5 □
```

設定した用紙サイズが表示されているか確認してください。

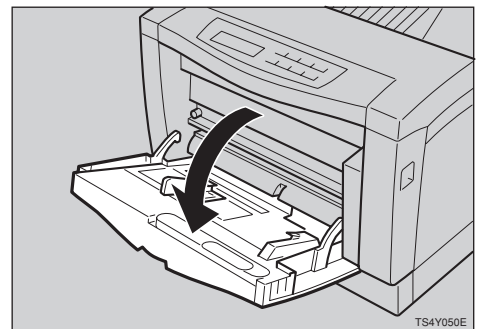
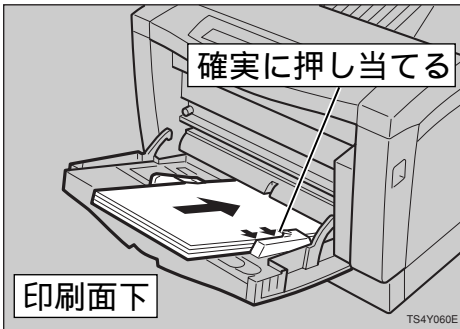
マルチトレイに用紙をセットする

マルチトレイには、普通紙以外に官製はがきや第二原図用紙など、給紙トレイにセットできない用紙をセットすることができます。

参照

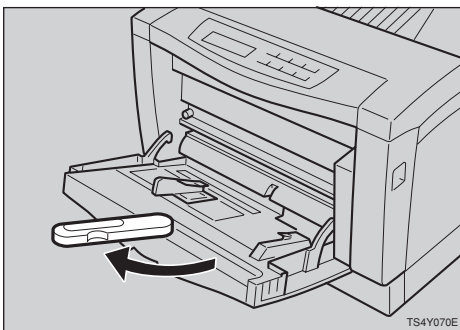
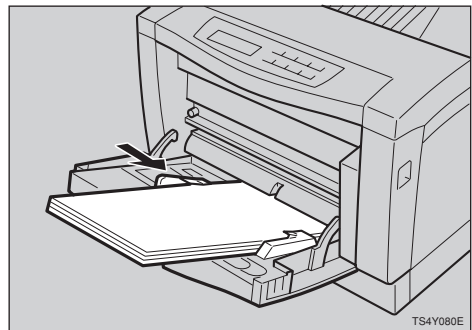
セットできる用紙についてはP.87「用紙の種類とサイズ」を参照してください。

1 **マルチトレイを開けます。**

TS4Y050E

2 **サイドガイドを広げ、印刷面を下にして用紙が突き当たるまで差し込みます。**

重要

- ❒ 用紙を右のサイドガイドに確実に押し当て、用紙とサイドガイドの間にすきまが開かないようにしてください。用紙が正しくセットされないと、用紙が斜めに送られる原因になります。

補足

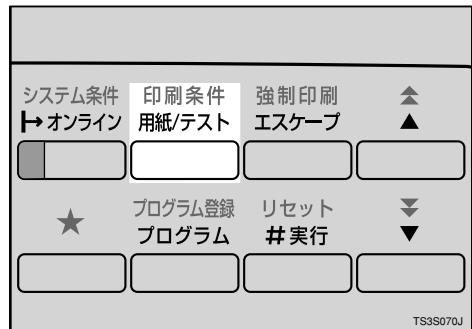
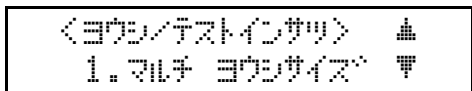
- ❒ A5 の用紙は縦方向 にセットすることをおすすめします。
- ❒ B5 より長い用紙をセットするときは、用紙支持板を延ばします。

3 **用紙とサイドガイドのすきまがなくなるように、左のサイドガイドを用紙に押し当てます。**

重要

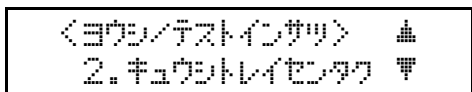
- ❒ セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。

4 **操作パネルのキーを使用して、「キュウシトレイ」をマルチトレイに切り替えます。**

❶ **【用紙/テスト】キーを押します。**

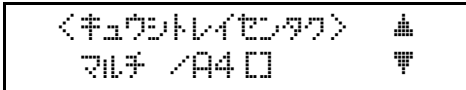
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

<ヨウシ/テストインサツ>
1.マルチ ヨウシサイズ

❷ **【▲】【▼】キーを押して「キュウシトレイセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
2.キュウシトレイセンタク

給紙トレイの選択画面が表示されます。

```
<ｷｭｳｼﾄﾚｲｾﾝﾀｸ>   ▲
*ﾄﾚｲ1/A4 □      ▼
```

❸ **【▲】【▼】キーを押して「マルチ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｷｭｳｼﾄﾚｲｾﾝﾀｸ>   ▲
 ﾏﾙﾁ /A4 □      ▼
```

給紙トレイはマルチトレイに設定されました。

5 操作パネルのキーを使用して、「カミサイズ」をセットした用紙サイズに設定します。

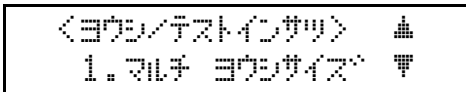
参照

不定形サイズの設定方法はP.96「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

❶ **【▲】【▼】キーを押して「マルチ ヨウシサイズ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>   ▲
 1.ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ  ▼
```

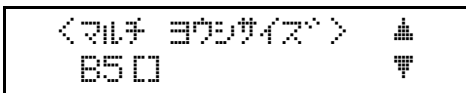
紙サイズの選択画面が表示されます。

```
<ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ>   ▲
*A4 □           ▼
```

❷ **【▲】【▼】キーを押して、セットした用紙サイズを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ>   ▲
 B5 □           ▼
```

❸ **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL          ﾏﾙﾁ
              B5 □
```

設定した給紙トレイ、用紙サイズが表示されているか確認してください。

参照

目安として90Kg紙（105g/m^2）より厚い用紙をセットしたときは、操作パネルで「厚紙モード」に切り替えます。

⇒ P.97「厚紙、OHPフイルムをセットしたとき」

6 パソコンから印刷の指示をします。

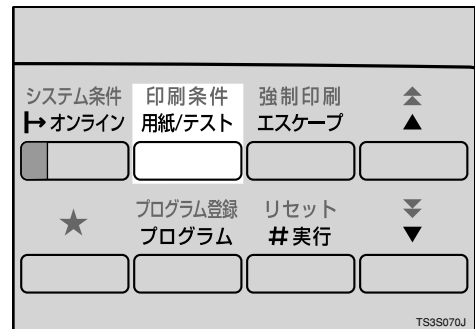
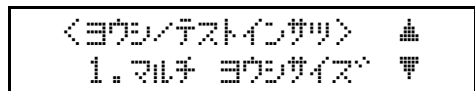
不定形サイズの用紙をセットしたとき

重要

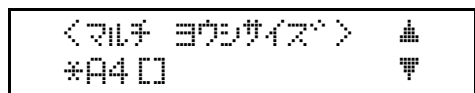
❒ 不定形サイズの設定は、操作パネルで行った設定よりもプリンタードライバーの設定が有効になります。

1 【用紙/テスト】キーを押します。

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>   ▲
 1.ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ  ▼
```

2 「マルチ ヨウシサイズ」が表示されていることを確認して、【実行】キーを押します。

紙サイズの選択画面が表示されます。

```
<ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ>   ▲
*A4 □           ▼
```

3 **【▲】【▼】キーを押して「フリー」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<マルチ ヨウシサイズ゛> ▲
フリー ▼

4 **【▲】【▼】キーを押して横のサイズを入力してから、【実行】キーを押します。**

<フリーサイズ゛> ヨコ
✤ 182mm 0290mm

補足

❒ 【★】キー押しながら【▲】【▼】キーを押すと、10mm単位で設定できます。

5 **【▲】【▼】キーを押して縦のサイズを入力します。**

<フリーサイズ゛> タテ
182mm ✤ 0257mm

重要

❒ セットした用紙サイズと操作パネルで入力したサイズが合っていることを確認してください。サイズが合っていないと、機械内部を汚す原因になります。

6 **【実行】キーを押します。**

サイズが設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
1.マルチ ヨウシサイズ゛ ▼

7 **【エスケープ】キーを押します。**

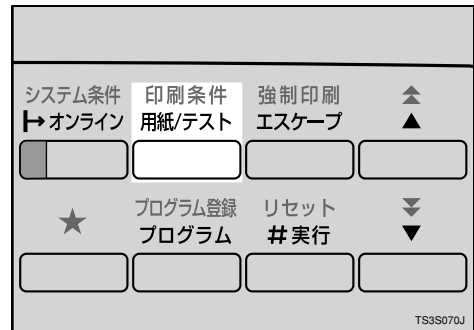
通常の画面が表示されます。

RPDL マルチ
フリー

「マルチ」と「フリー」が表示されていることを確認してください。

厚紙、OHPフイルムをセットしたとき

目安として90Kg紙（105g/m²）以上の用紙をマルチトレイにセットしたときは、厚紙モードに切り替えます。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
1.マルチ ヨウシサイズ゛ ▼

2 **【▲】【▼】キーを押して「アツガミモード」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
8.アツガ゛ミモート゛ ▼

補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

厚紙モードの設定画面が表示されます。

<アツガ゛ミモート゛> ▲
*ヒョウシ゛ュン ▼

3 **【▼】キーを１回押して「アツガミ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<アツガ゛ミモート゛> ▲
アツガ゛ミ ▼

【用紙/テスト】キーのメニューの画面に戻ります。

5

4 【エスケープ】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
RPDL        マルチ
            A4 □
```

重要

- ❒ 厚紙や OHP フィルムへの印刷が終了したら、必ず設定を「ヒョウジュン」に戻してください。

500枚増設トレイに用紙をセットする

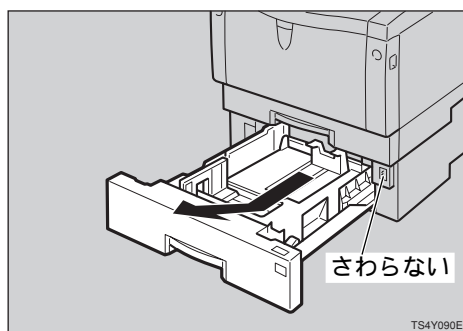
500枚増設トレイユニット（オプション）に用紙をセットします。

重要

- ❒ 500枚増設トレイユニットを取り付けているときは、用紙をセットした給紙トレイを2段同時に引き出さないでください。機械が前に傾くことがあります。
- ❒ 用紙サイズダイヤルを、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせに必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルが合っていないと、機械内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。

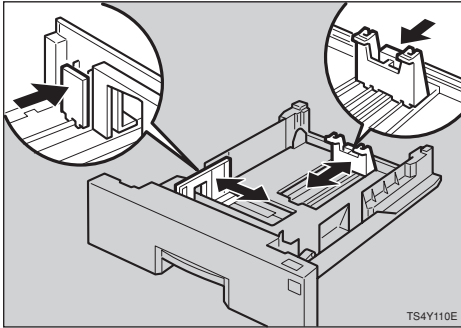
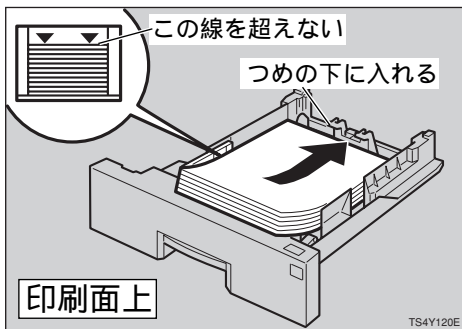
参照

セットできる用紙についてはP.87「用紙の種類とサイズ」を参照してください。

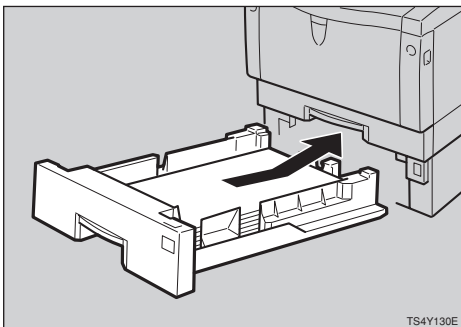
1 500枚増設トレイを少し持ち上げてからいったん止まるまでゆっくり引き出し、前面を持ち上げるようにしてそのまま引き抜きます。

2 セットする用紙サイズとセット方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせます。

重要

- ❒ セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルが合っていないと、機械内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。

3 用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせます。用紙ガイドは図の矢印部分をつまんだまま動かします。

4 印刷する面を上にして用紙をセットします。

5 前面を持ち上げるようにして 500 枚増設トレイを差し込み、ゆっくり奥までセットします。

重要

- ❒ トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

パネルに表示されるメッセージ

メッセージが表示されたとき

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

重要

❒ 以下のエラーメッセージ以外のエラーメッセージが表示された場合は、プリンターの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号をサービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

❖ エラーコードが表示されないメッセージ

メッセージ	原因	対処方法・参照先
ジュンビチュウ	ウォームアップ中で す。	そのまましばらくお待ちください。
ショウエネモード	省エネモードまたは予熱モードになっています。	そのままご使用になれます。
システム ジョウケン	ステータスシートを印刷中です。	そのまましばらくお待ちください。
インサツ ジョウケン	現在設定されているエミュレーションモードの印刷条件一覧を印刷中です。	そのまましばらくお待ちください。
ヘキサ ダンプ	印刷不良の原因を調べるためのデータを16進数で印刷中です。	印刷終了後に電源を切り、再度電源を入れてください。
ゼンモジインジ	本機で印刷できるすべてのフォントを印刷中です。	そのまましばらくお待ちください。
フォント セット	本機で印刷できるフォントの一覧を印刷中です。	そのまましばらくお待ちください。
エンジンメンテイチラン	エンジンメンテナンス一覧を印刷中です。	そのまましばらくお待ちください。
トナーノコリワズカ	トナーの残りが少なくなったか、トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。	メッセージが表示されてからも目安として約1,000ページ（A4 5%チャート連続印刷時）印刷できます。ただし、印刷がかすれはじめたときは新しいトナーカートリッジと交換してください。なお、購入時に同梱されているトナーカートリッジは約3,000ページ（A4 5%チャート連続印刷時）印刷できます。 また、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 ⇒P.118「トナーカートリッジを交換する」

メッセージ	原因	対処方法・参照先
メンテキット コウカン	メンテナンスキットの交換時期になりました。	メンテナンスキット（定着ユニット、給紙コロ、転写ローラー、フリクションパッド）を交換してください。メンテナンスキットは、お客様の保守形態に合わせて、お買い上げいただき交換していただくか、サービス実施店に連絡してください。
ヨウシサイズエラー	用紙サイズが正しくありません。	**【エスケープ】**キーを押すか、前カバーを開けてエラーを解除してから、用紙サイズダイヤルで正しい用紙サイズを選択してください。 ⇒ P.93「用紙をセットする」
ハンソウパスエラー	給紙トレイ（標準）が正しくセットされていません。	給紙トレイ（標準）をゆっくり奥まで、正しくセットしてください。
ヨウシガ アリマセン	用紙がありません。	用紙を補給してください。 ⇒ P.93「用紙をセットする」
トレイガ アリマセン	給紙トレイが正しくセットされていません。	給紙トレイを正しくセットしてください。
カバーオープン	前カバーが開いています。	前カバーを閉めてください。
テイチャクユニットナシ	定着ユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	定着ユニットを正しくセットしてください。 定着ユニットを取り付けるときは、定着ユニット固定レバーを下ろしてから取り付けます。 ⇒ P.120「定着ユニットを取り付ける」
カミヅマリ：トレイ	用紙が給紙トレイ付近につまりました。	用紙を取り除いてから、一度、前カバーを開け閉めしてください。 給紙コロを交換した直後に紙づまりが発生したときは、給紙コロが正しく取り付けられているか確認してください。 ⇒ P.114「つまった用紙を取り除く」
カミヅマリ：ナイブ	用紙がプリンター内部につまりました。	用紙を取り除いてください。 ⇒ P.114「つまった用紙を取り除く」
カミヅマリ：デグチ	用紙が排紙トレイ付近につまりました。	用紙を取り除いてください。 ⇒ P.114「つまった用紙を取り除く」
データキャンセルチュウ	データキャンセル要求に従ってデータの削除中です。	そのまましばらくお待ちください。

❖ エラーコードが表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
＊＊：コショウデス サービスマンニレンラクシテクダサイ	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源スイッチを入れてください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。エラーコード（左記の「＊＊」部分）も連絡してください。
84：ワークエラー	イメージ/フォームのワークまたはスタック領域がオーバーフローしました。	拡張メモリーを増設するか、送信データを減らしてください。
85：グラフィック	印刷条件の「グラフィックス」が「RPGL」になっています。	印刷条件の「グラフィックス」を「簡易グラフィックス」に設定してください。
86：パラメーター	制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87：メモリーオーバー	フリーサイズのためのメモリー領域がありません。	拡張メモリーを増設してください。
89：メモリースイッチ	印刷条件のパラメーターの設定が不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
91：メモリーオーバー	フォントを回転するためのメモリー領域が足りません。	拡張メモリーを増設するかフォントアサインで回転指定をしないでください。 またメモリーが壊れている可能性があります。サービス実施店に連絡してください。
92：メモリーオーバー	イメージ/オーバーレイのためのメモリー領域がありません。	拡張メモリーを増設するか、送信データを減らしてください。
93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	拡張メモリーを増設するか、送信データを減らしてください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：フォントエラー	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しくセットしてください。
96：セレクトエラー	存在しないフォントセットの選択要求がありました。	文字コードを正しくセットしてください。
96：モジセットエラー	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しくセットしてください。
97：アロケーション	フォントを登録する領域がありません。	拡張メモリーを増設してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	プリンターの受信バッファを多く設定してください。

メッセージ	原因	対処方法
A7：ドローエラー	イメージ描画中にワークエリアがオーバーフローしたために、描画することができません。	文字の大きさの指定をしてください。
A8：ライブラリー	ライブラリー描画中にエラーが発生しました。	プログラム中のパラメーターを設定し直してください。
B0:オプションRAM	SDRAMモジュールにエラーが発生しました。	SDRAMモジュールをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
B1：パラレル	パラレルインターフェースで異状が発生しました。	適切なインターフェースケーブルを使用してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
B3：メモリースイッチ	システム条件の内容が不適切です。	システム条件を正しく設定してください。
B5：DIMMエラー	拡張エミュレーションにエラーが発生しました。	拡張エミュレーションをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
B6：カクチョウセントロ	パラレルインターフェースボードにエラーが発生しました。	パラレルインターフェースボードをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
B7：イーサネットボードエラー	イーサネットボードにエラーが発生しました。	イーサネットボードをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
E1：ブスウ シテイ	印刷可能部数（999枚）を超えた印刷指示が出されました。	印刷部数の設定を確認し、指定し直してください。
E2：サイズ シテイ	存在しない用紙サイズへの切り替え指示が出されました。	用紙サイズの設定を確認し、指定し直してください。
E3：キュウシ シテイ	存在しない給紙トレイへの切り替え指示が出されました。	給紙トレイの設定を確認し、指定し直してください。
E4：オプションシテイ	存在しないオプションへの切り替え指示が出されました。	設定内容を確認し、指定し直してください。

補足

❒ エラーの内容は、ステータスシートや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。⇒ P.139 「ステータスシートを印刷する」

ネットワーク経由で確認できる情報

プリンターの状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

プリンターの状態

プリンターのステータスです。

次の方法で確認できます。詳しくはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。
- mshell：statusコマンドを使います。

ステータス	意味
Normal	正常です。
CoverOpen	カバーが開いています。
FuserSetError	定着ユニットが正しくセットされていません。
Mainteanance#1	メンテナンスキットを交換してください
Mainteanance#2	メンテナンスキットを交換してください。
Mainteanance#3	メンテナンスキットを交換してください
NoInputTray	給紙トレイが正しくセットされていません。
PaperEnd	用紙がありません。
PaperExitJam	用紙がつまっています(排紙部)。
PaperFeedJam	用紙がつまっています(給紙部)。
PaperPathError	用紙搬送部に問題があります。確認してください。
PaperSizeError	用紙サイズが正しくありません。
PaperTransJam	用紙がつまっています(本体内部)。
PowerSave	省エネモード待機中です。
ServicemanCall	異常が発生しています。プリンターを確認してください。
TonerNearEmpty	トナーが残り少なくなっています。
WarmUp	ウォームアップ中です。

プリンター情報

プリンターの給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

次の方法で確認できます。詳しくはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。
- mshell：infoコマンドを使います。

補足

- ❒ 現在選択されている項目には「*」が付いて表示されます。
- ❒ *1〜*3の項目の詳しい内容については別表を参照してください。

項目名	意味
プリンタシステム	プリンターのバージョン
ネットワークボード	ネットワークボードのバージョン
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名*1 用紙サイズ*2(給紙トレイの紙サイズ設定で指定したサイズが表示されます) 給紙トレイの状態*3
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名(Standardに固定) 排紙トレイの状態(Normalに固定)
Emulation No. Name Version	 エミュレーション番号 エミュレーション名 エミュレーションのバージョン
Program No. Name	 プログラム番号 プログラム名

❖ 別表

給紙トレイ名*1	意味(Name)
Tray X	給紙トレイ(Xは番号)
MultiTray	マルチトレイ

用紙サイズ*2	意味(Page Size)
A4R	A4縦
A5	A5横
A5R	A5縦
A6R	A6縦
B5R	B5縦
B6R	B6縦
HLR	5 1/2×8 1/2縦
LTR	Letter(8 1/2×11)縦
FR1	フリーサイズ(mm単位設定)
NCS	トレイ未セット
PCR	はがき縦
**	用紙サイズ不明

給紙トレイの状態*3	意味(Status)
Normal	通常状態
NoTray	トレイなし
PaperEnd	用紙なし

印刷がはじまらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷がはじまらないときは、以下のことを確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「❙ On」側にしてください。
オンラインランプが点灯していますか？	**【オンライン】**キーを押して、オンラインランプを点灯させてください。
アラームランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、ディスプレイのメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 ⇒ P.101 「メッセージが表示されたとき」
用紙はセットされていますか？	給紙トレイやマルチトレイに用紙をセットしてください。 ⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」 ⇒ P.94 「マルチトレイに用紙をセットする」
テスト印刷ができますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 ⇒ P.139 「ステータスシートを印刷する」
インターフェースケーブルがきちんと接続されていますか？	インターフェースケーブルがパソコン、プリンターにしっかりと接続されていることを確認します。コネクターに金具が付いているときは、金具を使用して固定します。
インターフェースケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するインターフェースケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なインターフェースケーブルを使用してください。断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。 ⇒ P.160 「関連商品一覧」
印刷実行後、データインランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点滅・点灯しないときは、プリンターにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は次ページの補足を参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。

それでも印刷がはじまらないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

補足

❒ データインランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。

❖ パソコンとケーブルで直接接続しているとき

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1またはLPT2に設定します。

- Windows95/98の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［詳細］タブをクリックします。
  ④ ［印刷先のポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- Windows2000の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［ポート］タブをクリックします。
  ④ ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- WindowsNT4.0の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［ポート］タブをクリックします。
  ④ ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- WindowsNT3.51の場合
  ① ［コントロールパネル］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。
  ③ ［印刷先］ボックスで正しいポートを選択します。

思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても思いどおりに印刷できないときは、以下のことを確認してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	印刷濃度を薄くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、操作パネルの **【用紙/テスト】** キーを押し、「ノウド チョウセイ」を選択します。 ⇒ P.123 「印刷濃度を調整する」
	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？ はがきに印刷する場合は特にカールしやすいので、カールを直してから印刷してください。
	印刷可能な範囲に対して印刷される文字や画像の量が極端に少ないデータを印刷し続けると、印刷面に汚れが出たり、給紙される方向に対して中央部分にスジ状の汚れが出ることがあります。印刷濃度を調整しても汚れが出るときは、ディスプレイに「トナーノコリワズカ」のメッセージが表示されていなくても、トナーカートリッジを交換してください。
用紙の裏面が汚れる	給紙トレイ（標準）にセットしている用紙サイズと、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズに合わせてください。 ⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」 マルチトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。 ⇒ P.94 「マルチトレイに用紙をセットする」 500枚増設トレイユニットにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.98 「500枚増設トレイに用紙をセットする」
	A4のデータをB5に印刷した場合など、印刷した用紙サイズよりも大きいサイズのデータを印刷すると、次に印刷した用紙の裏面が汚れることがあります。
厚紙やOHPフィルムに印刷すると画像にむらが出る	厚紙モードで「アツガミ」を選択してください。厚紙モードを設定するには、操作パネルの **【用紙/テスト】** キーを押し、「アツガミモード」を選択します。 ⇒ P.97 「厚紙、OHPフイルムをセットしたとき」
部分的にかすれる 全体がかすれる	印刷濃度を濃くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、操作パネルの **【用紙/テスト】** キーを押し、「ノウド チョウセイ」を選択します。 ⇒ P.123 「印刷濃度を調整する」
	プリンタードライバーの ［印字モード］で 「トナーセーブ」を選択していると、全体的に薄く印刷されます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ

6

状態	原因・対処方法・参照先
ハーフトーン部の画像が乱れる	特殊モードで「オン」を選択してください。特殊モードを設定するには、オンライン状態で操作パネルの**【実行】**キー、**【エスケープ】**キー、**【用紙/テスト】**キーを順に押し、「トクシュモード」を選択します。 **制限** ❒ 特殊モードを「オン」にすると、プリンタードライバーや操作パネルで設定した厚紙モードの設定は無効になります。
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、プリンター本体を室温に十分なじませてから印刷してください。
何も印刷されない	トナーカートリッジのトナーシールを引き抜いていますか？ トナーシールを抜かずに電源を入れると故障の原因になります。トナーカートリッジを交換するときは、必ずトナーシールを引き抜いてください。 ⇒ P.118 「トナーカートリッジを交換する」
何度も用紙がつまる	給紙トレイ（標準）にセットしている用紙サイズと、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズに合わせてください。 ⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」 マルチトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。 ⇒ P.94 「マルチトレイに用紙をセットする」 500枚増設トレイユニットにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.98 「500枚増設トレイに用紙をセットする」
	給紙トレイ（標準）の用紙ガイドがきちんとセットされているかどうか確認してください。 500枚増設トレイユニットの用紙ガイドの位置がずれていないか確認してください。
	給紙コロが汚れていると用紙がつまりやすくなります。給紙コロを清掃してみてください。 ⇒ P.122 「給紙コロを清掃する」
用紙が一度に何枚も送られる	フリクションパッドが汚れている可能性があります。フリクションパッドを清掃してみてください。 ⇒ P.121 「フリクションパッドを清掃する」
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、ディスプレイのエラーメッセージが消えない	紙づまりのメッセージが表示されたときは、前カバーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが消えません。つまった用紙を取り除いたあとは、前カバーの開け閉めを行ってください。 ⇒ P.114 「つまった用紙を取り除く」

状態	原因・対処方法・参照先
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	給紙トレイ（標準）にセットしている用紙サイズと、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズに合わせてください。 ⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」 マルチトレイにセットしている用紙サイズ、方向と、操作パネルの設定が合っていない可能性があります。操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。 ⇒ P.94 「マルチトレイに用紙をセットする」 500枚増設トレイユニットにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.98 「500枚増設トレイに用紙をセットする」
	Windowsからの印刷時は操作パネルで給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。 ⇒プリンタードライバーの ヘルプ
解像度を1200dpiに切り替えて印刷すると、用紙にしわなどが発生する	**【用紙/テスト】**キーを押し、「1200dpiセッテイ」で「ウエイトモード」に設定してください。 ただし、この設定にした場合、解像度を切り替えて印刷が開始されるまで数分程度かかることがあります。
画面どおりに印刷されない	変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なることがあります。
	TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える設定で印刷していませんか？ 画面と同じ文字で印刷するには、TrueTypeフォントをイメージで印刷する設定を選択してください。 ⇒プリンタードライバーの ヘルプ
	グラフィックスコマンドを使用する設定で印刷すると、表やグラフのレイアウトが変わることがあります。 ⇒プリンタードライバーの ヘルプ
	色付き文字をグレーで印刷するには、プリンタードライバーの設定画面の［印刷品質］タブ画面から表示される［設定/変更］画面で［文字を黒で印刷］のチェックを外してください。この機能はWindows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0で使用できます。 ⇒プリンタードライバーの ヘルプ
WindowsNT3.51で縦書き設定時に、一部の記号(「’」,「”」,「＜」,「＞」,「；」,「：」)が画面表示と異なって印刷される	プリンタードライバーで「TrueTypeフォントをイメージで印刷する」に設定してください。設定方法は以下のとおりです。 ① ［標準設定］ダイアログの［高度な設定］をクリックします。 ② ［印刷設定］ダイアログの［TrueTypeフォントの代替］グループの［TrueTypeフォントをイメージで印刷する］をクリックします。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
WindowsNT3.51で図形やグラフなどの下に書かれた数式、数値や文字が透けて印刷される。	

状態	原因・対処方法・参照先
Windows95/98で大容量データを印刷しようとするとWindows上で「用紙補給」のメッセージが表示され正しく印刷できない	双方向通信が働いている場合は、双方向通信を解除してください。プリンターのプロパティを表示して、［基本］タブに［プリンターの状態表示］ボタンが表示されていたら、双方向通信が働いています。⇒ P.48 「双方向通信が働く条件」 双方向通信の解除方法は以下のとおりです。 ① ［詳細］タブを開きます。 ② ［スプールの設定］をクリックします。 ③ ［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］をクリックし、［OK］をクリックします。 ④ ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。操作パネルの**【プログラム】**キーで正しいエミュレーションを選択してください。 ⇒ P.142 「DOSで印刷する」
縦と横が逆に印刷される	印刷条件の［印刷方向］の設定が合っていない可能性があります。正しく設定してください。 ⇒CD-ROM ヘルプファイル＜DOS編＞
R98モードで印刷したとき、正しい位置に印刷されない。	印刷条件の［印刷位置］の設定が、ソフトウェアの設定と合っていない可能性があります。正しく設定してください。 ⇒CD-ROM ヘルプファイル＜DOS編＞
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。
	「省エネモード」が設定されている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。省エネモードを解除するには、システム条件の「省エネモード」を 「なし」に変更してください。また、「省エネモード」を「予熱モード」にすると、印刷待機時の消費電力を抑えたまま、「省エネモード」と比べて印刷が始まるまでの時間を短くすることができます。 ⇒ P.131 「システム条件を設定する」
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していませんか？アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
解像度を1200dpiに切り替えても、1200dpiで印刷されない	1200dpiでの印刷はデータ量が多くなり、本機のメモリー容量によっては1200dpiで印刷できないことがあります。拡張メモリーを増設してください。 ⇒ P.154 「メモリー容量と用紙サイズ」

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

つまった用紙を取り除く

プリンターに用紙がつまったときは、ディスプレイにエラーメッセージと、つまっている場所が表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

❒ 何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。

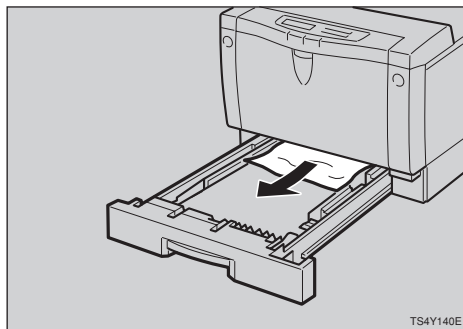
- 給紙トレイ（標準）にA4▯またはB5▯以外の用紙をセットしている。
- 給紙トレイ（標準）にセットした用紙サイズと、操作パネルの用紙サイズの設定が合っていない。
⇒ P.93「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」
- マルチトレイにセットした用紙のサイズ、方向と、操作パネルの用紙サイズ、方向の設定が合っていない。
⇒ P.94「マルチトレイに用紙をセットする」
- 500 枚増設トレイユニットの用紙サイズダイヤルの設定と、セットした用紙のサイズ、方向が合っていない。
⇒ P.98 「500枚増設トレイに用紙をセットする」
- フリクションパッドや給紙コロが汚れている。
⇒ P.121 「フリクションパッドを清掃する」
⇒ P.122 「給紙コロを清掃する」
- トナーカートリッジが正しくセットされていない。

❒ 上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

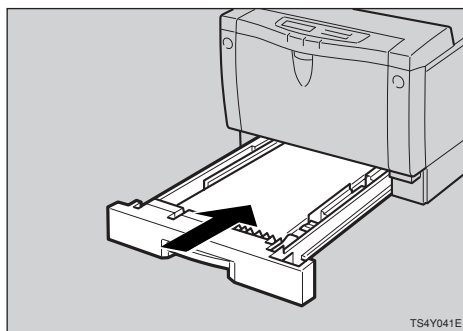
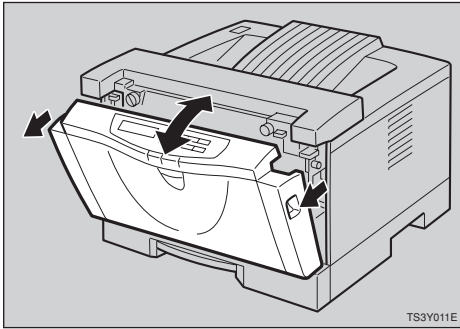
「カミヅマリ：トレイ」の場合

⚠注意

- 給紙トレイは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因になります。

1 給紙トレイを少し持ち上げてからゆっくり引き出し、つまった用紙を取り除きます。

2 給紙トレイをゆっくり奥までセットします。

3 前カバーを一度開けて、閉めます。

TS3Y011E

重要

❒ マルチトレイから印刷しているときに「カミヅマリ:トレイ」が表示されたときは、マルチトレイにセットしてある用紙を一度取り除き、マルチトレイを閉めてから前カバーを開けてください。

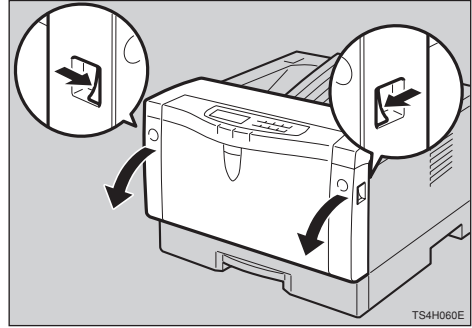
補足

❒ 前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。

❒ 500　枚増設トレイユニットに用紙がつまったときも同様に取り除きます。

「カミヅマリ：ナイブ」の場合

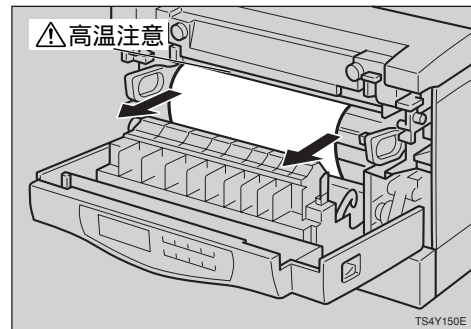
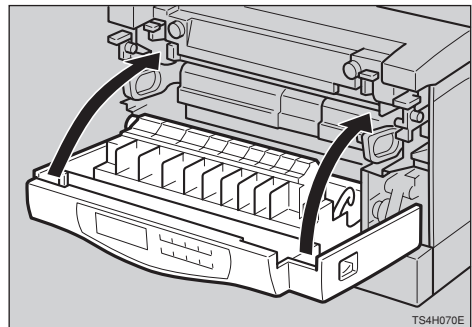
1 両側面の前カバーオープンレバーを引いて前カバーを開けます。

TS4H060E

2 トナーが手に付着しないように、用紙の両端を持って内部からつまった用紙を取り除きます。

TS4Y150E

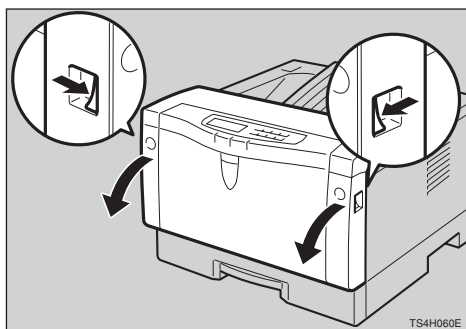
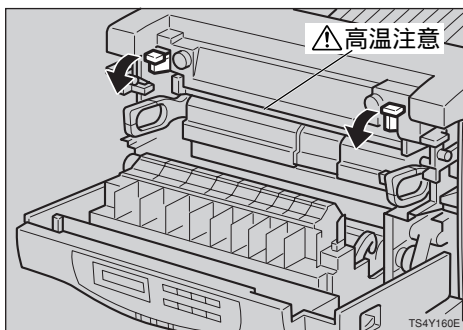
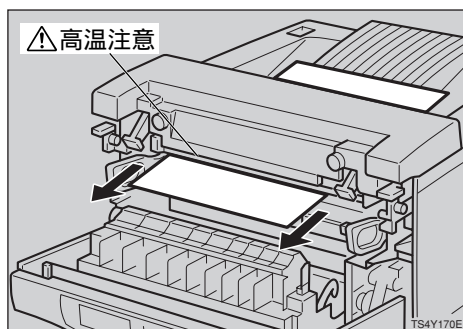
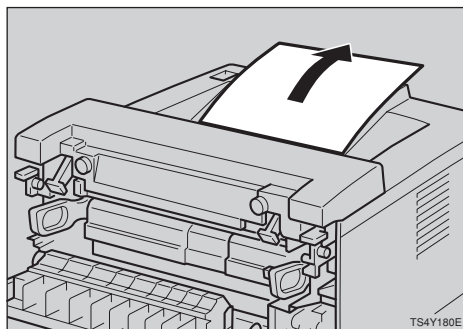
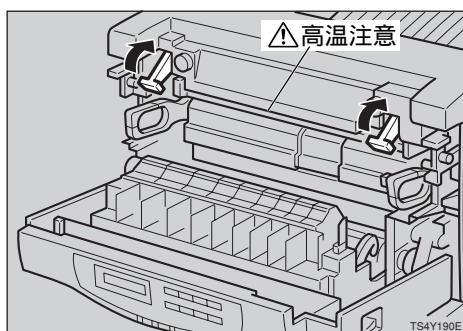
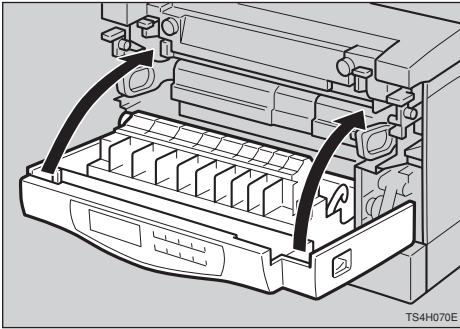
3 前カバーを閉めます。

TS4H070E

6

「カミヅマリ：デグチ」の場合

重要

- ❒ 必ず圧解除レバーを下ろしてから用紙を取り除いてください。圧解除レバーを下ろさないと用紙は取り除けません。
- ❒ 前カバーを開けて内部に用紙が見えるときは、内部から用紙を取り除いてください。排紙トレイ側から取り除くと、機械内部を汚す原因になります。

1 両側面の前カバーオープンレバーを引いて前カバーを開けます。

2 左右の圧解除レバーⒶ（水色）を下ろします。

3 内部に用紙が見えるときは、トナーが手に付着しないように、両端を持って内部から用紙を取り除きます。

4 内部に用紙が見えないときは、排紙トレイ側から用紙を取り除きます。

5 左右の圧解除レバーⒶ（水色）を上げます。

6 前カバーを閉めます。

補足

- ❒ 前カバーが閉まらないときは、圧解除レバーⒶ（水色）が上がっているか確認してください。

トナーカートリッジを交換する

⚠警告

- トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器や感光体ユニットを火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周囲には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠注意

- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

重要

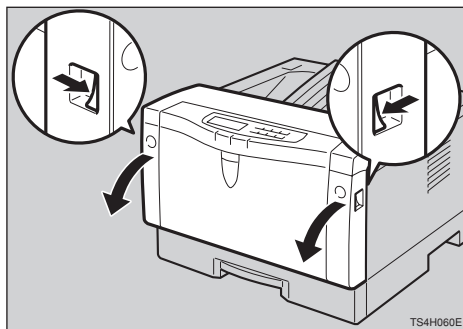
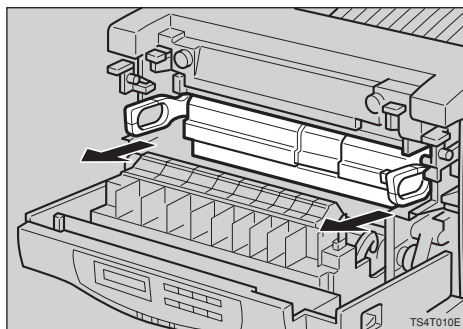
❒ 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。トナーカートリッジは、長時間光に当てると性能が低下します。トナーカートリッジの交換は速やかに行ってください。

補足

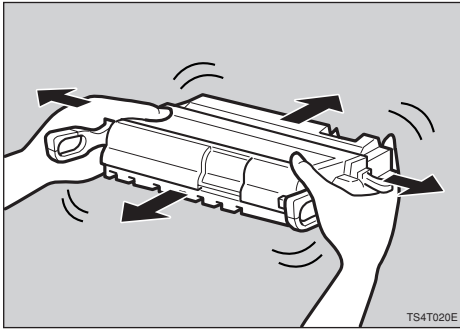
❒ トナーカートリッジを斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

❒ トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、目安としてタイプ70Aが約3,000ページ、タイプ70Bが約7,500ページです。この印刷可能ページ数はA4▯5%チャート連続印刷をした場合の目安で、実際の印刷ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

❒ トナーカートリッジ(消耗品)は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

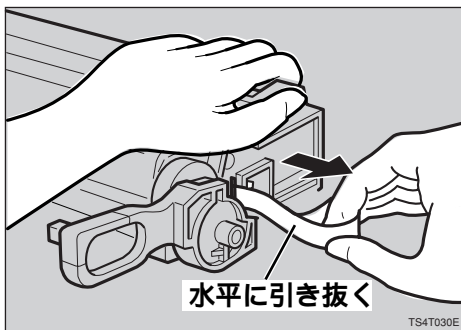
1 両側面の前カバーオープンレバーを引いて前カバーを開けます。

2 両端の取っ手を持ち、トナーカートリッジを取り出します。

3 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

4 前後左右に7〜8回程度振ります。

TS4T020E

補足

- ❒ トナーカートリッジ内でトナーが均一でないと、印刷品質が低下することがあります。

5 トナーカートリッジを水平な場所に置き、片手を添えながらトナーシールを水平に引き抜きます。

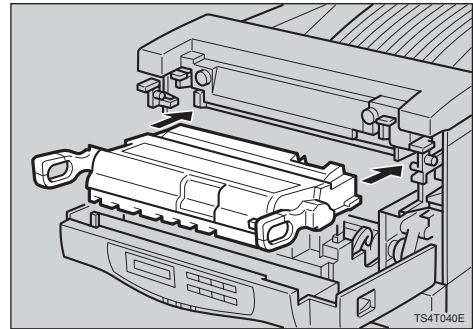
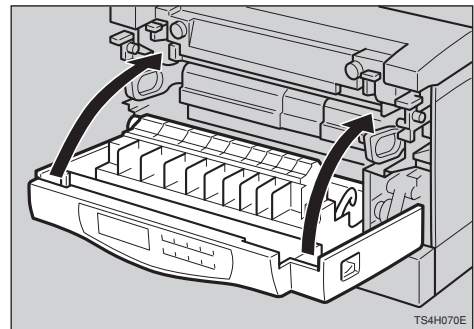
TS4T030E

重要

- ❒ トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを引き抜いてから使用してください。
- ❒ トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くと、トナーがこぼれやすくなる原因になります。
- ❒ 手や衣服を汚さないように注意してください。
- ❒ トナーシールを引き抜いたあとは、トナーがこぼれやすくなっています。トナーカートリッジを振ったり衝撃を与えないようにしてください。

6 両端の取っ手を持ち、トナーカートリッジを内部に押し込みます。

TS4T040E

7 前カバーを閉めます。

TS4H070E

重要

- ❒ トナーカートリッジが奥まで正しくセットされていないと、前カバーが閉まりません。そのときはトナーカートリッジを一度取り出し、セットし直してください。
- ❒ 新しいトナーカートリッジをセットした直後は、はじめに何枚か薄く印刷される場合があります。そのまま使用し続けても薄く印刷される場合はP.110 「思いどおりに印刷できないとき」を参照してください。

ご使用後のトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

6

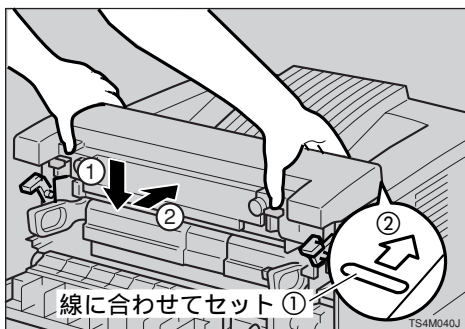
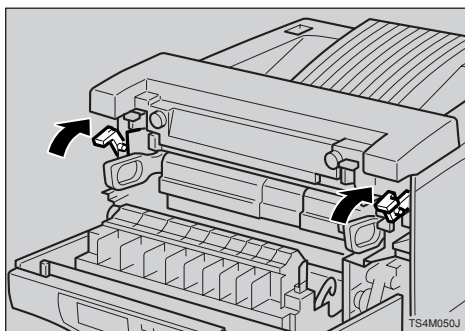
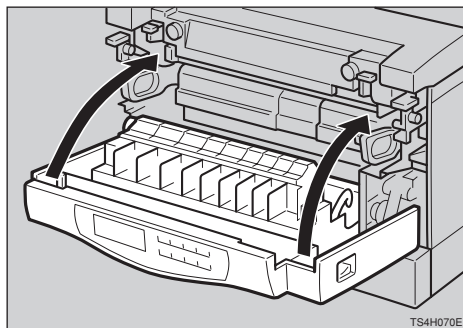
定着ユニットを取り付ける

定着ユニットは、ディスプレイに「メンテキットコウカン」というメッセージが表示されたときに交換します。交換時以外は定着ユニットを取り外さないでください。定着ユニットが外れたときの取り付け方法は以下のとおりです。

⚠注意

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから約30分待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

1 本機の電源を切ります。

2 定着ユニットを本体の線に合わせてセットし（①）、矢印方向にスライドさせます（②）。

3 左右の定着ユニット固定レバーを上げて、定着ユニットを固定します。

4 前カバーを閉めます。

5 本機の電源を入れます。

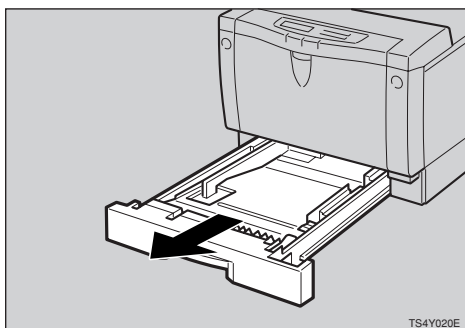
清掃・調整

フリクションパッドを清掃する

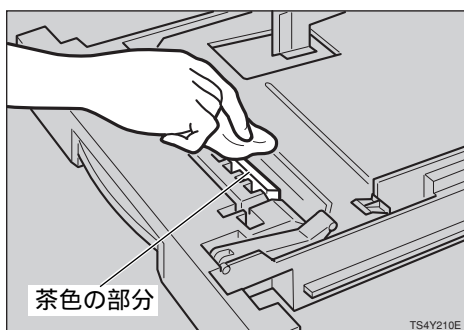
標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

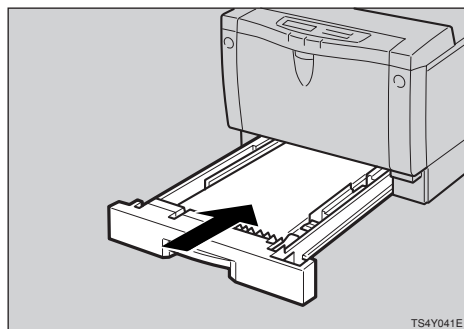
⚠注意

- 給紙トレイは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因になります。

1 **給紙トレイ（標準）を少し持ち上げてから引き抜き、水平な所に置きます。**

2 **用紙が入っているときは取り出します。**

3 **水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッド（茶色の部分）を拭きます。**

重要

- ❒ アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

4 **用紙をセットしてから、給紙トレイ（標準）を差し込み、ゆっくり奥までセットします。**

補足

- ❒ フリクションパッドを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。
- ❒ オプションの500枚増設トレイユニットを取り付けているときは、本体のフリクションパッドと同じように500枚増設トレイユニットのフリクションパッドも清掃してください。

給紙コロを清掃する

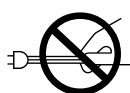
標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙コロが汚れると、用紙が送られなかったり、つまったりする原因になります。その場合、給紙コロを清掃します。

⚠注意

- 機械は約12kgあります。機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

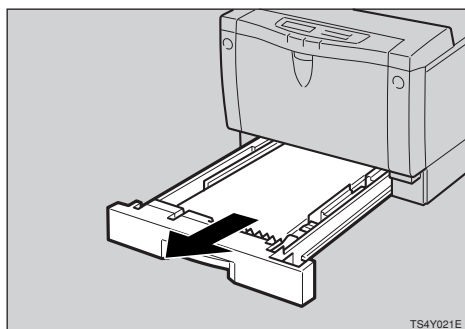
⚠注意

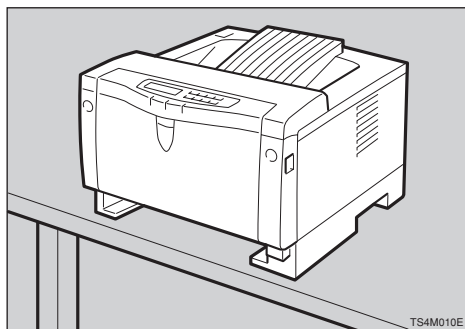
- 給紙トレイは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因になります。

1 本機の電源を切ります。

2 電源プラグをコンセントから抜き、インターフェースケーブルを本機から取り外します。

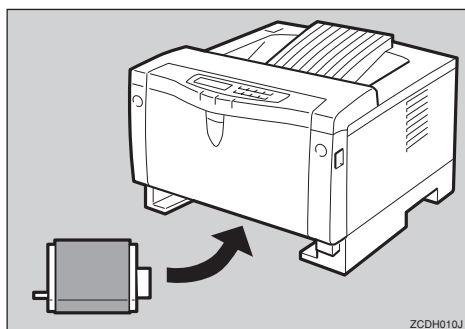
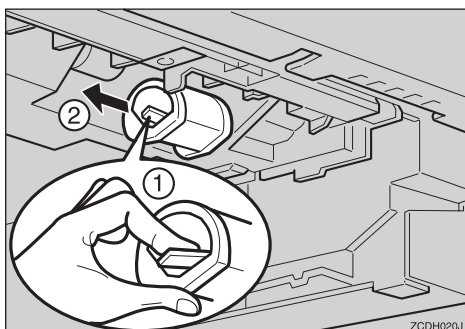
3 給紙トレイ（標準）を少し持ち上げてからゆっくり引き出し、本体から引き抜きます。

TS4Y021E

4 プリンター本体を、机の端に移動させます。

TS4M010E

重要

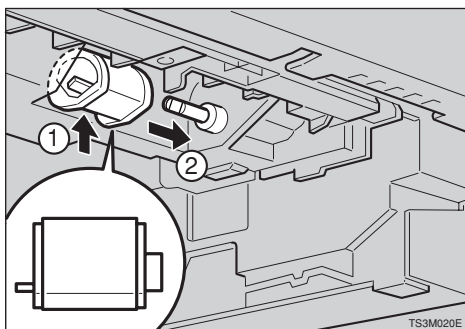
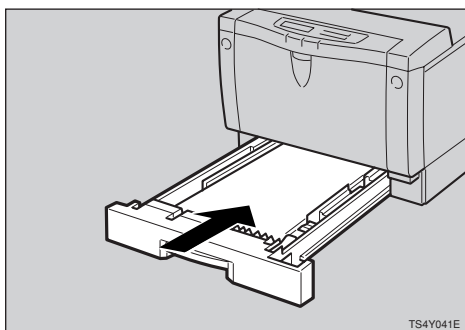
- ❒ ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
- ❒ 500 枚増設トレイユニットを取り付けているときは、プリンター本体と増設トレイユニットは固定されていないので別々に移動させてください。また、プリンター本体を持ち上げるとき、500 枚増設トレイユニットから確実に離れていることを確認してください。

給紙コロは、給紙トレイ（標準）を引き抜いた、本体内側に取り付けられています。

ZCDH010J

5 **給紙コロの左側から出ているストッパーを指で押し下げ（①）、そのまま給紙コロを左側に引き抜きます（②）。**

6 **水でぬらし固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。**

重要

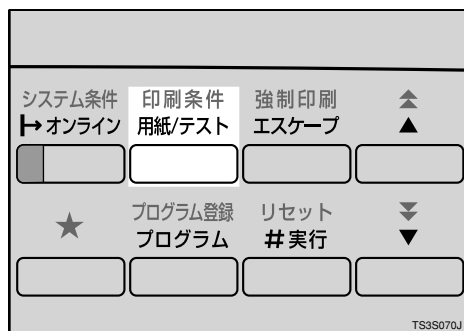
- ❒ アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

7 **給紙コロの丸い方を上にしてシャフトに差し込み（①）、カチッと音がするまで右側にスライドさせます（②）。**

8 **本体を設置場所に戻し、給紙トレイ（標準）をゆっくり奥までセットします。**

9 **電源プラグをコンセントに差し込み、インターフェースケーブルを接続します。**

10 **本機の電源を入れます。**

印刷濃度を調整する

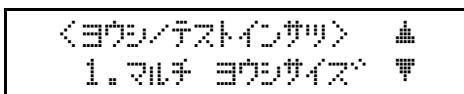
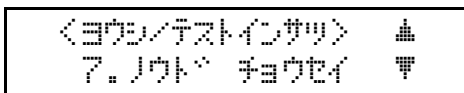
印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

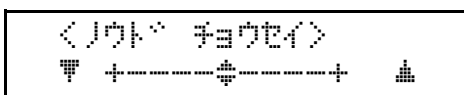
1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

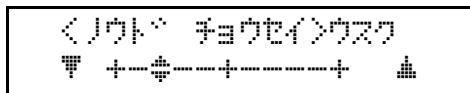
<ヨウシ/テストインサツ>
1.マルチ ヨウシサイズ

2 **【▲】【▼】キーを押して「ノウドチョウセイ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
7.ノウド チョウセイ

補足

- ❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

印刷濃度の調整画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押して印刷濃度を調整します。**

```
<ノウド゛ チョウセイ>ウスク
▼ +−◆−−+−−−−−+  ▲
```

【▲】【▼】キーを押すと、◆の位置が移動します。中央の＋印より左側に設定すると薄くなり、右側に設定すると濃くなります。

4 **【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 7.ノウド゛ チョウセイ   ▼
```

5 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

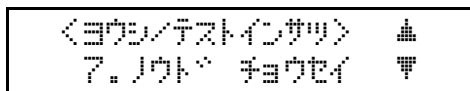
```
RPDL          トレイ1
              A4□
```


レジスト調整をする

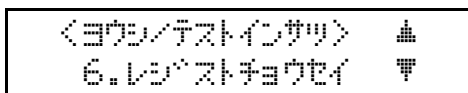
トレイごとの印刷位置をあわせることをレジスト調整といいます。縦方向は各トレイ共通です。横方向は各トレイごとに設定できます。ここではトレイ 1 の横レジストを調整する例で説明します。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

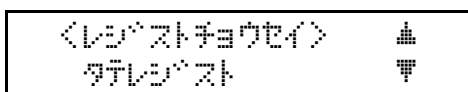
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

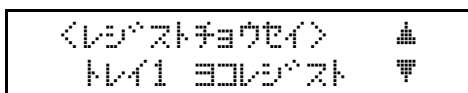
```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 1.マルチ ヨウシサイズ゛  ▼
```

2 **【▲】【▼】キーを押して「レジストチョウセイ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

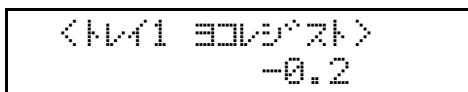
```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 6.レジ゛ストチョウセイ   ▼
```

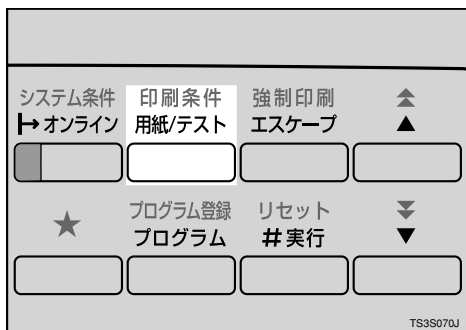
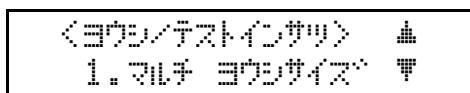
補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

レジスト調整の設定画面が表示されます。

```
<レジ゛ストチョウセイ>    ▲
 タテレジ゛スト          ▼
```

3 **【▲】【▼】キーを押して、調整したいトレイと方向の組み合わせを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<レジ゛ストチョウセイ>    ▲
 トレイ1 ヨコレジ゛スト   ▼
```

4 **【▲】【▼】キーを押して、数値（単位mm）を現在の設定から変更します。**

```
<トレイ1 ヨコレジ゛スト>
           −0.2
```

補足

❒ 数値を大きくすると、印刷範囲を下図の「＋」方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を下図の「−」方向にずらして印刷します。

❒ 【★】キーを押しながら【▲】【▼】キーを押すと、1.0mm単位で設定できます。

5 **【実行】キーを押します。**

```
<レジストチョウセイ>    ▲
 トレイ1 ヨコレジスト   ▼
```

6 **【エスケープ】キーを押します。**

次の画面が表示されたあと、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面が表示されます。

```
アタラシイ アタイヲ
セッテイチュウ
```

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 6.レジストチョウセイ   ▼
```

7 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL            トレイ1
                A4▯
```

Q&A

プリンタードライバーについて

❖ CD-ROMドライブがないのでドライバーをインストールできないのですが？

リコープリンタドライバFD送付サービス（無償）をご利用ください。
なお､当サービスはプリンタドライバのみのご提供で､プリンタに標準添付されているソフトウェア類（ユーティリティ、フォントなど）は一部対象外となっております。

① ファクスの受話器を取り、リコー FAX情報BOX(03–5411–3711)へダイヤルします。

② 注文取り出しBOX番号｢350000｣と､【#】を押します。あとは音声メッセージに従ってください。
操作終了後、「プリンタドライバ申し込み用紙」と「ドライバ一覧」がファックスされます。

③ ｢プリンタドライバ申し込み用紙｣に必要事項をご記入の上ファックスします。ファックス番号は「プリンタドライバ申し込み用紙」に記載されています。
申し込み後１週間程でFDが郵送されます。

❖ 最新のプリンタードライバーが欲しいのですが？

最新のプリンタードライバーはインターネットのリコーホームページ、パソコン通信 @nifty のリコーステーションからダウンロードすることができます。
インターネット/リコーホームページ
http：//www.ricoh.co.jp/
@nifty/リコーファンフォーラム
＞GO FRICOH⏎

❖ インストールしたプリンタードライバーを削除したいのですが？

各OS バージョンのプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

オプションについて

❖ オプションを取り付けたので、正しく取り付けられているか確認したいのですが？

オプションが正しく取り付けられたかどうかは、それぞれ以下の参照先に示した方法で確認してください。
SDRAMモジュール⇒ P.18 「SDRAMモジュールを取り付ける」
拡張エミュレーション⇒ P.19 「拡張エミュレーションを取り付ける」
拡張ボード⇒ P.20 「拡張ボードを取り付ける」

❖ 増設可能なメモリー容量を教えてください。

メモリーは標準で 16M バイト装備されています。32M バイトの SDRAM モジュールを増設すると48Mバイトに、64MバイトのSDRAMモジュールを増設すると最大80Mバイトまで拡張できます。
⇒ P.160 「関連商品一覧」

❖ メモリーを増設するとどんなメリットがあるのですか？

大きなサイズの用紙に、複数枚を高速に印刷できるようになります。ただし、1200dpiで印刷する場合、印刷できる最大サイズが、縦は297mm、横は216mmまでになります。
⇒ P.154 「メモリー容量と用紙サイズ」

❖ **ネットワークプリンターとして使用するときに、Windows95/98 から印刷したいのですが？**

サーバーがある場合は、サーバーを経由して印刷できます。ない場合はMulti Direct Printまたは PortNaviを使用すれば印刷できます。

⇒ P.53 「ネットワーク関連ソフトウェア」

接続について

❖ **インターフェースケーブルは何を使えばいいでしょうか？**

ご使用のパソコンや目的に合わせて、適合するインターフェースケーブルを使用してください。

⇒ P.160 「関連商品一覧」

❖ **ネットワークにつながなくても、2台のパソコンで共有して使えますか？**

オプションのパラレルインターフェースボードを取り付けることによって、2台のパソコンを直接本機に接続することが可能です。

❖ **Windows95/98、Windows2000、WindowsNT4.0 で、接続したオプション装置がプリンタードライバーで指定できないのですが？**

プリンターとパソコンが双方向通信していない場合、接続したオプション装置を自動的に認識できません。

- Windows95/98
  プリンターのプロパティ画面の［基本］タブで［オプション構成］ボタンをクリックしたときに、［オプション構成］ダイアログが表示されるときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、プリンターのプロパティ画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。
- Windows2000
  プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されているときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、プリンターの［印刷設定］画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。
- WindowsNT4.0
  プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されているときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、プリンターの［ドキュメントの既定値］画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。

参照

双方向通信の詳細についてはP.48 「双方向通信が働く条件」を参照してください。

用紙・トレイについて

❖ 給紙トレイ、マルチトレイには、同時に何枚まで用紙をセットできますか？

普通紙の場合、給紙トレイ（標準）に250枚、マルチトレイに100枚セットできるので、合計350枚セットできます。オプションの500枚増設トレイユニットを取り付けると、最大850枚までセットできます。

❖ ２種類以上の違うサイズの用紙を同時にセットしておきたいのですが？

給紙トレイ（標準）とマルチトレイに違うサイズの用紙をセットしておくことができます。また500枚増設トレイユニット(オプション)を取り付けることによって、同時に3種類の用紙をセットしておくこともできます。

❖ 印刷保証範囲を教えてください。

印刷保証範囲は用紙の各端より5mm内側の範囲です。

❖ マルチトレイに用紙をセットして印刷したいのですが？

マルチトレイに用紙をセットする方法は、P.94「マルチトレイに用紙をセットする」を参照してください。

エミュレーションについて

❖ プリンターが起動したときに、常に同じエミュレーションで立ち上がるように設定したいのですが？

システム条件の「起動プログラム」を設定することによって可能です。詳しくはP.131「システム条件を設定する」を参照してください。

❖ PC-PR201H系プリンターとして使いたいのですが？

エミュレーションを「R98」に切り替えます。詳しくはP.142「DOSで印刷する」を参照してください。

❖ ESC/Pモードで印刷したいのですが？

エミュレーションを「R16」に切り替えます。詳しくはP.142「DOSで印刷する」を参照してください。

印刷の取り消し・中止について

❖ 印刷が始まった文書を取り消したいのですが？

【★】キーを押しながら**【リセット】**キーを押すことで、印刷中の文書でも中止することができます。

❖ Windowsで、同じ文書を間違って何度も印刷指示してしまいました。取り消すことはできますか？

以下の手順で取り消してください。Windows側での操作については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

① **【オンライン】**キーを押して、オフライン状態に切り替えます。

② Windowsのプリンターウィンドウを開き、プリントジョブがあれば印刷を中止します。

③ **【★】**キーを押しながら**【リセット】**キーを押します。

その他

❖ 不定形サイズの用紙に印刷したいのですが？

縦148〜297mm×横100〜216mmの用紙に印刷できます。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ １枚の用紙に複数のページをまとめて印刷したいのですが？

2ページや4ページの原稿を1枚の用紙にまとめて印刷できます。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ 拡大や縮小して印刷したいのですが？

用紙にあわせて拡大・縮小したり、1%きざみに変倍率を設定することができます。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ 操作パネルのキーを続けて押すと、ディスプレイの表示が変わらないのですが？

キーを押してからディスプレイの表示が変わるまで若干の時間がかかります。ディスプレイのメッセージが変わるのを確認してから次のキーを押してください。

❖ 今までに何枚印刷したか知りたいのですが？

「ステータスシート」を印刷して「トータルカウンター」の欄を確認してください。「ステータスシート」の印刷方法はP.139 「ステータスシートを印刷する」を参照してください。

❖ 解像度の設定に400dpiと600dpi、1200dpiがありますが、どのように使い分ければいいでしょうか？

1200dpiに設定すると、600dpiや400dpiと比べて印刷品質が高くなりますが、印刷スピードが遅くなります。また、1200dpiではより多くのメモリー容量を必要とします。メモリーの容量により、印刷できるサイズに制限があります。用紙サイズによっては600dpiで印刷されることがあります。

400dpiに設定すると、1200dpiや600dpiと比べて印刷品質が低くなりますが、印刷スピードが速くなります。

SDRAMモジュール(オプション)を取り付けることにより、1200dpiや600dpiで高速に複数枚の原稿を印刷できるようになります。

⇒ P.154 「メモリー容量と用紙サイズ」

❖ DOSで使用時、フォントを変えて印刷したいのですが？

印刷条件の「ANKフォント」「漢字フォント」の設定を変更します。

⇒CD-ROM ヘルプファイル＜DOS編＞

システム条件を設定する

システム条件は、プリンターを使用する上での基本的な動作にかかわる設定です。通常は工場出荷時の設定のままでご使用いただけます。変更したシステム条件の設定は、プリンターの電源を切っても保存されます。

このあと、システム条件の設定について次の順番に説明します。

❖ **システム条件の設定方法**
システム条件を設定する手順を説明します。システム条件で設定できる項目と設定値については、システム条件一覧表を参照してください。

❖ **システム条件の保護設定**
誤ってシステム条件を変更しないために、システム条件に保護設定を行う方法を説明します。

❖ **システム条件一覧表**
設定できるシステム条件を一覧表で示します。

❖ **システム条件の設定項目**
システム条件のそれぞれの項目について説明します。一覧表の設定項目で内容がわからなかったときに参照してください。

システム条件と印刷条件の関係

Windowsで印刷する場合、印刷条件はプリンタードライバーで設定するため、プリンター側で設定する必要がありません。

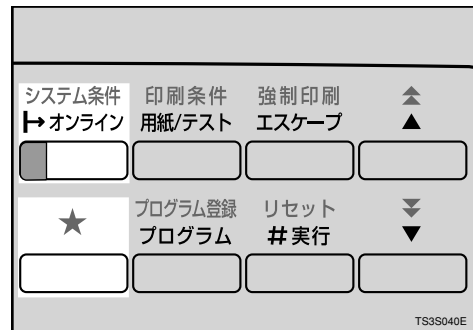
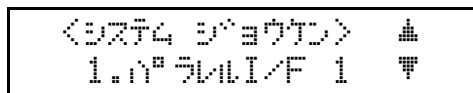
DOSで印刷する場合、エミュレーションごとにプリンター側で印刷条件を設定する必要があります。

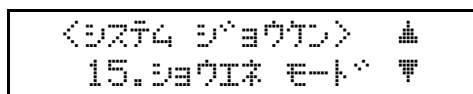
システム条件と印刷条件に同じ項目がある場合、印刷条件が優先されます。ただし、印刷条件で「システムデフォルト」に設定されている設定項目は、システム条件の設定値となります。印刷条件の設定方法はCD-ROM　ヘルプファイル＜DOS編＞を参照してください。

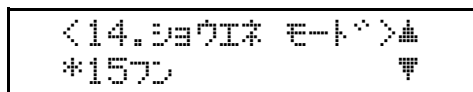
システム条件の設定方法

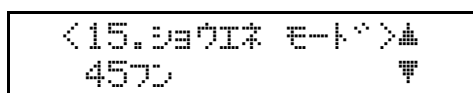
1 **【★】キー押しながら【システム条件】キーを押します。**

システム条件のメニュー画面が表示されます。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 1.ﾊﾟﾗﾚﾙI/F 1   ▼
```

2 **【▲】【▼】キーを押して、設定する項目を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 15.ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ  ▼
```

設定した項目の設定値が表示されます。「＊」は現在の設定値を示します。

```
<14.ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ>▲
*15ﾌﾝ           ▼
```

3 **【▲】【▼】キーを押して、選択したい設定値を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<15.ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ>▲
 45ﾌﾝ           ▼
```

補足

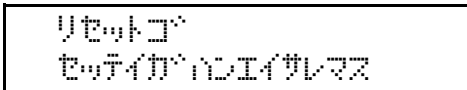
- ❒ 設定を中止するときは、**【エスケープ】**キーを押します。１つ前の画面に戻ります。

4 手順2から3を繰り返して、必要な項目を設定します。

5 【エスケープ】キーを押します。

次の画面が一瞬表示されたあと、通常の画面が表示されます。

```
ﾘｾｯﾄｺﾞ
ｾｯﾃｲｶﾞ ﾊﾝｴｲｻﾚﾏｽ
```

```
RPDL         ﾄﾚｲ1
             A4 □
```

6 【オンライン】キーを押します。

オンラインランプが消えて、プリンターがオフライン状態になります。

7 【★】キー押しながら【リセット】キーを押します。

電源を入れ直した状態になり、設定した項目が有効になります。

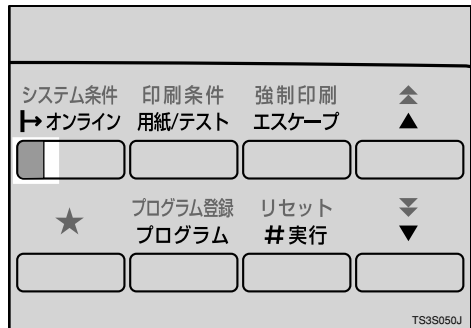
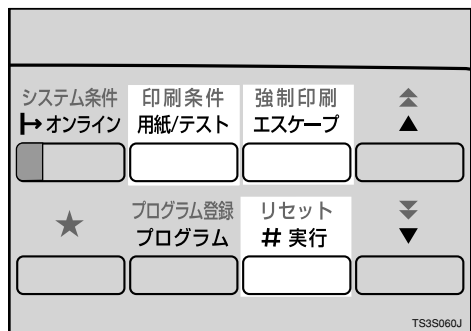
補足

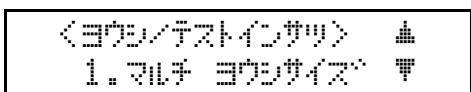
- ❒ 設定したシステム条件の内容を確認したいときは、「ステータスシート」を印刷してください。⇒ P.139「ステータスシートを印刷する」

システム条件の保護設定

システム条件の保護設定を行うと、P.131「システム条件の設定方法」の方法ではシステム条件の変更や設定ができなくなります。これによってシステム条件の誤操作・誤設定を防止することができます。また、ネットワーク環境では、管理者によるシステム条件の一元管理ができます。

システム条件に保護設定をする

1 本機がオンライン状態であることを確認します。

2 【実行】キー、【エスケープ】キー、【用紙/テスト】キーの順番に１つずつキーを押します。

【用紙/テスト】キーのメニューが表示されます。

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>   ▲
 1.ﾏﾙﾁ ﾖｳｼｻｲｽﾞ  ▼
```

3 【▲】【▼】キーを押して「システムセッテイホゴ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ> ▲
16.ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲﾎｺﾞ ▼

補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

システム条件保護の設定画面が表示されます。

<ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲﾎｺﾞ> ▲
ｼﾅｲ ▼

4 【▲】【▼】キーを押して「スル」を表示させ、【実行】キーを押します。

<ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲﾎｺﾞ> ▲
ｽﾙ ▼

5 【エスケープ】キーを押します。

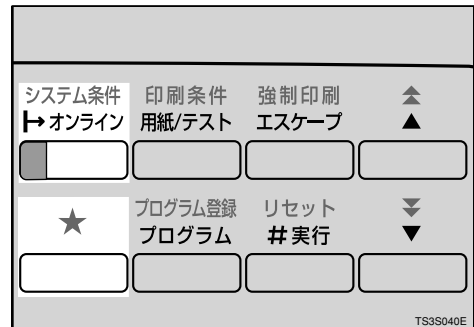
通常の画面に戻ります。

RPDL ﾄﾚｲ1
A4 ▭

システム条件に保護設定がされました。

保護設定中にシステム条件を設定する

システム条件に保護設定がされている状態でも、特定のキーを使用することによってシステム条件を設定することができます。これによってシステム条件を設定するたびに保護設定を解除する必要がありません。

1 【★】キー押しながら【システム条件】キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

ｾｯﾃｲﾉﾍﾝｺｳﾊﾃﾞｷﾏｾﾝ
ｴｽｹｰﾌﾟｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

この状態で**【実行】**キーを押しても、システム条件の変更はできません。

2 手順 **1** のメッセージが表示されている状態で、【★】キー押しながら【強制印刷】キーを押します。

システム条件のメニュー画面が表示されます。

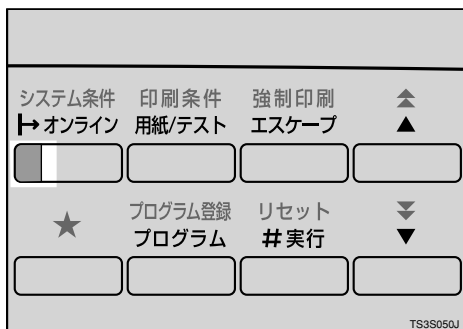
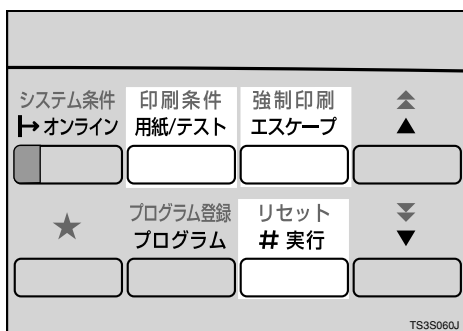
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ> ▲
1.ﾊﾟﾗﾚﾙI/F 1 ▼

参照

ここからのシステム条件の設定方法は、P.131「システム条件の設定方法」を参照してください。

7

システム条件の保護設定を解除する

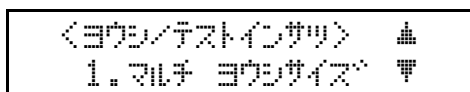
1 **本機がオンライン状態であることを確認します。**

2 **【実行】キー、【エスケープ】キー、【用紙/テスト】キーの順番に１つずつキーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

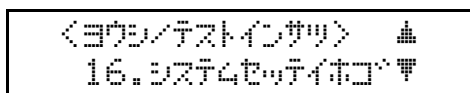
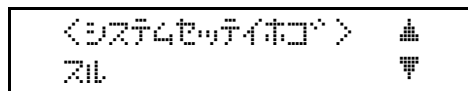
<ヨウシ/テストインサツ>
1.マルチ ヨウシサイズ

3 **【▲】【▼】キーを押して「システムセッテイホゴ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
16.システムセッテイホゴ

補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

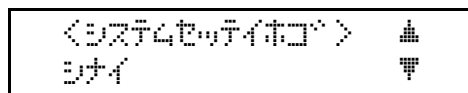
システム条件保護の設定画面が表示されます。

<システムセッテイホゴ>
スル

4 **【▲】【▼】キーを押して「シナイ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<システムセッテイホゴ>
シナイ

5 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

RPDL トレイ1
A4 □

システム条件の保護設定が解除されました。

システム条件一覧表

　　　は工場出荷時の設定です。

項目	設定値			
パラレルインターフェース1	ACK inside	ACK outside	STB down	
パラレルインターフェース2	ACK inside	ACK outside	STB down	
I/F切り替え時間	1秒	5秒	15秒	30秒
	1分	2分	5分	
給紙トレイ	トレイ1（標準）	トレイ2（オプション）	マルチトレイ	
白紙排紙モード	しない	スペース	する	
ジャムバックアップ	する	しない		
自動排紙時間	なし	10秒	15秒	20秒
	25秒	60秒		
セレクト状態	HIGH	LOW		
受信バッファ	16Kバイト	32Kバイト	64Kバイト	128Kバイト
	256Kバイト	512Kバイト		
インプットプライム	有効	無効		
省エネモード	15分	30分	45分	60分
	5分	なし	予熱モード	
紙なしエラー	印刷時	常時		
フレームモード	圧縮	リアル		
エミュレーション検知	しない	する		
パラレル通信	高速	標準		
双方向通信	リコーモード	一般モード		
起動プログラム	RPDL	R98	R16	オプション＃1
	オプション＃2	オプション＃3	オプション＃4	プログラム1〜16
通信速度	100Mbps固定	10Mbps固定	自動設定	

補足

❒ オプションのイーサネットボードをセットすると、上記以外にも設定項目が追加されます。内容についてはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

システム条件の設定項目

ここではシステム条件の設定項目について説明します。　　　　がついている項目が工場出荷時の設定です。

❖ パラレルインターフェース１

パラレルインターフェースのタイミングを設定します。
DOSで印刷する場合にエミュレーションごとに設定する印刷条件にも同じ項目があり、印刷条件の設定が優先されます。
ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 1」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

ACK inside	ACK outside	STB down

❖ パラレルインターフェース２

オプションのパラレルインターフェースボード　　をセットすると、2　つめのパラレルインターフェースとして使用できます。ここでは、このパラレルインターフェースのタイミングを設定します。
DOSで印刷する場合にエミュレーションごとに設定する印刷条件にも同じ項目があり、印刷条件の設定が優先されます。
ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 2」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

ACK inside	ACK outside	STB down

❖ I/F切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。
設定時間が短すぎると１つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

1秒	5秒	15秒	30秒	1分	2分	5分

❖ 給紙トレイ

電源を入れたときに選択される給紙トレイを設定します。

トレイ1（標準）	トレイ2（オプション）	マルチトレイ

❖ 白紙排紙モード

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、以下のとおりです。

しない	排紙しません。
スペース	排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。
する	排紙します。

❖ ジャムバックアップ

印刷中に紙づまりが起こった場合に備えて、データをバックアップしておくかどうかを設定します。

する	紙づまりの処置をした後、紙づまりの起こったページから印刷します。
しない	紙づまりの処置をした後、次のページから印刷します。

❖ 自動排紙時間

一定時間パソコンからデータが送信されない場合にプリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて【強制印刷】キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。
「なし」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。
設定された時間が経過すると送信されてきたデータが１ページの途中までであっても強制的に印刷されますので、適切な時間を設定することが重要です。

なし	10秒	15秒	20秒	25秒	60秒

❖ セレクト状態

パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

HIGH	LOW

❖ 受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

16Kバイト	32Kバイト	64Kバイト	128Kバイト	256Kバイト	512Kバイト

❖ インプットプライム

インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

有効	無効

❖ 省エネモード

省エネモードとは、プリンターの消費電力を節約する機能です。プリンターを一定時間使用しないと省エネモードに切り替わります。省エネモード中はプリンターの起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

15分	30分	45分	60分	5分	なし	予熱モード

補足

- ❒「予熱モード」は、省エネモードと比べて、印刷が始まるまでの時間を短くすることができますが、消費電力は大きくなります。「予熱モード」に切り替わるまでの時間は約1分間で、「予熱モード」からプリンターが再起動するまでの時間は約10秒間です。

❖ 紙なしエラー

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。「常時」に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

印刷時	常時

7

❖ フレームモード

ビットマップメモリーのデータを圧縮するかしないかを設定します。印刷する用紙サイズや解像度などによって選択してください。詳細については、P.154「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

圧縮	リアル

補足

- ❒ 増設メモリーを取り付けているときは、「圧縮」を選択しても「リアル」で印刷されます。

❖ エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのはR16、R55（オプション）です。それ以外のエミュレーションは、起動プログラムで設定されているエミュレーションになります。

しない	する

補足

- ❒「エミュレーション検知」を「する」に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信した場合は、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。
- ❒ 転送されるデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらない場合があります。
- ❒ 連続してデータを送信する場合、「エミュレーション検知」が機能しないことがあります。その場合はデータを送信する間隔をあけてください。

❖ パラレル通信

パラレルインターフェースの通信速度を設定します。データの通信速度が速すぎると、うまく通信できないことがあります。そのときは「標準」に設定してください。

高速	標準

❖ 双方向通信

標準装備のパラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。他社のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「一般モード」に設定します。

リコーモード	一般モード

❖ 起動プログラム

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

RPDL	R98	R16	オプション#1
オプション#2	オプション#3	オプション#4	プログラム1〜16

補足

- ❒「オプション#1」は、オプションのエミュレーションをセットしたとき有効です。
- ❒「プログラム1」〜「プログラム 16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムはDOSで印刷するとき使用するものです。

❖ 通信速度

イーサネットボードを使ってネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

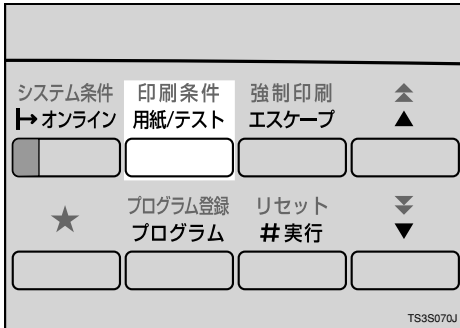
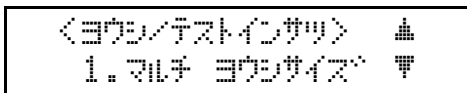
100Mbps固定	10Mbps固定	自動設定

ステータスシートを印刷する

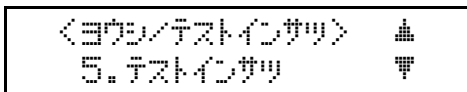
ステータスシートを印刷して、設定したシステム条件の内容を確認します。

1 【用紙/テスト】キーを押します。

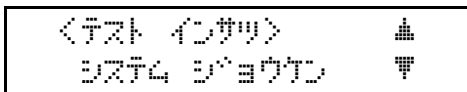
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

```
&lt;ヨウシ/テストインサツ&gt;    ▲
 1.マルチ ヨウシサイズ゛  ▼
```

2 【▲】【▼】キーを押し、「テストインサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。

```
&lt;ヨウシ/テストインサツ&gt;    ▲
 5.テストインサツ        ▼
```

補足

❒ 本機に装着したオプションによって、設定項目の番号は異なります。

テスト印刷の選択画面が表示されます。

```
&lt;テスト インサツ&gt;         ▲
 システム ジョウケン      ▼
```

3 【実行】キーを押します。

ステータスシートが印刷されます。

7

ステータスシートのみかた

＜ステータスシートの印刷例＞

IPSiO NX71　RICOH　Network eXpress

Status Sheet

■システム構成
バージョン　2.2.3G　トータルカウンター　000204
エンジンバージョン　1.00

■システムメモリスイッチ
１．パラレル１制御　ACK outside of BUSY
２．パラレル２制御　[illegible]
６．Ｉ／Ｆ切り替え時間　１５秒
７．給紙トレイ　トレイ１
９．白紙排紙モード　白紙排紙しない
１０．ジャム　バックアップ　する
１１．自動排紙時間　なし
１２．セレクト状態　ＨＩＧＨ
１３．受信バッファ　３２　キロバイト
１４．インプットプライム　無効
１５．省エネ　モード　６０分
１７．紙なしエラー　印刷時
１８．フレームモード　圧縮
１９．エミュレーション検知　★する
２０．パラレル通信　高速
２１．双方向通信　リコーモード
２３．起動プログラム　ＲＰＤＬ
★マークは設定値が初期値と異なる項目です。

■紙サイズ
トレイ１　普通紙　Ａ４Ｒ
トレイ２　普通紙　Ａ４Ｒ
マルチ　普通紙　Ｆ[216mm x 297mm]

■メモリ
トータル　16384KB
フリー　3676KB

■システムプログラム
プログラムナンバー　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
エミュレーション　ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ ﾅｼ

■ネットワーク
ネットワークバージョン　FERRET99 4.7.5(0007)-0.01c
１．ＩＰアドレス　192.168.015.016
２．サブネットマスク　255.255.255.000
３．デフォルトゲートウェイアドレス　000.000.000.000
４．アクセスコントロールアドレス　000.000.000.000
５．アクセスコントロールマスク　000.000.000.000
６．ネットワークブート　NONE
７．フレームタイプ（ＮｅｔＷａｒｅ）　AUTO
８．有効プロトコル　TCP/IP & NetWare & NetBEUI
９．通信速度　AUTO
１０．物理アドレス　00-00-74-65-28-04
１１．プリンタ名　RNP652804
１２．動作モード　（ＮｅｔＷａｒｅ）　ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
１３．プリントサーバ名　（ＮｅｔＷａｒｅ）　RNP652804
１４．ファイルサーバ名　（ＮｅｔＷａｒｅ）
１５．ＮＤＳコンテキスト名（ＮｅｔＷａｒｅ）
１６．ワークグループ名　（ＮｅｔＢＥＵＩ）　WORKGROUP
１７．ネットワークパス名　（ＮｅｔＢＥＵＩ）　¥¥RNP652804¥IPSiO_NX71

■エラー履歴
なし

1. バージョン

プリンターのバージョンです。

2. システムメモリスイッチ

システム条件の設定項目と設定値です。濃いアミがかかっている部分は、パラレルインターフェースボード（オプション）を取り付けるとアミが取れて有効になります。

★印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

***3.* 紙サイズ**

給紙トレイ、マルチトレイの用紙サイズが表示されます。用紙サイズは用紙サイズダイヤル、操作パネルで設定した値です。

補足

- ❒「マルチ」で「FR1」と記載されている場合は、フリーサイズに設定されています。
- ❒ 用紙サイズでRと記載されている場合は用紙方向が▯に設定されています。

***4.* システムプログラム**

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

***5.* ネットワーク**

オプションのネットワークボードがセットされているときに記載されます。

補足

- ❒ 設定方法、項目の内容については⇒ P.24「ネットワーク環境の設定をする」を参照してください。

***6.* エラー履歴**

本機で発生したエラーの履歴が記載されます。

***7.* トータルカウンター**

プリンターの総印刷枚数です。

***8.* メモリ**

プリンターに搭載されているメモリー容量が記載されます。

- トータル
  プリンターに搭載されているすべてのメモリ容量です。
- フリー
  描画用とフォントのダウンロード（外字登録）用に用意されているメモリ容量です。

DOSで印刷する

DOSで印刷をする場合、パソコンごとに接続できるプリンターが限定されています。そのため、プリンター側で専用のプリンターとして使えるように、印刷モードが切り替えられるようになっています。この印刷モードを「エミュレーションモード」といいます。エミュレーションとは本来まねをするという意味ですが、プリンターでは専用のプリンターのように動作させることができるという意味で使っています。

リコー独自のページ記述言語であるRPDLに対応しているアプリケーションでは、エミュレーションモードをRPDLにします。RPDLモードでは、プリンターの性能が十分に引き出され、速く美しく印刷できます。アプリケーションによっては、印刷時にエミュレーションモードをRPDLモードに自動的に切り替えるものもあります。

RPDL に対応していないアプリケーションで印刷するには、プリンターのエミュレーションモードを以下のように設定します。

エミュレーションモード	エミュレーションするプリンター
R98	日本電気PCPR–201H
R16	EPSON VP–1600（ESC/P）

補足

❒ オプションのUSB変換プリンターケーブルでパソコンと接続されている場合は、MS-DOSで印刷できません。

印刷してみましょう

DOSのアプリケーションから印刷するには、プリンターのエミュレーションや印刷条件などの設定が必要です。ここでは印刷する操作の流れを説明します。

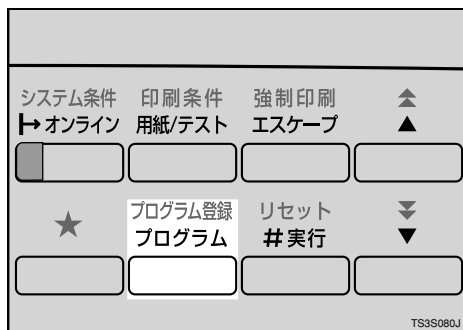
1 アプリケーションで文書を作成します。

2 お使いになっているパソコンに対応しているプリンターを、アプリケーション上で選択します。

- リコーのプリンターを選択できるとき
  ⇒リコーのプリンターを選択する
- PC-9800シリーズをお使いのとき
  ⇒PC-PR201H系のプリンターを選択する
- DOS/V機をお使いのとき
  ⇒VP-1600系のプリンターを選択する

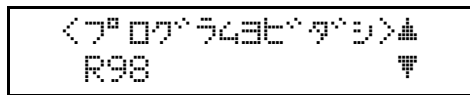
3 プリンターのエミュレーションを、2で選択したプリンターに対応したエミュレーションモードに切り替えます。

- リコーのプリンターを選択したとき
  ⇒「RPDL」に切り替える
- PC-PR201H系を選択したとき
  ⇒「R98」に切り替える
- VP-1600系を選択したとき
  ⇒「R16」に切り替える

❶ 操作パネルの【プログラム】キーを押します。

エミュレーションプログラムの選択画面が表示されます。

```
<プログラムヨビダシ>
RPDL
```

❷ **【▲】【▼】キーを押して、選択したいエミュレーションを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾖﾋﾞﾀﾞｼ>▲
 R98          ▼
```

選択したエミュレーションがディスプレイに表示されます。

```
R98        ﾄﾚｲ1
           A4 □
```

4 アプリケーションによっては、プリンターの印刷条件を変更します。

印刷条件の設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

P.143「一太郎Ver.4.3から印刷するとき」

5 アプリケーションから印刷を実行します。アプリケーションによっては、設定を一部変更してから印刷します。

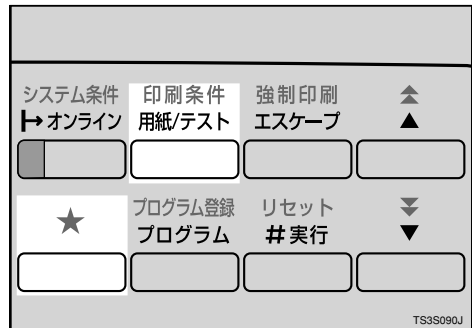
参照

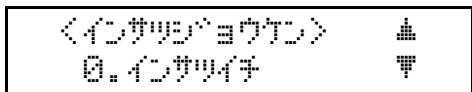
P.143「一太郎Ver.4.3から印刷するとき」
P.144 「Lotus1-2-3R2.4Jから印刷するとき」

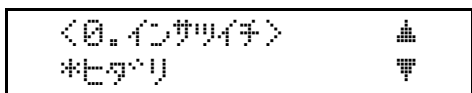
一太郎Ver.4.3から印刷するとき

P.142「印刷してみましょう」の手順❷で選んだプリンターがPC-PR201Hの場合は、以下のように設定します。

- プリンターの印刷条件の［印刷位置］を「センタリング」に設定し、［ページ長］を「最大長」に設定する。

① **【★】**キーを押しながら**【印刷条件】**キーを押します。

印刷条件の選択画面が表示されます。

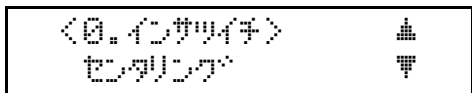
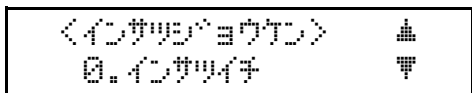
```
<ｲﾝｻﾂｼﾞｮｳｹﾝ>    ▲
 0.ｲﾝｻﾂｲﾁ       ▼
```

②「0. インサツイチ」が表示されていることを確認して、**【実行】**キーを押します。
印刷位置の設定画面が表示されます。

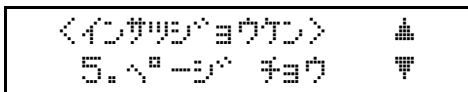
```
<0.ｲﾝｻﾂｲﾁ>      ▲
*ﾋﾀﾞﾘ           ▼
```

③ **【▲】【▼】**キーを押して、「センタリング」を表示させ、**【実行】**キーを押します。

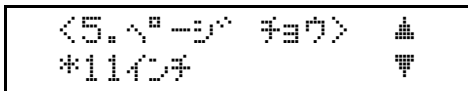
```
<0.ｲﾝｻﾂｲﾁ>      ▲
 ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ        ▼
```

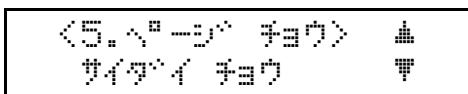
印刷条件の選択画面に戻ります。

```
<ｲﾝｻﾂｼﾞｮｳｹﾝ>    ▲
 0.ｲﾝｻﾂｲﾁ       ▼
```

7

④【▲】【▼】キーを押して、「5.ページチョウ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<インサツジョウケン> ▲
5.ページ チョウ ▼

ページ長の設定画面が表示されます。

<5.ページ チョウ> ▲
*11インチ ▼

⑤【▲】【▼】キーを押して、「サイダイチョウ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<5.ページ チョウ> ▲
サイダイ チョウ ▼

⑥【エスケープ】キーを押します。
通常の画面が表示されます。

R98 トレイ1
A4 ▭

- アプリケーション上で、［P印刷］から［Oオプション］を選択した画面で、［シートフィーダーを使用］を「する」に設定する。

Lotus1-2-3R2.4Jから印刷するとき

印刷する前に、アプリケーション上で［P印刷］から［Pプリンタ］を選択した画面で以下のように設定します。

- ［N 装置］でお使いになっているパソコンに対応しているプリンターを選択する。
- ［W用紙］を「Sシートフィーダ」に設定する。
- ［E排紙］を「する」に設定する。

7

印刷条件一覧表

❖ RPDL

（網掛け）は工場出荷時の設定です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
1.給紙トレイ	トレイ2/マルチ	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2 *1	マルチトレイ	
2.印刷方向	単票縦	単票横	帳票縦	帳票横		
3.CR,LF,FF機能	CR,LF,FF	CR+LF,LF,FF	CR,LF・FF+CR	CR+LF,LF・FF+CR		
4.自動改行	する	しない				
5.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
6.文字ピッチ	10CPI	12CPI	15CPI	フォントサイズ		
7.ANKフォント	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック15	ボールドフェイスPS	ラインプリンタ	明朝半角
89.国別指定	アメリカ	イギリス	ドイツ1	ドイツ2	フランス	スウェーデン
	フィンランド	スイス	日本1	日本2	日本3	
A.キャンセルコード	CR	クリア				
B.印刷領域	標準	最大	センタリング			
D.リミットレス給紙	しない	する				
I.スペーシングユニット	H=1/120,V=1/48	H=1/180,V=1/120	H=1/160,V=1/120	H=1/160,V=1/160	H=1/240,V=1/120	H=1/240,V=1/240
	H=1/400,V=1/400	H=1/600,V=1/600	H=1/1200,V=1/1200			
J.漢字コード	新JIS,JISコード	旧JIS,JISコード	新JIS,シフトJIS	旧JIS,シフトJIS		
K.左余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
L.上余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
M.変倍率	100%等倍	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					

7

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
N.デバイスコントロール	DC1・DC3無効	DC1・DC3有効				
O.半角ピッチ	1/2	2/3				
P.グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL	グラフィックス自動			
Q.ページ長	11インチ	最大長				
R.イメージ濃度	うすく	中間	こく			
T.漢字フォント	明朝	ゴシック				
U.ANKサイズ	1200センチポイント（600〜2100センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）					
V.漢字サイズ	960センチポイント（600〜1800センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）					
W.グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ	1/1200インチ		
Y.文字ストリング	する	しない				
Z.外字文字数	256文字	512文字	768文字	1024文字		
A2.印字モード	トナーセーブモード2	スムージングオン1	トナーセーブモード1	スムージングオフ	スムージングオン2	スムージングオン3
A4.エンジン解像度	400dpi	（400dpi）	600dpi	1200dpi		
B1.パラレルI/F1	ACK inside	ACK outside	システムデフォルト			

[*1] **オプション**

7

❖ R16

　　　は工場出荷時の設定です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	A	B	C
	D	E	F	G	H	I
0.印字開始位置	8.5mm	22mm				
1.印刷方向	縦	横				
2.印刷領域	標準	最大				
3.左余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
4.上余白	00mm（-5〜50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
5.ページ長	11インチ	最大長				
6.ページ幅	用紙幅	13.6インチ				
7.変倍率	100%等倍	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					
8.イメージ濃度	こく	中間	うすく			
9.ANKフォント	レタークオリティ 10	レタークオリティ 12	レタークオリティ 15	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック15
	ボールドフェイスPS					
A.漢字フォント	明朝7.2P	明朝9.6P	明朝12P	ゴシック7.2P	ゴシック9.6P	ゴシック12P
B.漢字コード	新JIS	旧JIS				
C.ゼロスラッシュ	なし	あり				
D.国別指定	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス	デンマークⅠ	スウェーデン
	イタリア	スペインⅠ	日本	ノルウェー	デンマークⅡ	スペインⅡ
	ラテンアメリカ					
E.文字コード	カタカナ	グラフィックス				
F.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
G.文字ピッチ	10CPI	12CPI	15CPI	フォントサイズ		

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	A	B	C
	D	E	F	G	H	I
H.CR機能	CR=CR+LF	CR=CR				
J.給紙トレイ	トレイ2/マルチ	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2 [*1]	マルチトレイ	
K.リミットレス給紙	しない	する				
L.グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL				
N.インプットプライム	有効	無効				
P.文字ストリング	設定1	設定2	しない			
Q.スペーシングユニット	H=1/240,V=1/240	H=1/400,V=1/400	H=1/600,V=1/600			
R.グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ			
S.デバイスコントロール	DC1・DC3有効	DC1・DC3無効				
A2.印字モード	トナーセーブモード2	スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ		
A4.エンジン解像度	400dpi	—	—	600dpi		
B1.パラレルI/F1	ACK middle	ACK outside	ACK inside	システムデフォルト		

*1 **オプション**

7

❖ R98

　　　は工場出荷時の設定です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
0.印刷位置	左	センタリング				
1.印刷方向	単票縦	単票横	帳票縦	帳票横		
2.印刷領域	標準	最大				
3.左余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）					
4.上余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）					
5.ページ長	11インチ	最大長				
6.ページ幅	用紙幅	13.6インチ				
7.変倍率	100%等倍	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					
8.イメージ濃度	こく	中間	うすく			
9.ANK フォント	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック17	ボールドフェイスPS	指定なし	半角
A.漢字フォント	明朝7.2P	明朝9.6P	明朝12P	ゴシック7.2P	ゴシック9.6P	ゴシック12P
B.漢字コード	新JIS,JIS コード	旧JIS,JIS コード	新JIS, シフトJIS	旧JIS, シフトJIS		
C.ゼロスラッシュ	なし	あり				
D.国別指定	アメリカ	イギリス	ドイツ1	ドイツ2	フランス	スウェーデン
	フィンランド	スイス	日本			
E.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
F.文字ピッチ	10CPI	12CPI	17CPI	フォントサイズ		
G.自動改行	する	しない				
H.印字指令コード	CRのみ	CR,LF,FFetc.				
I.CR機能	CR=CR	CR=CR+LF				
J.キャンセルコード	CR	クリア				

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
K.デバイスコントロール	DC1・DC3有効	DC1・DC3無効				
M.リミットレス給紙	しない	する				
N.スペーシングユニット	H=1/160,V=1/120	H=1/180,V=1/120	H=1/120,V=1/48	H=1/160,V=1/160	H=1/240,V=1/120	H=1/240,V=1/240
	H=1/400,V=1/400	H=1/600,V=1/600				
O.グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL				
P.パラレルデータサイズ	8ビット	7ビット				
Q.ドットイメージ	ネイティブモード	コピーモード				
R.プライム条件	外字保持	外字クリア				
T.給紙トレイ	トレイ2/マルチ	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2 [*1]	マルチトレイ	
V.ケイ線フォント	フォント	イメージ				
W.グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ			
X.文字ストリング	する	しない				
A2.印字モード	トナーセーブモード2	スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ		
A4.エンジン解像度	400dpi	—	—	600dpi		
B1.パラレルI/F1	ACK in, STB down	ACK out, STB up	システムデフォルト			

[*1] **オプション**

7

【用紙/テスト】キーの使いかた

【用紙/テスト】キー機能一覧表

【用紙/テスト】キーを使って、プリンターの設定内容を確認したり、用紙サイズを設定することができます。**【用紙/テスト】**キーには、以下のような機能があります。

<table>
<tr><th>項目名（ディスプレイ表示）</th><th colspan="2">機能</th></tr>
<tr><td>マルチ用紙サイズ
（マルチ ヨウシサイズ）</td><td colspan="2">マルチトレイに用紙をセットしたときに、サイズをセットします。
⇒ P.87 「用紙の種類とサイズ」
⇒ P.94 「マルチトレイに用紙をセットする」</td></tr>
<tr><td>給紙トレイ選択
（キュウシトレイセンタク）</td><td colspan="2">給紙トレイを選択します。
選択できるトレイはトレイ1（給紙トレイ：標準）、マルチ（マルチトレイ）、トレイ2（500枚増設トレイ：オプション）です。
⇒ P.93 「用紙をセットする」</td></tr>
<tr><td>トレイ1用紙サイズ
（トレイ1 ヨウシサイズ）</td><td colspan="2">トレイ1（給紙トレイ：標準）に紙をセットしたときに、サイズをセットします。
⇒ P.87 「用紙の種類とサイズ」
⇒ P.93 「給紙トレイ（標準）に用紙をセットする」</td></tr>
<tr><td>紙種選択
（カミシュ センタク）</td><td colspan="2">トレイごとに紙種を選択します。選択できる紙種は、「フツウシ」(普通紙)、「サイセイシ」(再生紙)、「トクシュシ」(特殊紙)です。
紙種を設定しておくと、違う用紙種類の間ではリミットレス給紙されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">テスト印刷
（テスト インサツ）</td><td>システム条件</td><td>ステータスシートを印刷します。
⇒ P.139 「ステータスシートを印刷する」</td></tr>
<tr><td>印刷条件</td><td>印刷条件の設定値を一覧にして印刷します。現在設定されているエミュレーションモードの印刷条件が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>ヘキサダンプ</td><td>印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷します。</td></tr>
<tr><td>全文字印字</td><td>本機で印刷できるすべての文字を印刷します。</td></tr>
<tr><td>フォントセット</td><td>本機で印刷できるフォントの一覧を印刷します。</td></tr>
<tr><td>レジスト調整
（レジストチョウセイ）</td><td colspan="2">印刷を開始する位置をトレイごとに調整します。設定範囲は以下のとおりです。
• 縦レジスト（全トレイ共通）：-2.0〜+2.0mm
• 横レジスト（トレイ1、トレイ2）：-2.0〜+2.0mm
• 横レジスト（マルチトレイ）：-8.0〜+8.0mm
数値は【▲】【▼】キーで0.1mmずつ、【▲▲】【▼▼】キーで1.0mmずつ切り替わります。
⇒ P.124 「レジスト調整をする」</td></tr>
</table>

7

項目名（ディスプレイ表示）	機能
濃度調整 （ノウド チョウセイ）	印刷濃度を調整します。 -4から+4の9段階に設定できます。 ⇒ P.123 「印刷濃度を調整する」
厚紙モード （アツガミモード）	「ヒョウジュン」「アツガミ」から選択します。 厚紙やOHPフィルムに印刷するとき「アツガミ」を選択します。 ⇒ P.97 「厚紙、OHPフイルムをセットしたとき」
メモリースイッチクリア （メモリースイッチクリア）	システム条件を工場出荷時の設定に戻します。また、登録済みのプログラムを消去します。 **補足** ❒ IPアドレスなどのネットワークに関係する設定項目は、工場出荷時の設定に戻りません。
マルチサイズエラー (マルチ サイズエラー)	マルチトレイから給紙するとき、用紙サイズエラーを検知するかしないかを設定します。 **補足** ❒ 検知するように設定されていても、「マルチトレイサイズ」で「フリー」が選択されているときは用紙サイズエラーが検知されません。
1200dpi設定 (1200dpiセッテイ)	「ヒョウジュン」「ウェイトモード」から選択します。 解像度を1200dpiに切り替えて印刷すると用紙にしわなどが発生する場合は、「ウェイトモード」を選択します。 **補足** ❒「ウェイトモード」を選択すると、解像度を切り替えて印刷が開始されるまで、数分程度かかることがあります。
メンテナンスモード (メンテナンスモード)	メンテナンスキットを交換したときに、「メンテキットコウカン」で「スル」を選択します。
システム設定保護 (システムセッテイホゴ) ※オンライン状態で、**【実行】**キー、**【エスケープ】**キー、**【用紙/テスト】**キーの順番に押したときに表示	システム条件の設定を保護します。設定を保護すると、通常の方法ではシステム条件の設定ができなくなります。 ⇒ P.132 「システム条件に保護設定をする」

1200dpiでの印刷について

1200dpiの解像度で印刷する場合には、以下のような制限があります。

- 1200dpiでの印刷では、RPDLだけに対応しています。他のモードでは1200dpiで印刷できません。
- 1200dpiでの印刷では、600dpiや400dpiでの印刷よりも印刷速度が遅くなります。ただし、オプションのSDRAMモジュールを増設すると、用紙サイズによっては印刷速度を速くできます。
- 本体に標準で搭載されているメモリー容量では、用紙サイズによっては1200dpiで印刷できないことがあります。オプションのSDRAMモジュールを増設すると、1200dpiで印刷できる最大の用紙サイズが大きくなります。
  ⇒ P.154 「メモリー容量と用紙サイズ」
- 1200dpiでの印刷では、最大不定形サイズが縦297mm×横216mmになります。
- 400dpiや600dpiから1200dpiに解像度を切り替えて印刷をした場合、用紙にしわが発生した状態で印刷されることがあります。このような場合、**【用紙/テスト】**キーの「1200dpiセッテイ」で「ウェイト」を選択してください。ただし、この場合は印刷開始まで1分ほどかかります。
  ⇒ P.151 「**【用紙/テスト】**キーの使いかた」
- 官製はがき、封筒、OHPフィルム、ハクリ紙は、600dpiでの印刷を推奨します。

メモリー容量と用紙サイズ

印刷できる用紙サイズ、解像度などは、システム条件の設定やメモリーの容量によって異なります。

補足

- SDRAMモジュールを増設した場合、システム条件の「フレームモード」を「圧縮」に設定しても「リアル」と同じ動作になります。
- 1200dpiで印刷するときの最大不定形サイズは、縦297mm×横216mmになります。

総メモリー容量 (Mバイト)		16 [標準]		48 [32M増設]		80 [64M増設]	
フレームモード / 用紙サイズ(mm) 解像度(dpi)		リアル	圧縮	リアル	圧縮	リアル	圧縮
B5 (182×257)	400	◎	◎	◎	－	◎	－
	600	◎	◎	◎	－	◎	－
	1200	△ 600dpi	◎	◎	－	◎	－
A4 (210×297)	400	◎	◎	◎	－	◎	－
	600	◎	◎	◎	－	◎	－
	1200	△ 600dpi	◎	◎	－	◎	－
不定形サイズ最大 (216×297)	400	○	○	○	－	○	－
	600	○	○	○	－	○	－
	1200	△ 600dpi	○	○	－	○	－

◎:印刷できます。複数枚のとき高速に印刷できます。

○:印刷できます。

△:600dpiに解像度を落として印刷されます。

－:増設メモリーを取り付けたときは、圧縮選択時も「リアル」で印刷されます。

7

保守・運用について

お客様登録・保守契約

お客様登録はがき、(仮) 保証書

このはがきをご返送いただくことにより、正式保証書を発行（無償保証期間の保守サービス対象機として登録）させていただきます。お手数ですが、必要事項をご記入の上必ずご返送ください。

なお、(仮)保証書は正式保証書が届くまでの期間限定保証書となりますので、大切に保管してください。

補足

❒ ご登録がない場合には手続きに時間がかかる場合がありますので、必ずご返送ください。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると以下のようなメリットがあります。
  - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
  - 計画的に経費の運用ができます。
  - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
  - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、７年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

清掃

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

❒ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

❒ プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

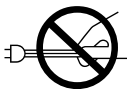
移動

⚠注意

- 機械は約12kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

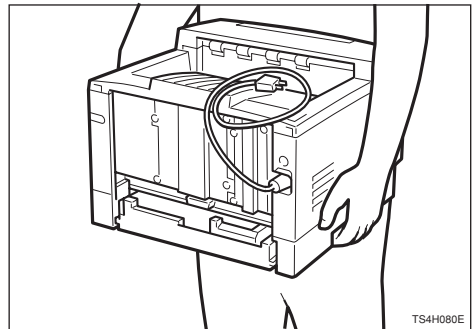
- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

近くに移動するとき

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 インターフェースケーブルを取り外します。

3 マルチトレイ、前カバーがきちんとしまっていることを確認します。

4 プリンター前面が手前になるようにして、本体両サイド下部の取っ手を持ち移動します。

重要

- ❒ 移動の際は、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。
- ❒ 500 枚増設トレイユニットを取り付けているときは、プリンター本体と 500 枚増設トレイユニットは固定されていないので、別々に移動させてください。また、プリンター本体を持ち上げるとき、増設トレイユニットから確実に離れていることを確認してください。

プリンターを輸送するとき

プリンター購入時の箱に入れて輸送してください。

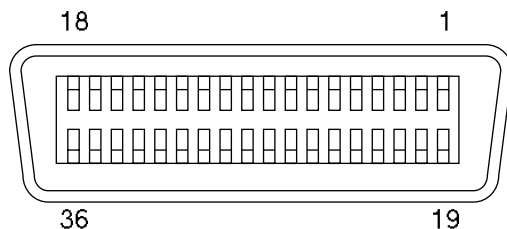
重要

- ❒ プリンターを輸送するときは、サービス実施店に相談してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。
- ❒ ケーブル類はすべて取り外します。
- ❒ 精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

パラレルインターフェース仕様

パラレルインターフェース（セントロニクス準拠）の図を以下に示します。
図中の数字はピンNo.を表します。

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
1	STROBE	19	GND(STROBE)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	ACK	28	GND(PERROR,SELECT,ACK)
11	BUSY	29	GND(BUSY,FAULT)
12	PERROR	30	GND(AUTOFD,SELECT IN,INIT)
13	SELECT	31	INIT(Input Prime)
14	AUTOFD	32	FAULT
15	reserved	33	reserved
16	Logic GND	34	reserved
17	Chassis GND	35	reserved
18	Perophetal Logic High	36	SELECT IN

消耗品一覧

⚠注意

- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

❖ トナーカートリッジ

商品名	販売単位	印刷可能ページ数 [*1]
トナーカートリッジ タイプ70A（商品コード：307459）	1個	約3,000ページ
トナーカートリッジ タイプ70B（商品コード：307460）	1個	約7,500ページ

[*1] : A4▯5%**チャート連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。なおトナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。**

❖ 用紙

種類	商品名	サイズ	販売単位
普通紙	リコピー PPC用紙 タイプ6200	A4,A5,A6,B5,B6, Letter	1ケース（250枚×5パック）
	乾式PPC用紙 マイペーパー	A4,B5,Letter	1ケース（500枚×5パック）
		A5	1ケース（500枚×10パック）
再生紙	リサイクルペーパー 紙源PPC用 タイプS	A4,B5	1ケース（500枚×5パック）
カラー紙	リコピー PPC用紙 タイプCP80（ピンク） タイプCB80（ブルー） タイプCY80（イエロー） タイプCG80（グリーン）	A4,B5	1ケース（250枚×10パック）
第二原図用紙	リコピー PPC用紙 タイプTE	A4,B5	1ケース（200枚×10パック）
ハクリ紙	リコピー PPC用紙 タイプSA	A4	1パック（100枚入り）

関連商品一覧

定期交換部品

❖ メンテナンスキット

- メンテナンスキット　タイプ71（商品コード：307755）
  定着ユニット、転写ローラー、給紙コロ、フリクションパッドが含まれています。「メンテキットコウカン」のメッセージが表示されたら交換してください。メンテナンスキットの交換は、お客様の保守形態に合わせて、お買い上げいただき交換していただくか、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。
  ※：メンテナンスキットは、目安として約60,000ページ印刷するたびに交換が必要です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。メンテナンスキットは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。

オプション

❖ SDRAMモジュール

- SDRAMモジュール32MB（商品コード：307723）
- SDRAMモジュール64MB（商品コード：307724）
  標準では16Mバイト装備されています。拡張メモリーを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

❖ 拡張エミュレーション

- 5577モジュール　タイプA（商品コード：307383）
  IBM 5553、5577-F01、F02プリンターで印刷していた方が、本機で印刷できるようにするエミュレーションです。

❖ 拡張インターフェースボード

- 100Mイーサネットボード　スロット2（商品コード：307736）
  本機をネットワーク環境で使用できるようにします。対応しているプロトコルは　IPX/SPX、TCP/IP、NetBEUIです。インターフェースは10BASE-T、100BASE-TXに対応しています。
- 拡張パラレルインターフェースボード　タイプ90（商品コード：307270）
  本機と2台のパソコンをパラレルインターフェースで接続できるようにします。

❖ 500枚増設トレイユニット

- 500枚増設トレイユニット　タイプ71（商品コード：307754）
  500枚増設トレイユニットを取り付けると、給紙トレイ（標準）、マルチトレイとあわせて最大850枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

❖ インターフェースケーブル

- LPインターフェースケーブル　タイプ1B（商品コード：307273）
  NEC PC-9800シリーズ　双方向通信対応　2.5m
- LPインターフェースケーブル　タイプ4B（商品コード：307274）
  IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC98-NXシリーズ　双方向通信対応　2.5m
- LBインターフェースケーブル　タイプ4S（商品コード：307470）
  IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC-98NXシリーズ　双方向通信対応　1.5m
- USB変換プリンターケーブル（商品コード：307727）
  パラレル/USB変換ケーブル 2m

仕様

項目	内容
現像方式	レーザービーム走査+乾式1成分電子写真方式
印刷スピード	ファーストプリント:8.5秒（A4印刷時） 連続プリント: 16ページ/分（A4 600/400dpi印刷時） ※：1200dpi印刷時は約半分のスピード
解像度	1200dpi*／600dpi／400dpi * RPDLのみ
エッジスムージング	2,400dpi相当×600dpi
用紙サイズ	給紙トレイ（標準）：A4、B5 マルチトレイ： 定型サイズ:A4、B5、A5、A6、B6、はがき、Letter($8\frac{1}{2}$×11)、5 $\frac{1}{2}$×$8\frac{1}{2}$ 不定形サイズ（フリー）:縦148〜297mm、横100〜216mm
用紙種類	普通紙（リコピー PPC用紙 タイプ6200、乾式PPC用紙 マイペーパー） 再生紙（リサイクルペーパー紙源PPC用 タイプS） カラー紙（リコピー PPC用紙 タイプCP80、CB80、CY80、CG80） 第二原図用紙（リコピー PPC用紙 タイプTE） ハクリ紙（リコピー PPC用紙 タイプSA） OHPフィルム 官製はがき 封筒（ライフ（株）製 E-506B 洋形4号）
給紙量	給紙トレイ（標準）:250枚 マルチトレイ （普通紙、再生紙、カラー紙）：100枚 （第二原図用紙、ハクリ紙、OHPフィルム）：1枚 （官製はがき）：40枚 （封筒）：10枚
最大給紙量	850枚（500枚増設トレイユニット装着時）
排紙量	250枚（リコピー PPC用紙 タイプ6200）
排紙方法	裏面排紙
電源	100V 6.0A 50/60Hz
消費電力	最大消費電力600W以下 平均消費電力350W以下 待機時消費電力20W以下（省エネモード時） 待機時消費電力90W以下（予熱モード時）

項目	内容
ウォーミングアップ時間	39秒以下 予熱モードのときは10秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法 （幅×奥×高）	360×410×270mm
質量	12Kg以下（給紙トレイ、消耗品含む）
騒音	53dB以下
CPU	R4310-133MHz
メモリー	標準:16Mバイト 最大:80Mバイト
インターフェース	IEEE1284準拠双方向パラレル
ページ記述言語	RPDL IV
エミュレーション	標準装備：R98（NEC PC-PR201H）、R16（EPSON ESC/P） オプション：R55（IBM5577）
搭載フォント	アウトライン: 明朝L、明朝Lプロポーショナル、ゴシックB、ゴシックBプロポーショナル、AR-RICOH(Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、CN-RICOH (Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、TN-RICOH(Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、CE-RICOH、SM-RICOH、WD-RICOH、Courier10、PrestigeElite12、LetterGothic15、BoldFacePS、OCR-B ビットマップ: Courier10、PrestigeElite12、LetterGothic15、BoldFacePS、OCR-B
バーコード	JAN(標準)、JAN(短縮)、2of5(Matrix)、2of5(ITF)、CODE39、CODE128、NW-7、UPC(標準)、UPC(短縮)、カスタマバーコード

用語解説

ANKフォント	アルファベット（Alphabet）、数字（Numeric）、カナ（Kana）フォントの総称です。
dpi（Dots Per Inch）	1インチ（25.4mm）あたりに印刷できるドット数を表し、解像度の単位として使われます。数字が大きいほど精細な印刷ができます。
ESC/P®	エプソン社のプリンターで印刷するためのコントロールコード。（⇒R16）
Ethernet®	LAN（Local Area Network）で使用されるネットワークプロトコルの規格の１つです。LANとは、１つの会社など比較的狭い範囲で、コンピューター、プリンターなどを接続し、共有するネットワークをいいます。Ethernetによるネットワークが構築してあれば、オプションのネットワークボードを使用して、本機をネットワークプリンターとして使用できます。
HP-GL®、HP-GL/2®、HP RTL®	米国Hewlett-Packard社が開発した、プロッタ用グラフィック言語。ペンプロッター用に開発された言語が HP-GL、ラスタープロッター用に開発された言語が HP-GL/2、イメージデータを作画するために開発された言語がHP RTLです。（⇒RP-GL、RP-GL/2）
PC-PR201H	NECのドットプリンター。（⇒R98）
R16	エプソン社のドットプリンター VP-1600をエミュレーションして印刷するモードです。パソコンからESC/Pのコマンド体系で送信されてきたデータを印刷することができます。（⇒ESC/P®）
R55	IBMのドットプリンター 5553，5577-F01、5577-F02をエミュレーションして印刷するモードです。オプションです。
R98	NEC のドットプリンター PC-PR201H をエミュレーションして印刷するモードです。（⇒PC-PR201H）
RP-GL、RP-GL/2	RP-GLはHP-GLをエミュレーションして印刷するモード、RP-GL/2は、HP-GL/2、HP RTLをエミュレーションして印刷するモードです。オプションのRP-GL/2モジュールを使用するとRP-GLとRP-GL/2の両方に対応できます。（⇒HP-GL、HP-GL/2、HP RTL）
RPDL（RICOH Page Description Language）	リコーの日本語プリンター用のページ記述言語、つまりパソコンから送信されてきたデータを印刷するためのコマンド体系です。（⇒ページ記述言語） プリンターの解像度により種類が分かれており、本機にはRPDLIVが搭載されています。
TrueTypeフォント	Windows　に標準で搭載されているアウトラインフォント。TrueTypeフォントを使用すると、画面でみたままのフォントをイメージデータとして印刷ができます。また、高速で印刷したい場合は、TrueTypeフォントの置き換えの機能を使用して画面上ではTrueTypeフォント、印刷はプリンターフォントを使用することもできます。

USB	パソコンと周辺機器を接続するシリアルインターフェース規格です。 キーボードやマウス、プリンターなどの周辺機器を最大127台まで接続でき、周辺機器の用途に応じて1.5Mbit/秒または12Mbit/秒の速度で通信できます。 また、プラグアンドプレイ機能だけでなく電源を入れたままで接続できるホットプラグ機能にも対応しており、パソコンと周辺機器を簡単に接続できます。(⇒プラグアンドプレイ)
印刷先のポート	印刷データのパソコンからの出力先です。たとえば、プリンターとパソコンをパラレルインターフェースケーブルで接続した場合、パソコンは印刷データをプリンタポート（LPT1）に出力します。ネットワークプリンターに印刷する場合は、ネットワークの形態により印刷先のポートが変わります。
トナーセーブ	トナーを節約しながら印刷するモード。
エミュレーション	エミュレーションとは、「まねをする」という意味です。つまり、本機がほかのプリンターのまねをして動作するモードです。たとえば、エミュレーションをR16にすることによって、本機でVP-1600と同じように印刷することができます。
グラフィックスコマンド	直線、円、楕円などの図形を印刷するためのコマンド。
フレームメモリー	パソコンからデータが送信されてくると、プリンターは、送信されてきたコマンドを解釈し、いったん、ページごとにプリンター内部でビットマップデータに展開します。この展開されたデータを記憶させておくメモリーをフレームメモリーといいます。展開されたデータはページ単位で印刷されるため、フレームメモリーに1ページ分しか入らない場合、2ページ目は1ページ目のデータを排出したあとに展開されます。フレームメモリーに2ページ分のデータが入る場合は、1　ページ目のデータ排出を待たずに、2ページ目を展開できるので、高速に印刷できます。ビットマップメモリー、ページメモリーと呼ばれることもあります。
プラグアンドプレイ	Windows®95/98、Windows®2000で、パソコンに新しい周辺機器や拡張カードなどを接続したとき、自動的に必要な情報が設定され、すぐに使用できるようになる機能です。周辺機器がプラグアンドプレイに対応している必要があります。本機はプラグアンドプレイに対応しています。
プリンターのプロパティ	Windows®95/98で印刷するときに、個々のプリンターの機能に応じて、印刷の条件を設定する画面です。
プロポーショナルフォント	幅の広い文字と狭い文字を同じ文字幅で印刷すると文字間隔が空きすぎてバランスが悪くなることがあります。プロポーショナルフォントとは、文字がバランスよく並ぶように、それぞれの文字の幅が調整されたフォントのことです。Windows®95/98、Windows®2000、WindowsNT®4.0に標準で搭載されているMS P明朝とMS Pゴシックはプロポーショナルフォントです。
ヘキサダンプ	パソコンから送信されてきたデータを16進数で印刷する機能です。印刷に不良が生じた場合など、送信されてきたコマンドやデータを解析するために使用します。
スムージング機能	文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにする機能。

ページ記述言語	ページ記述言語とは、パソコンから送信されてきたデータをページプリンターで印刷するためのコマンド体系のことです。通常パソコンで作成したデータをプリンターで印刷する場合、パソコンのデータをプリンターが理解できるコマンドに置き換えて送信します。この、プリンターが理解できるコマンド体系をプリンターコマンドといい、その中でもページプリンターで使用されるコマンド体系をページ記述言語と呼びます。
マクロキャッシュ機能	印刷のためにビットマップメモリーに展開したフォームデータをプリンターのメモリー上に蓄えておくことができます。同じフォームを使用する際には、キャッシュされたフォームを使用することにより、より高速なフォームオーバーレイ出力を実現します。
受信バッファ	パソコンから送信されてきたデータを一時的に記憶させるメモリー。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行